

令和8年5月定例会

(2026年)

# 市議会議案

吹田市



議事番号	事 件 名	議案書 ページ	参考資料 ページ
報告第 4 号	公益財団法人吹田市文化振興事業団の経営状況について	5	-
報告第 5 号	公益財団法人吹田市国際交流協会の経営状況について	57	-
報告第 6 号	一般財団法人吹田市介護老人保健施設事業団の経営状況について	99	-
報告第 7 号	公益財団法人吹田市健康づくり推進事業団の経営状況について	133	-
報告第 8 号	公益財団法人千里リサイクルプラザの経営状況について	165	-
報告第 9 号	専決処分報告 吹田市市税条例の一部を改正する条例の制定について	205	5
議案第 44 号	退隠料及び遺族扶助料の年額の改定に関する条例の一部を改正する条例等の一部を改正する条例の制定について	209	15
議案第 45 号	吹田市立スポーツグラウンド条例の一部を改正する条例の制定について	211	19
議案第 46 号	予算で定める重要な資産の取得及び処分、議会の同意を要する賠償責任の免除並びに議会の議決を要する負担付きの寄附の受領等について定める条例及び吹田市監査委員に関する条例の一部を改正する条例の制定について	213	23
議案第 47 号	吹田市介護老人保健施設条例を廃止する条例の制定について	215	25
議案第 48 号	吹田市立男女共同参画センター大規模改修工事（建築工事）請負契約の締結について	217	27
議案第 49 号	吹田市立豊津第一小学校外壁等劣化対策 1 期ほか工事（建築工事）請負契約の締結について	219	35
議案第 50 号	吹田市立山田第三小学校外壁等劣化対策 1 期工事（建築工事）請負契約の締結について	223	45
議案第 51 号	吹田市立古江台中学校教室改修ほか工事（建築工事）及び吹田市立古江台中学校昇降機設置工事（建築工事）請負契約の締結について	225	55
議案第 52 号	吹田市立自然の家大規模改修工事（建築工事）請負契約の締結について	229	63
議案第 53 号	吹田市中消防庁舎解体撤去工事請負契約の一部変更について	231	75
議案第 54 号	吹田市立千里第三小学校昇降機棟増築及び旧千里山西デイサービスセンター大規模改修ほか工事（建築工事）請負契約の一部変更について	233	77
議案第 55 号	吹田市吹一地区公民館及び吹田市吹一地区高齢者いこいの間建設工事（建築工事）請負契約の一部変更について	235	79
議案第 56 号	吹田市吹田東地区公民館大規模改修及び昇降機設置工事（建築工事）請負契約の一部変更について	237	81
議案第 57 号	重文旧西尾家住宅主屋ほか 6 棟建造物保存修理工事（I 期工事）請負契約の一部変更について	239	83
議案第 58 号	吹田市立青山台小学校厨房用備品購入契約の締結について	241	85
議案第 59 号	小学校用 G I G A 端末 i P a d 購入契約の締結について	243	89
議案第 60 号	吹田市介護老人保健施設の指定管理者の指定期間の変更について	245	95
議案第 61 号	大阪府後期高齢者医療広域連合規約の一部変更に関する協議について	247	97
議案第 62 号	大阪広域水道企業団が共同処理する事務の変更に関する協議について	249	99
議案第 63 号	令和 8 年度吹田市一般会計補正予算（第 1 号）	251	101



報告第4号

公益財団法人吹田市文化振興事業団の経営状況について

公益財団法人吹田市文化振興事業団の経営状況について、地方自治法第243条の3第2項の規定により報告します。

令和8年5月28日

吹田市長 後藤 圭 二

(1)

## 令和8年度事業計画

メイシアターの指定管理者として効果的・効率的な施設管理に取り組みます。自主文化事業では、市の文化政策ビジョンのもと計画し、とくに「子供向け事業の充実」「文化芸術活動を支える人材育成」を重点に取り組みます。

### 1. 公益目的事業

＜市民の文化活動の振興を図る事業＞

市民の文化活動の振興を図り、個性豊かな地域文化の創造に寄与することを目的とします。

#### (1) 鑑賞型事業

市民の多様なニーズに応えるよう多彩なジャンルの質の高い事業を提供し、多くの市民が文化芸術を鑑賞できる機会をつくります。高齢者、障がい者、青少年など多くの市民に親んでもらえるよう事業形態を工夫します。

[主な事業]

■大阪フィルハーモニー交響楽団 七夕コンサート

質の高いコンサートを安価で鑑賞できる機会。市内小中学生の無料招待席も設ける。

■エヴァ・ゲヴォルギヤンピアノリサイタル

ショパンコンクールファイナリストによる演奏会。

■関西歌劇団・関西二期会オペラ公演

関西の2団体の定期公演。

■カムシン・ジャズライブ

吹田ゆかりのジャズバンドのコンサート。

■フラメンコ×スパニッシュブラス

スペインから来日するフラメンコとブラスカルテットのステージ。

■カンパニーリトルウィズダム

若い世代が集まるコンテンポラリーダンス公演。

■SOL´TA オラ、ポルトガル

ポルトガルと日本、両国の伝統的かつ革新的な人形劇。

■新春能

吹田ゆかりのシテ方林本大を中心とした能舞台。手話通訳付き。

#### (2) 創造型事業

事業企画の専門知識やネットワークを生かした独自の事業を企画・制作します。また、地域の人材を生かした事業により地域の活性化、魅力向上に繋がります。

[主な事業]

■バレエ「くるみ割り人形」

公募・オーディションによるダンサーと新進振付家の全幕バレエ。

■演劇「関西の演劇団体プロデュース公演」

関西の演劇団体とメイシアターが共同でプロデュースする演劇。

### (3) 市民参加型事業

体験を通じて市民の文化芸術に対する興味を深め、市民が主役となって関わり自己実現できる場をつくります。創作活動において世代や価値観の垣根を超えた交流を促し、豊かな地域コミュニティづくりに寄与します。

[主な事業]

■千里金蘭大学共同事業 演劇公演

小学生から大学生、高齢者まで、幅広い世代の市民がプロと共演する。

■吹田市民の第九

中学生から高齢者まで、幅広い世代で構成する市民合唱団がオーケストラと共演する。

■芸術芸能フェスティバル

市民に舞台発表の機会を提供する公募事業。

### (4) 育成型事業

青少年の成長に資することを目的とした子供向けの鑑賞事業、体験事業を継続的に実施、地域における次世代の実演家、指導者、マネジメント人材の育成にも取り組みます。

[主な事業]

■オープンデイ

夏休みの小学生がパフォーマンスアーツに出会う一日。

■吹田のアーティスト 公募企画

事業企画を市民から公募し市民と共同で実施、マネジメント人材の育成を目指す。

■ティーンズクラシックフェスティバル

吹田の青少年を対象にした学べるクラシック音楽コンクール。クリニックなども。

■青少年育成事業 小学校アウトリーチ事業

小学校に吹田ゆかりのアーティストを派遣する音楽、演劇、能楽の体験講座。

■子供ピアノコンサート

公募による吹田の小学生のピアノリレーコンサート。

■若手アーティスト育成事業

吹田の若手アーティストの発表の場 **SUITA×ART**（すいたあと）の活用。

### (5) 連携型事業

より多くの市民を巻き込み、地域に密着した事業を拡大することを目的として、市内の民間団体、大学、行政等と連携して事業を行います。

[主な事業]

■大学公園フェス（大学との連携）

■吹田市医師会懇談会、大同生命江坂ビルストリートピアノコンサート、吹田市文化団

体協議会70周年祭（民間団体との連携）

■市民平和のつどい、吹田市文化功労者表彰式典、吹田市新年懇談会（行政との連携）

## (6) 情報発信型事業

文化事業の情報提供や施設使用状況の公開など、市民の文化活動に資する情報提供に取り組めます。市民と文化芸術との接点を増やせるよう多様な媒体を活用します。

[主な事業]

- ホームページ、SNSの活用
- 情報紙「季刊イベントラインナップ」の発行
- メイシアター館内発信

## (7) 施設管理事業

これまでの実績を生かして一層の市民の文化の向上を図り、以下の方針にてメイシアターの管理運営を行います。

[管理運営方針]

- 平等利用の確保
- 個人情報保護、情報公開
- 施設の利用促進
- 安全対策
- 経費の節減
- 環境への配慮

## 2. 収益事業

<市民の文化活動の振興に資する事業>

公益目的事業に資することを目的に、以下の事業を行います。

### (1) レストラン業務委託事業

レストラン「**CAFE DINING VALORE.**（バローレ）」の運営により売上の一部を収益とするものです。とくにパーティーの利用を促進するなど事業者と連携・協力して業績の向上に努め、業務収益の増を図ります。

### (2) 広告掲載受託事業

メイシアターホームページなどに広告を掲載し、掲載料を得るものです。引き続き収益の確保に努めるとともに、広告掲載の拡大を図ります。

### (3) 自動販売機設置事業

オリジナルラッピングの飲料自動販売機6台（災害対応型）を設置し、売上の一部を収益とするものです。引き続き安定的、継続的に収益を確保していきます。

## 令和8年度（2026年度）公益目的事業一覧

### <自主事業・共催事業>

公演日	場 所	公 演 名	公演回数	内 容	事業分類
令和8年 5月17日(日)	中ホール	桂米朝一門会	1	桂ざこば三回忌追善公演。 出演/桂南光、桂塩鯛 他	(1) 鑑賞型 自主事業
5月28日(木)	大ホール	ポラリス国際音楽祭 ブレ・イベント	1	ピアノ/岡原慎也、野山真希 ソプラノ/老田裕子 ヴァイオリン/太谷玲子 他	(1) 鑑賞型 共催事業
5月31日(日)	全館	吹田市文化団体協議会 70年祭	1	様々な市民文化団体が集まり市の 文化事業を牽引してきた吹田市文 化団体協議会の発会70年記念事業。	(5) 連携型 共催事業
6月19日(金)	中ホール	フラメンコ× スパニッシュプラス	1	フラメンコダンサーと金管五重奏 団の来日公演。	(1) 鑑賞型 自主事業
6月20日(土)	帝国 ホテル	吹田市医師会 夏季懇談会イベント	1	吹田市医師会主催事業。ミニコンサ ートを実施。	(5) 連携型 自主事業
6月23日(火)	中ホール	和太鼓松村組	1	マリンバや民族楽器を組み合わせた 和太鼓コンサート。	(1) 鑑賞型 共催事業
6月29日(月)	中ホール	メシアターシネマの会 「TOKYOタクシー」	2	公開/2025年 主演/倍賞千恵子、木村拓哉 監督/山田洋次	(1) 鑑賞型 共催事業
7月19日(日)	大ホール	スーパークラシック アンサンブル 特別演奏会	1	吹田在住・堀江恵太(ヴァイオリン) を中心としたオーケストラが、ライ ナー・キュッヒルと共演する。	(1) 鑑賞型 共催事業
7月20日(月) ~9月28日(月)	リハーサル室 中ホール	バレエワークショップ& 出演者オーディション	2	バレエ公演の出演者を公募し、ワー クショップとオーディションを開 催する。	(4) 育成型 自主事業
7月23日(木) 24日(金)	小ホール 展示室	SOL'TA オラ、ポルトガル	4	ポルトガルと日本の影絵、人形劇。 出演/田中紅子、糸あやつり人形劇 団みのむし、JIJO	(1) 鑑賞型 共催事業
7月28日(火) ~30日(木)	中ホール	HPF大阪高校演劇祭	4	高校演劇の甲子園。舞台ワークショ ップも開催。	(4) 育成型 共催事業
8月 9日(日)	大ホール	<市民平和のつどい> メイトのつどい 三浦颯太ピアノリサイタル	1	吹田出身のピアニストによるワン コインコンサート。メイト会員は無 料で鑑賞できる。	(4) 育成型 自主事業
8月13日(木)	大ホール 中ホール 小ホール	メシアターオープンデイ	5	子供を対象に多彩なパフォーミン グアーツを楽しんでもらう全館イ ベント。	(4) 育成型 自主事業

公演日	場 所	公 演 名	公演回数	内 容	事業分類
8月20日(木)	小ホール	ポラリス国際音楽祭 プレ・イベント ピアノカーニバル	1	関西の若い奏者が集うピアノコンサート。	(4) 育成型 共催事業
8月22日(土)	小ホール	よってよって パペットカーニバル	4	プロ、アマの人形劇団が夏休みに開催する人形劇祭。子供を対象にした作品づくり体験も実施。	(4) 育成型 共催事業
8月22日(土)	大ホール	スタインウェイ試弾会	1	大ホールの舞台でピアノを演奏する機会の提供。 対象/吹田在住の音大生	(4) 育成型 自主事業
8月26日(水)	小ホール	関西歌劇団新進歌手による ソロコンサート	1	関西歌劇団準団員がオペラアリアと日本歌曲を披露する。	(1) 鑑賞型 共催事業
8月	<b>SUITA</b> × <b>ART</b> すいたあと	子供ピアノコンサート	1	吹田在住の小学生を対象にした公募リレーコンサート。	(4) 育成型 自主事業
8月	小ホール	関西歌劇団「仮面舞踏会」 プレレクチャー	1	9月の上演に先立ち、オペラの出演者が見どころを紹介する講座。	(1) 鑑賞型 共催事業
8月/12月	1階ロビー	吹田ジュニアオーケストラ ロビーコンサート	2	子供の弦楽アンサンブルコンサート。 指揮/金関環	(4) 育成型 共催事業
9月 5日(土)	大ホール	和太鼓フェスティバル	1	大阪を拠点とする和太鼓飛龍プロデュースによる催し。	(1) 鑑賞型 共催事業
9月12日(土)	中ホール	桂米團治独演会	1	吹田在住、五代目桂米團治による落語会。	(1) 鑑賞型 自主事業
9月19日(土) 20日(日)	大ホール	関西歌劇団定期公演 「仮面舞踏会」	2	指揮/牧村邦彦 演出/井原広樹 管弦楽/大阪交響楽団	(1) 鑑賞型 共催事業
9月26日(土)	大ホール	J-pop コンサート	1	幅広い世代に人気のあるポピュラー歌手のコンサート。	(1) 鑑賞型 共催事業
10月 2日(金)	中ホール	ナショナル・シアター・ ライブ 映画「ウォレン婦人の職業」	2	英国ナショナル・シアターのレポートリー上映会。 公開/2026年 日本語字幕付	(1) 鑑賞型 共催事業
10月 8日(木)	小ホール	古川忠義ギターコンサート	1	大阪を拠点に活躍するギタリストのソロコンサート。クラシック、ジャズ、ポップスを演奏する。	(1) 鑑賞型 自主事業
10月 9日(金) 10日(土)	中ホール	DANCE PROJECT 218. 「招かれざる客」	3	新屋滋之演出・振付による創作ダンス作品。	(1) 鑑賞型 共催事業

公演日	場 所	公 演 名	公演回数	内 容	事業分類
10月17日(土) 18日(日)	大ホール 中ホール 他	ポラリス国際音楽祭	10	国内外の一流音楽家と子供、市民が 出会うコンサート。 芸術監督/岡原慎也(ピアノ)	(1) 鑑賞型 共催事業
10月30日(金)	中ホール	メイシアターゆかりの ピアニスト スペシャルコンサート	1	出演/生熊茜、福岡拓歩、堀江詩葉、 神尾夏希	(1) 鑑賞型 自主事業
11月18日(水) 19日(木)	中ホール	燐光群	2	作・演出/坂手洋二 芸術性と社会性を両立した演劇公 演。	(1) 鑑賞型 共催事業
11月28日(土) 29日(日)	大ホール	関西二期会オペラ公演 「皇帝ティートの慈悲」	2	指揮/唐谷裕子 演出/柳澤謙 管弦楽/大阪交響楽団	(1) 鑑賞型 共催事業
12月27日(日)	大ホール	エヴァ・ゲヴォルギヤン ピアノリサイタル	1	2021年ショパンコンクールのフ ァイナリストによるソロ公演。	(1) 鑑賞型 自主事業
令和9年 1月 4日(月)	中ホール	人形劇団クラルテ 「パンドロぼう」	1	親子で楽しめる人気絵本シリーズ の人形劇。	(4) 育成型 共催事業
1月 9日(土)	小ホール	KHAMSIN ライブ	1	吹田在住の清野拓巳(ギター)他4 名のジャズバンド=カムシンのコ ンサート。	(1) 鑑賞型 自主事業
1月 9日(土)	中ホール	桂春蝶独演会	1	吹田出身の落語家・三代目桂春蝶が 古典落語を披露する。	(1) 鑑賞型 自主事業
1月	リーガ ロイヤル ホテル	吹田市医師会 新春懇談会イベント	1	吹田市医師会主催事業。ミニコンサ ートを実施。	(5) 連携型 自主事業
2月	<b>SUITA</b> × <b>ART</b> すいたあと	吹田のアーティスト 公募企画	1	企画を公募し、市民と共同制作す る。	(4) 育成型 自主事業
3月 5日(金) 6日(土)	中ホール	COMPANY LITTLE WISDOM	3	振付・ダンサー/原田みのる 音楽監督・太鼓奏者/山部泰嗣	(1) 鑑賞型 自主事業
3月20日(土) 21日(日)	中ホール	関西の演劇団体 +メイシアター プロデュース演劇	2	関西の演劇団体とメイシアターが 共同プロデュースする。	(2) 創造型 共催事業

### <受託事業>

公演日	場 所	公 演 名	公演回数	内 容	事業分類
5月24日(日) ~令和9年 1月 5日(火)	<b>SUITA</b> × <b>ART</b> すいたあと	すいたティーンズクラシック フェスティバル メイシアター少年少女合唱団	13	吹田市内で公募した小4~高3の 30人による合唱団。月1回練習を 実施。講師/高木ひとみ (文化スポーツ推進室)	(4) 育成型

公演日	場 所	公 演 名	公演回数	内 容	事業分類
5月23日(土)	大同生命 江坂ビル	すいたティーンズクラシック フェスティバル ストリートピアノコンサート	1	ティーンズクラシックフェスティ バルのファイナリスト5名による コンサート。 (文化スポーツ推進室)	(4) 育成型
7月 5日(日)	大ホール	<吹田市民劇場> 大阪フィルハーモニー交響楽団 七夕コンサート	1	指揮/松本宗利音 サクソフォン/上野耕平  (文化スポーツ推進室)	(1) 鑑賞型
7月26日(日)	<b>SUITA</b> × <b>ART</b> すいたあと	<若手アーティスト育成事業> ピアノ解体講座	1	ピアノの仕組みを知り調律の仕事 を体験できる子供向け講座。  (文化スポーツ推進室)	(4) 育成型
8月 6日(木)	中ホール	<市民平和のつどい> 夏休み子供劇場	2	子供を対象にした無料演劇公演。  (青少年室)	(4) 育成型
8月 7日(金)	中ホール	<市民平和のつどい> 月亭方正落語会	1	話芸で平和のメッセージを伝える 事業。  (人権政策室)	(1) 鑑賞型
8月 8日(土)	大ホール	<市民平和のつどい> イルカコンサート	1	フォークシンガー・イルカの55周 年コンサート。  (文化スポーツ推進室)	(1) 鑑賞型
8月	<b>SUITA</b> × <b>ART</b> すいたあと	<若手アーティスト育成事業> こどものための能	2	出演/山本寿弥(大倉流太鼓方) 林本大(観世流シテ方)  (文化スポーツ推進室)	(4) 育成型
8月	リハーサル室 他	すいたティーンズクラシック フェスティバル 審査員による公開レッスン	3	市内の十代の青少年を対象にした ピアノ、弦楽、歌の公開レッスン。  (文化スポーツ推進室)	(4) 育成型
10月13日(火) 11月 4日(水)	大ホール	<青少年育成事業> 和太鼓ワークショップ	5	小学生~高校生対象の体験講座。 講師/政本憲一(和太鼓政や)  (文化スポーツ推進室)	(4) 育成型
10月	いずみの園 公園	<ミュージックストリート> メシアター公園ライブ	1	日頃メシアターに縁のない市民 にも生演奏に触れてもらい、地域に 賑わいを生む屋外ライブ。  (文化スポーツ推進室)	(1) 鑑賞型
10月~12月	大ホール 他	<吹田市民劇場> 吹田市民の第九 合唱レッスン	5	一般公募による市民合唱団の合唱 練習。 講師/清原邦仁 他 (文化スポーツ推進室)	(3) 市民 参加型
11月 3日(火)	レセプション ホール	吹田市文化功労者表彰式典	1	文化振興に功績のあった市民を表 彰する式典。  (文化スポーツ推進室)	(5) 連携型
11月 3日(火)	1階ロビー	すいたティーンズクラシック フェスティバル メシアター少年少女合唱団 ロビーコンサート	1	文化の日に館内外に地域に賑わい を生むロビーコンサート。  (文化スポーツ推進室)	(4) 育成型
11月 8日(日)	大ホール	すいたティーンズクラシック フェスティバル予選	1	市内在住・在学の十代の青少年を対 象にしたクラシック音楽のコンク ール予選会。  (文化スポーツ推進室)	(4) 育成型

公演日	場 所	公 演 名	公演回数	内 容	事業分類
11月15日(日)	いずみの園 公園	<ミュージックストリート> 大学公園フェス Suita Intercollege Festival	1	市内の5大学の歌、バンド、ダンス等の部活、サークルが出演する屋外ライブ。 (文化スポーツ推進室)	(5) 連携型
11月	中学校	すいたティーンズクラシック フェスティバル プラスクリニック	10	市内中学校吹奏楽部員約100人を対象にプロ奏者が講師を務める楽器別クリニック。 (文化スポーツ推進室)	(4) 育成型
11月	千里金蘭 大学	<吹田市民劇場> 千里金蘭大学共同事業 演劇ワークショップ	1	千里金蘭大学の学生を対象にした演劇ワークショップ。 (文化スポーツ推進室)	(4) 育成型
11月	いずみの園 公園	<ミュージックストリート> 公園フェス	1	吹田ゆかりのストリートミュージシャンが集結する屋外ライブ。 (文化スポーツ推進室)	(1) 鑑賞型
12月13日(日)	大ホール	すいたティーンズクラシック フェスティバル本選	1	市内在住・在校の十代の青少年を対象にしたクラシック音楽のコンクール。 (文化スポーツ推進室)	(4) 育成型
12月20日(日)	大ホール	<吹田市民劇場> 吹田市民の第九 関西フィルハーモニー管弦楽団 スペシャルコンサート	1	公募による市民合唱団と藤岡幸夫指揮の関西フィルとの共演。 (文化スポーツ推進室)	(3) 市民参加型
12月～3月	リハーサル室	<吹田市民劇場> バレエレッスン	5	公募によるダンサーとプロのダンサーによる練習会。 (文化スポーツ推進室)	(4) 育成型
令和9年 1月 5日(火)	中ホール	すいたティーンズクラシック フェスティバル フレッシュコンサート	1	受賞者によるピアノ、ヴァイオリン、声楽などのコンサート。 (文化スポーツ推進室)	(4) 育成型
1月 5日(火)	レセプション ホール	新春懇談会	1	新年コンサートと式典。 (秘書課)	(5) 連携型
1月 6日(水)	1階 ロビー	<吹田市民劇場> 新春ロビーコンサート	1	新春にふさわしい箏、尺八のコンサート。 出演/吹田市三曲協会 (文化スポーツ推進室)	(1) 鑑賞型
1月16日(土) 17日(日)	中ホール	芸術芸能フェスティバル	2	市民を対象に出演者を公募するステージパフォーマンスの祭典。 (文化スポーツ推進室)	(3) 市民参加型
1月23日(土)	中ホール	<吹田市民劇場> 新春能	2	事前解説講座も開催し、能楽の魅力を紹介する公演。 出演/林本大 他 (文化スポーツ推進室)	(1) 鑑賞型
1月～2月	中ホール	<吹田市民劇場> 千里金蘭大学共同事業 演劇ワークショップ・レッスン	5	子供から幅広い世代の市民を対象にした演技・歌・ダンスのワークショップとレッスン。 (文化スポーツ推進室)	(4) 育成型
2月20日(土) 21日(日)	中ホール	<吹田市民劇場> 千里金蘭大学共同事業 演劇公演	2	市民参加による創作舞台。 作/山村菜月 演出/奈可川浩三(Z-SYSTEM) (文化スポーツ推進室)	(3) 市民参加型

公演日	場 所	公 演 名	公演回数	内 容	事業分類
2月	小学校	<青少年育成事業> 小学校アウトリーチ事業 出張コンサート	2	小学校の音楽室へ吹田の若手演奏家が出張。  (文化スポーツ推進室)	(4) 育成型
2月	小学校	<青少年育成事業> 小学校アウトリーチ事業 能楽ワークショップ	1	吹田在住の能楽師・林本大が能楽を紹介するアウトリーチ事業。  (文化スポーツ推進室)	(4) 育成型
2月	小学校	<青少年育成事業> 小学校アウトリーチ事業 演劇ワークショップ	2	小学生を対象にした演劇体験講座。 講師/林慎一郎 他  (文化スポーツ推進室)	(4) 育成型
3月 7日(日)	大ホール	関西フィルハーモニー管弦楽団 クラシックの名曲から 映画音楽まで	1	ふるさと納税活用事業。 指揮/藤岡幸夫  (文化スポーツ推進室)	(1) 鑑賞型
3月14日(日)	大ホール	<吹田市民劇場> バレエ 「くるみ割り人形」全幕	1	振付演出/福田圭吾(元新国立劇場) 主演/飯島望未(元K-BALLET)  (文化スポーツ推進室)	(2) 創造型

### <自主事業－情報発信型事業>

事業名	おもな内容
ホームページによる情報発信	イベントの情報、チケットの予約・購入 メイシアターの利用情報、空き状況検索 など
SNS による情報発信	Instagram、X、Facebook、LINE、メルマガの活用 イベント情報のリアルタイム発信、その他メイシアターの最新情報
メイシアター館内発信	デジタルサイネージの設置(イベント情報、館内催し物、フロアマップなど) チラシ、ポスターの掲出 ロビーのディスプレイ(鏡餅、雛飾り、五月人形、七夕、Xmas ツリーなど)
季刊「イベントラインナップ」の発行	イベントの情報 チケットの購入方法 など
チケット関連サービス	ネットチケットの推進、チケット専用ダイヤルの設置 チケットのポイントサービス(メイシアターメイト)
市報すいた(吹田市発行)への情報掲載	メイシアター専用紙面 市内全戸配布(月1回)

### <施設管理事業>

事業名	おもな内容
平等利用の確保	条例、規則、マニュアル等の遵守 受付マニュアル、施設管理システムの整備・運用、受付抽選業務の実施

事業名	おもな内容
個人情報保護、情報公開	プライバシーマークに準拠した個人情報保護マネジメント ホームページ等による積極的な情報公開
施設の利用促進	空き状況検索システムの導入、オンライン受付の推進 スタッフによる利用サポート（舞台管理、広報など）
安全対策	設備等の保守点検の実施 危機管理マニュアルの整備、避難誘導訓練、救命救急講習の実施など
経費の節減	委託業務の効率化、入札等による委託費の適正化 環境経営マネジメントの推進（エネルギー使用の効率化、消耗品の削減など）
環境への配慮	エコアクション 21 に準拠した環境経営マネジメント 環境活動レポート、環境啓発活動（環境イベントへの参加など）

## 令和8年度 収支予算

令和8年度 収支予算は次に定めるところによる。

(収支予算)

- 第1条 一般正味財産増減の部、指定正味財産増減の部の収支予算の総額は、収益の部を513,586,000円、費用の部を497,146,000円と定める。
- 2 収支予算の勘定科目の区分及び額は収支予算書（正味財産増減計算ベース）による。

公益財団法人吹田市文化振興事業団

理事長 古矢直樹

# 収支予算書

令和8年4月1日から令和9年3月31日まで

(単位:円)

科 目	予算額	前年度予算額	増減
<b>I 一般正味財産増減の部</b>			
<b>1. 経常増減の部</b>			
(1)経常収益			
①基本財産運用益	2,947,000	2,947,000	0
01 基本財産受取利息	2,947,000	2,947,000	0
②事業収益	510,423,000	486,150,000	24,273,000
01 施設管理事業収益	436,259,000	411,158,000	25,101,000
02 受託事業収益	45,598,000	46,893,000	△ 1,295,000
03 入場券販売収益	12,460,000	13,950,000	△ 1,490,000
04 レストラン業務収益	1,737,000	1,257,000	480,000
05 友の会会費収益	1,171,000	1,036,000	135,000
06 サービス事業収益	1,628,000	1,827,000	△ 199,000
07 物品販売収益	441,000	362,000	79,000
08 手数料収益	8,799,000	7,767,000	1,032,000
09 広告料収益	500,000	600,000	△ 100,000
10 負担金収益	1,830,000	1,300,000	530,000
③ 受取補助金等	0	0	0
01 文化事業助成金収益	0	0	0
④ 寄付金収益	210,000	242,000	△ 32,000
01 寄付金収益	210,000	242,000	△ 32,000
⑤ 雑収益	6,000	2,000	4,000
01 受取利息	5,000	1,000	4,000
02 雑収益	1,000	1,000	0
経常収益計	513,586,000	489,341,000	24,245,000
(2)経常費用			
① 自主事業費	27,678,000	27,239,000	439,000
04 賃金	25,000	25,000	0
05 福利厚生費	1,000	1,000	0
06 会議費	24,000	23,000	1,000
07 旅費	82,000	1,354,000	△ 1,272,000
08 交際費	40,000	40,000	0
09 通信運搬費	676,000	650,000	26,000
10 什器備品費	300,000	300,000	0
11 消耗品費	463,000	681,000	△ 218,000
12 交通費	60,000	60,000	0
13 修繕費	462,000	462,000	0
14 印刷製本費	1,872,000	1,598,000	274,000
15 光熱水料費	71,000	67,000	4,000
16 賃借料	1,044,000	4,322,000	△ 3,278,000
17 保険料	50,000	50,000	0
18 諸謝金	310,000	800,000	△ 490,000
19 手数料	1,734,000	1,236,000	498,000
20 租税公課	43,000	37,000	6,000
21 著作権料	110,000	570,000	△ 460,000
22 負担金	147,000	147,000	0
23 委託費	19,734,000	14,430,000	5,304,000
24 広告宣伝費	299,000	144,000	155,000
25 公演賄費	130,000	241,000	△ 111,000
30 雑費	1,000	1,000	0

(単位:円)

科 目	予算額	前年度予算額	増減
② 施設管理事業費	401,901,000	407,335,000	△ 5,434,000
02 給料手当	107,361,000	106,044,000	1,317,000
03 退職給付費用	0	3,810,000	△ 3,810,000
04 賃金	0	0	0
05 福利厚生費	18,385,000	18,176,000	209,000
07 旅費	159,000	159,000	0
09 通信運搬費	1,350,000	1,350,000	0
11 消耗品費	4,769,000	4,769,000	0
13 修繕費	12,100,000	12,100,000	0
14 印刷製本費	1,949,000	1,949,000	0
15 光熱水料費	63,646,000	63,646,000	0
16 賃借料	11,070,000	11,070,000	0
17 保険料	205,000	205,000	0
19 手数料	126,000	126,000	0
20 租税公課	14,895,000	13,328,000	1,567,000
22 負担金	96,000	96,000	0
23 委託費	165,790,000	170,507,000	△ 4,717,000
③ 受託事業費	45,598,000	46,893,000	△ 1,295,000
04 賃金	0	0	0
05 福利厚生費	0	0	0
06 会議費	0	0	0
07 旅費	0	6,000	△ 6,000
09 通信運搬費	1,355,000	1,297,000	58,000
11 消耗品費	402,000	531,000	△ 129,000
12 交通費	9,000	5,000	4,000
14 印刷製本費	1,343,000	1,431,000	△ 88,000
16 賃借料	2,685,000	4,373,000	△ 1,688,000
17 保険料	20,000	30,000	△ 10,000
18 諸謝金	3,918,000	5,175,000	△ 1,257,000
19 手数料	2,935,000	2,711,000	224,000
20 租税公課	65,000	58,000	7,000
21 著作権料	476,000	691,000	△ 215,000
23 委託費	31,886,000	29,860,000	2,026,000
24 広告宣伝費	255,000	323,000	△ 68,000
25 公演賄費	249,000	402,000	△ 153,000
30 雑費	0	0	0

④ 管理費	21,969,000	9,701,000	12,268,000
01 役員報酬	1,101,000	1,101,000	0
02 給料手当	5,651,000	5,582,000	69,000
03 退職給付費用	12,612,000	424,000	12,188,000
05 福利厚生費	968,000	957,000	11,000
06 会議費	34,000	34,000	0
07 旅費	100,000	100,000	0
08 交際費	11,000	11,000	0
09 通信運搬費	66,000	66,000	0
11 消耗品費	172,000	172,000	0
12 交通費	10,000	10,000	0
14 印刷製本費	55,000	55,000	0
17 保険料	26,000	26,000	0
18 諸謝金	165,000	165,000	0
19 手数料	210,000	210,000	0
20 租税公課	575,000	575,000	0
22 負担金	173,000	173,000	0
24 広告宣伝費	40,000	40,000	0
経常費用計	497,146,000	491,168,000	5,978,000
当期経常増減額	16,440,000	△ 1,827,000	18,267,000

(単位:円)

科 目	予算額	前年度予算額	増減
<b>2. 経常外増減の部</b>			
(1)経常外収益計	0	0	0
(2)経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	16,440,000	△ 1,827,000	18,267,000
一般正味財産期首残高	△ 15,096,223	△ 13,269,223	△ 1,827,000
一般正味財産期末残高	1,343,777	△ 15,096,223	16,440,000
<b>II 指定正味財産増減の部</b>			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	200,000,000	200,000,000	0
指定正味財産期末残高	200,000,000	200,000,000	0
<b>III 正味財産期末残高</b>	201,343,777	184,903,777	16,440,000

# 収支予算書 内訳表

令和8年4月1日から令和9年3月31日まで

(単位:円)

科目	公益目的事業会計	収益事業会計	法人会計	内部取引 消去	合計
	公1	収1			
	市民の文化活動の 振興を図る事業	市民の文化活動の 振興に資する事業			
<b>I 一般正味財産増減の部</b>					
<b>1. 経常増減の部</b>					
(1) 経常収益					
① 基本財産運用益	0	0	2,947,000		2,947,000
01 基本財産受取利息	0	0	2,947,000		2,947,000
② 事業収益	419,333,100	56,730,900	34,359,000		510,423,000
01 施設管理事業収益	358,274,100	43,625,900	34,359,000		436,259,000
02 受託事業収益	45,598,000	0	0		45,598,000
03 入場券販売収益	12,460,000	0	0		12,460,000
04 レストラン業務収益	0	1,737,000	0		1,737,000
05 友の会会費収益	1,171,000	0	0		1,171,000
06 サービス事業収益	0	1,628,000	0		1,628,000
07 物品販売収益	0	441,000	0		441,000
08 手数料収益	0	8,799,000	0		8,799,000
09 広告料収益	0	500,000	0		500,000
10 負担金収益	1,830,000	0	0		1,830,000
③ 受取補助金等	0	0	0		0
01 文化事業助成金収益	0	0	0		0
④ 寄付金収益	210,000	0	0		210,000
01 寄付金収益	210,000	0	0		210,000
⑤ 雑収益	6,000	0	0		6,000
01 受取利息	5,000	0	0		5,000
02 雑収益	1,000	0	0		1,000
経常収益計	419,549,100	56,730,900	37,306,000		513,586,000
(2) 経常費用					
① 自主事業費	25,993,000	1,685,000	0		27,678,000
04 賃金	25,000	0	0		25,000
05 福利厚生費	1,000	0	0		1,000
06 会議費	24,000	0	0		24,000
07 旅費	82,000	0	0		82,000
08 交際費	40,000	0	0		40,000
09 通信運搬費	676,000	0	0		676,000
10 什器備品費	0	300,000	0		300,000
11 消耗品費	163,000	300,000	0		463,000
12 交通費	60,000	0	0		60,000
13 修繕費	0	462,000	0		462,000
14 印刷製本費	1,651,000	221,000	0		1,872,000
15 光熱水料費	0	71,000	0		71,000
16 賃借料	914,000	130,000	0		1,044,000
17 保険料	50,000	0	0		50,000
18 諸謝金	310,000	0	0		310,000
19 手数料	1,534,000	200,000	0		1,734,000
20 租税公課	42,000	1,000	0		43,000
21 著作権料	110,000	0	0		110,000
22 負担金	147,000	0	0		147,000
23 委託費	19,734,000	0	0		19,734,000
24 広告宣伝費	299,000	0	0		299,000
25 公演賄費	130,000	0	0		130,000
30 雑費	1,000	0	0		1,000

(単位:円)

②施設管理事業費	361,049,500	40,851,500	0	401,901,000
02 給料手当	96,060,000	11,301,000	0	107,361,000
03 退職給付費用	0	0	0	0
04 貸金	0	0	0	0
05 福利厚生費	16,450,000	1,935,000	0	18,385,000
07 旅費	143,100	15,900	0	159,000
09 通信運搬費	1,215,000	135,000	0	1,350,000
11 消耗品費	4,292,100	476,900	0	4,769,000
13 修繕費	10,890,000	1,210,000	0	12,100,000
14 印刷製本費	1,754,100	194,900	0	1,949,000
15 光熱水料費	57,281,400	6,364,600	0	63,646,000
16 貸借料	9,963,000	1,107,000	0	11,070,000
17 保険料	184,500	20,500	0	205,000
19 手数料	113,400	12,600	0	126,000
20 租税公課	13,405,500	1,489,500	0	14,895,000
22 負担金	86,400	9,600	0	96,000
23 委託費	149,211,000	16,579,000	0	165,790,000
③受託事業費	45,598,000	0	0	45,598,000
04 貸金	0	0	0	0
05 福利厚生費	0	0	0	0
06 会議費	0	0	0	0
07 旅費	0	0	0	0
09 通信運搬費	1,355,000	0	0	1,355,000
11 消耗品費	402,000	0	0	402,000
12 交通費	9,000	0	0	9,000
14 印刷製本費	1,343,000	0	0	1,343,000
16 貸借料	2,685,000	0	0	2,685,000
17 保険料	20,000	0	0	20,000
18 諸謝金	3,918,000	0	0	3,918,000
19 手数料	2,935,000	0	0	2,935,000
20 租税公課	65,000	0	0	65,000
21 著作権料	476,000	0	0	476,000
23 委託費	31,886,000	0	0	31,886,000
24 広告宣伝費	255,000	0	0	255,000
25 公演助費	249,000	0	0	249,000
30 雑費	0	0	0	0
④管理費	0	0	21,969,000	21,969,000
01 役員報酬	0	0	1,101,000	1,101,000
02 給料手当	0	0	5,651,000	5,651,000
03 退職給付費用	0	0	12,612,000	12,612,000
05 福利厚生費	0	0	968,000	968,000
06 会議費	0	0	34,000	34,000
07 旅費	0	0	100,000	100,000
08 交際費	0	0	11,000	11,000
09 通信運搬費	0	0	66,000	66,000
11 消耗品費	0	0	172,000	172,000
12 交通費	0	0	10,000	10,000
14 印刷製本費	0	0	55,000	55,000
17 保険料	0	0	26,000	26,000
18 諸謝金	0	0	165,000	165,000
19 手数料	0	0	210,000	210,000
20 租税公課	0	0	575,000	575,000
22 負担金	0	0	173,000	173,000
24 広告宣伝費	0	0	40,000	40,000
經常費用計	432,640,500	42,536,500	21,969,000	497,146,000
当期經常増減額	△ 13,091,400	14,194,400	15,337,000	16,440,000

(単位:円)

<b>2. 経常外増減の部</b>				
(1)経常外収益計	0	0	0	0
(2)経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
他会計振替額	13,091,400	△ 13,091,400	0	0
当期一般正味財産増減額	0	1,103,000	15,337,000	16,440,000
一般正味財産期首残高	△ 18,639,938	30,899,206	△ 27,355,491	△ 15,096,223
一般正味財産期末残高	△ 18,639,938	32,002,206	△ 12,018,491	1,343,777
<b>II 指定正味財産増減の部</b>				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	200,000,000	200,000,000
指定正味財産期末残高	0	0	200,000,000	200,000,000
<b>III 正味財産期末残高</b>	△ 18,639,938	32,002,206	187,981,509	201,343,777

## 令和7年度（2025年度）事業報告書

公益財団法人吹田市文化振興事業団は、メイシアターの指定管理者として効果的・効率的な施設管理に取り組むとともに、公益目的事業を推進し、多彩な自主文化事業に取り組みました。

開館40周年の令和7年度は、記念事業のプロデュースやホームページの刷新により発信力を高めるなど、以下の事業活動を行いました。

### 1. 公益目的事業

＜市民の文化活動の振興を図る事業＞

市民の文化活動の振興を図り、個性豊かな地域文化の創造に寄与することを目的とします。

#### (1) 鑑賞型事業

市民の多様なニーズに応えるよう多彩なジャンルの質の高い事業を提供し、多くの市民が文化芸術を鑑賞できる機会をつくりました。高齢者、障がい者、青少年など多くの市民に親しんでもらえるよう事業形態を工夫しました。

〔主な事業〕

■大阪フィルハーモニー交響楽団七夕コンサート

質の高いコンサートを安価で鑑賞できる機会。学生料金も設定。

■メイシアター狂言会

家族で楽しめる親しみやすい茂山狂言会の舞台。

■iaku 演劇公演

全国で活躍する吹田出身の劇作家による新作公演。鑑賞サポートも実施。

■橋爪功朗読会

演劇界屈指の名優による朗読企画。

#### (2) 創造型事業

事業企画の専門知識やネットワークを生かした独自の事業を企画・制作しました。また、地域の人材を生かした事業により地域の活性化、魅力向上に繋がりました。

〔主な事業〕

■プロデュース演劇公演「MOTHER」

吹田出身の升毅をはじめ演劇界を牽引する俳優、作家、演出家によるメイシアターならではの演劇公演。

■ダイバーシティ・ダンス公演「このカラダ、満開に」

障がいがある人もない人も多様な市民と創るオリジナルステージ。

### (3) 市民参加型事業

体験を通じて市民の文化芸術に対する興味を深めてもらい、市民が主役となって関わり自己実現できる場をつくりました。創作活動において世代や価値観の垣根を超えた交流を促し、豊かな地域コミュニティづくりに寄与しました。

[主な事業]

■吹田市民の第九、ファミリーミュージカル、青春太鼓祭

2～3か月間の稽古を経て小学生から大学生、高齢者まで、幅広い世代の市民がプロと共演する3公演。

■芸術芸能フェスティバル

市民に舞台発表の機会を提供する公募事業。

### (4) 育成型事業

青少年の成長に資することを目的とした子ども向けの鑑賞事業、体験事業を継続的に実施しました。地域における次世代の実演家等の育成にも取り組みました。

[主な事業]

■ティーンズクラシックフェスティバル

吹田の青少年を対象にした学べるクラシック音楽コンクール。クリニックなども。

■青少年育成事業 小学校アウトリーチ事業

小学校に吹田ゆかりのアーティストを派遣する音楽、演劇、能楽の体験講座。

■若手アーティスト育成事業

吹田の若手アーティストの発表の場 **SUITA×ART**（すいたあと）の活用。

### (5) 連携型事業

より多くの市民を巻き込み、地域に密着した事業を拡大することを目的として、民間団体、大学、行政等と連携して事業を行いました。

[主な事業]

■ぴあ演劇学校、邦楽演奏会、D I V Eプロデュース演劇（民間団体との連携）

■吹田市文化功労者表彰式典、スプラッシュパーティ（行政との連携）

■大学公園ライブ（大学との連携）

### (6) 情報発信型事業

文化事業の情報提供や施設使用状況の公開など、市民の文化活動に資する情報提供に取り組みました。市民と文化芸術との接点を増やせるよう多様な媒体を活用しました。

[主な事業]

■ホームページのリニューアル、SNS、メールマガジンの活用

■情報紙のリニューアル～「季刊イベントラインナップ」の発行

■メイシアター館内発信

## (7) 施設管理事業

これまでの実績を生かして一層の市民の文化の向上を図り、以下の方針にてメイシアターの管理運営を行いました。

[管理運営方針]

- 平等利用の確保
- 個人情報保護、情報公開
- 施設の利用促進
- 安全対策
- 経費の節減
- 環境への配慮

## 2. 収益事業

<市民の文化活動の振興に資する事業>

公益目的事業に資することを目的に、以下の事業を行いました。

### (1) レストラン業務委託事業

レストラン **CAFE DINING VALORE.** (バローレ) の売上及びレセプションホール等ケータリング売上の一部を収益としています。

令和7年度レストラン業務収益 1,777,178 円

### (2) 広告掲載受託事業

メイシアターホームページへの広告掲載料を収益としています。

令和7年度広告料収益 250,000 円

### (3) 自動販売機設置事業

オリジナルラッピングの飲料自動販売機6台(災害対応型)を設置し、売上の一部を収益としています。

令和7年度自動販売機手数料収益 2,085,814 円

## 令和7年度（2025年度）公益目的事業一覧

### <自主事業・共催事業>

公益財団法人吹田市文化振興事業団が主催する文化事業。鑑賞型事業を中心に多彩な事業を行い、市民に数多くの鑑賞機会を提供しました。

公演日	場 所	公 演 名	公演回数	内 容	事業分類
令和7年 4月27日(日)	大ホール	深川秀夫バレエの世界	3	出演／中村祥子、厚地康雄 他 指揮／守山俊吾 管弦楽／シンフォニア・アルシス	(1) 鑑賞型 共催事業
5月 4日(日)	大ホール	ゴスペラーズ坂ツアー “G30”	1	アカペラグループ・ゴスペラーズの メジャーデビュー30周年ツアーコ ンサート。	(1) 鑑賞型 共催事業
5月18日(日)	中ホール	<開館40周年記念事業> 桂米朝一門会	1	桂米朝生誕百年記念。 米朝落語映像、出演者座談会も。 出演／桂南光、千朝、米左、吉弥	(1) 鑑賞型 自主事業
5月29日(木)	中ホール	和太鼓松村組	1	マリンバや民族楽器を組み合わせ る松村組の和太鼓コンサート。	(1) 鑑賞型 共催事業
6月 4日(水)	中ホール	メイシアターシネマの会 「九十歳。何がめでたい」	2	公開／2024年 主演／草笛光子 原作／佐藤愛子	(1) 鑑賞型 共催事業
6月21日(土)	大ホール	ポラリス国際音楽祭 プレ・イベント ～親愛なるあなたへ～	1	ピアノ／岡原慎也、野山真希 声楽／古瀬まきを、中島康博 ヴァイオリン／石上真由子	(1) 鑑賞型 共催事業
6月21日(土)	帝国ホテル 大阪	吹田市医師会 夏季懇談会イベント	1	吹田市医師会主催事業。ミニコンサ ートを実施。	(5) 連携型 自主事業
6月24日(火)	中ホール	ナショナル・シアター・ライブ 「ハムレット」	1	英国ナショナル・シアターのレパー トリー上映会。 公開／2016年 日本語字幕付 主演／B. カンバーバッチ	(1) 鑑賞型 共催事業
7月12日(土) 13日(日)	中ホール	iaku演劇公演 「はぐらかしたり、 もてなしたり」	2	吹田出身の劇作家・横山拓也による 新作演劇公演。	(1) 鑑賞型 共催事業
7月19日(土)	大ホール	スーパークラシック アンサンブル 特別演奏会	1	吹田在住・堀江恵太(ヴァイオリン) を中心としたオーケストラがウィ ーンフィル元コンサートマスター のライナー・キュッヒルと共演。	(1) 鑑賞型 共催事業
7月29日(火) ～31日(木)	中ホール	HPF大阪高校演劇祭	4	一心寺シアター倶楽、スペースZERO と連携した高校演劇の甲子園。メイ シアターには4校の演劇部が参加。 舞台ワークショップ 6/5(木)	(4) 育成型 共催事業

公演日	場 所	公 演 名	公演回数	内 容	事業分類
8月 4日(月)	小ホール	関西歌劇団定期公演 「イル・カンピエッロ」 プレ・レクチャー	2	9月の上演に先立ちオペラの出演者が見どころを紹介する講座。 直前リハーサル見学会／9/18(木)	(4) 育成型 共催事業
8月10日(日)	大ホール	<市民平和のつどい> メシアターメイトのつどい 堀江詩葉ピアノリサイタル	1	吹田在住のピアニストによるワンコインコンサート。 メイト会員を無料招待。	(1) 鑑賞型 自主事業
8月16日(土) 12月28日(日)	1階 ロビー	吹田ジュニアオーケストラ ロビーコンサート	2	子供たちの弦楽アンサンブルコンサート。 指導／金関環 他	(4) 育成型 共催事業
8月25日(月)	小ホール	関西歌劇団新進歌手による ソロコンサート	1	関西歌劇団準団員がオペラアリアと日本歌曲を披露する。	(1) 鑑賞型 共催事業
8月30日(土)	小ホール 集会室	よってよって パペットカーニバル	8	プロ、アマの劇団が夏休みに集う人形劇の祭典。子供たちも創作・上演。 プレイベント 6/29(日) ワークショップ 8/21(日)～28(木)	(4) 育成型 共催事業
9月10日(水) ～14日(日)	中ホール	<開館40周年記念事業> 「MOTHER～君わらひ たまふことなかれ」	6	メシアタープロデュース演劇。 作／マキノノゾミ 演出／内藤裕敬 出演／キムラ緑子、升毅 他	(2) 創造型 自主事業
9月15日(月)	レセプション ホール	ぴあ関西40周年 「ぴあ演劇学校」 「イシダカクテルパーティ」	3	関西演劇界の40年間と今後を見通す企画。 出演／土田英生(MONO)、 石田剛太(ヨーロッパ企画) 他	(5) 連携型 共催事業
9月20日(土)	中ホール レセプション ホール	邦楽教室 邦楽演奏会	3	大阪・関西万博が日本文化を海外に発信する機会と捉え、邦楽の魅力を紹介するコンサート。子供和楽器体験会も。	(5) 連携型 共催事業
9月20日(土) 21日(日)	大ホール	関西歌劇団定期公演 「イル・カンピエッロ」	2	指揮／牧村邦彦 演出／井原広樹 管弦楽／ザ・カレッジ・オペラハウス 管弦楽団	(1) 鑑賞型 共催事業
9月23日(火)	中ホール	桂米團治独演会	1	吹田在住、五代目桂米團治による落語会。 出演／桂米團治、團治郎、米舞	(1) 鑑賞型 自主事業
10月18日(土) 19日(日)	大ホール 中ホール 他	ポラリス国際音楽祭	13	国内外の一流音楽家と子供、市民が 出会うコンサート。 芸術監督／岡原慎也(ピアノ)	(1) 鑑賞型 共催事業
10月31日(金)	大ホール	日タイ・ミュージック・セッション FUTURE OF ASIA アジアの未来	1	出演／AUN&HIDE(日本の和楽器ユニット)、ASIA7(タイのフュージョンバンド)	(1) 鑑賞型 共催事業
11月25日(火) ～30日(日)	展示室	日本舞台写真家協会 協会展「瞬」	6	舞台芸術の一瞬を捉えた写真作品の展覧会。	(1) 鑑賞型 共催事業

公演日	場 所	公 演 名	公演回数	内 容	事業分類
11月29日(土) 30日(日)	大ホール	関西二期会オペラ公演 「メリー・ウィドー」	2	指揮／鈴木恵里奈 演出／太田麻衣子 管弦楽／日本センチュリー交響楽団	(1) 鑑賞型 共催事業
令和8年 1月 4日(日)	中ホール	人形劇団クラルテ 「11ぴきのねことぶた」	1	親子で楽しめる人気絵本シリーズ の人形劇。	(4) 育成型 共催事業
1月10日(土)	中ホール	桂春蝶独演会	1	吹田出身の落語家、三代目桂春蝶が 古典落語を披露する。 出演／桂春蝶、月亭遊真	(1) 鑑賞型 自主事業
1月17日(土)	リーガ ロイヤル ホテル	吹田市医師会 新春懇談会イベント	1	吹田市医師会主催事業。ミニコンサ ートを実施。	(5) 連携型 自主事業
1月31日(土)	大ホール	日本センチュリー交響楽団 ニューイヤーコンサート	1	プログラム／新春にふさわしい ウィンナ・ワルツの数々 指揮／篠崎史紀	(1) 鑑賞型 共催事業
2月28日(土) 3月 1日(日)	中ホール	DIVEプロデュース公演 「11998844」	2	DIVE (NPO法人大阪舞台芸術協 会) プロデュース演劇。 作／泉宗良 (うさぎの喘ぎ)	(1) 鑑賞型 共催事業
3月19日(木)	大ホール	内尾文香 ヴァイオリンリサイタル	1	吹田出身、ヨーロッパで活動中の ヴァイオリニストを迎える。 ピアノ／北村明日人	(1) 鑑賞型 自主事業

### <受託事業>

市民に優れた舞台芸術を提供する「吹田市民劇場」をはじめ、市民の芸術文化の振興に寄与するため、市と連携して以下の受託事業を行いました。

公演日	場 所	公 演 名	公演回数	内 容	事業分類
4月24日(木)	中ホール	<開館40周年記念事業> このカラダ、満開に プレワークショップ	1	障害のある人もない人も一緒に体 験する現代ダンス講座。 講師／セレノグラフィカ (文化スポーツ推進室)	(3) 市民 参加型
5月10日(土) ～令和8年 1月 5日(月)	<b>SUITA</b> × <b>ART</b> すいたあと	すいたティーンズクラシック フェスティバル メイシアター少年少女合唱団	13	吹田市内で公募した小4～高3の 20人による合唱団。月1回練習を 実施。講師／高木ひとみ (文化スポーツ推進室)	(4) 育成型
5月24日(土)	大同生命 江坂ビル	すいたティーンズクラシック フェスティバル ストリートピアノコンサート	1	4月に設置されたストリートピア ノのお披露目コンサート。 (文化スポーツ推進室)	(4) 育成型
7月 1日(火) 8月17日(日)	大ホール 中ホール	<青少年育成事業> 和太鼓ワークショップ1	6	小中学生～高校生対象の体験講座。 講師／政本憲一 (和太鼓政や) (文化スポーツ推進室)	(4) 育成型

公演日	場 所	公 演 名	公演回数	内 容	事業分類
7月 1日(火) 8月17日(日)	大ホール 中ホール	<吹田市民劇場> 和太鼓ワークショップ2	6	大学生、18歳以上の大人対象の体験講座。 講師/政本憲一(和太鼓政や) (文化スポーツ推進室)	(4) 育成型
7月 5日(土)	大ホール	<吹田市民劇場> 大阪フィルハーモニー交響楽団 七タコンサート	1	指揮/松本宗利音 ピアノ/松田華音 ピアノ協奏曲(ラヴェル)他 (文化スポーツ推進室)	(1) 鑑賞型
7月20日(日)	<b>SUITA</b> × <b>ART</b> すいたあと	<若手アーティスト育成事業> ピアノがわかる技術体験講座	2	ピアノの仕組みを知り調律の仕事を体験できる子供向け講座。 講師/荒木欣一(うたまくら) (文化スポーツ推進室)	(4) 育成型
7月27日(日)	EXPOCITY 空の広場	スプラッシュパーティ	1	すいたフェスタのプレ企画。スプラッシュパーティに伴うライブイベント。 (シティプロモーション推進室)	(5) 連携型
8月 3日(日) 8月 4日(月) 9月 7日(日)	<b>SUITA</b> × <b>ART</b> すいたあと	すいたティーンズクラシック フェスティバル 審査員による公開レッスン	3	市内の十代の青少年を対象にしたピアノ、弦楽、声楽の公開レッスン。 (文化スポーツ推進室)	(4) 育成型
8月 7日(木)	中ホール	<市民平和のつどい> 夏休み子供劇場 「がんばれかわず君」	2	子供を対象にした無料演劇公演。 出演/劇団風の子関西 (青少年室)	(4) 育成型
8月 8日(金)	中ホール	<市民平和のつどい> 落語を楽しむ夕べ 月亭方正落語会	1	吹田ゆかりの落語家による話芸で平和へのメッセージを伝える事業。 (人権政策室)	(1) 鑑賞型
8月 9日(土)	大ホール	<市民平和のつどい・吹田市民劇場> 由紀さおり・安田祥子 童謡コンサート	1	幅広い世代に人気の著名歌手によるコンサート。 (文化スポーツ推進室)	(1) 鑑賞型
8月23日(土)	大ホール	<吹田市民劇場> 青春太鼓祭 未来へのメッセージ	1	和太鼓政やと高校生、ワークショップ参加者たちが共演、総勢100人による勇壮な太鼓コンサート。 (文化スポーツ推進室)	(3) 市民参加型
9月11日(木) 12月20日(土)	大ホール 他	<吹田市民劇場> 吹田市民の第九 合唱レッスン	5	公募による市民合唱団の合唱練習。 講師/清原邦仁 他 (文化スポーツ推進室)	(4) 育成型
10月12日(日)	中ホール	<開館40周年記念事業> このカラダ、満開に	1	障害のある人もない人も一緒に創作する現代ダンスのステージ。 出演・振付/セレノグラフィカ (文化スポーツ推進室)	(2) 創造型
10月25日(土) 26日(日)	豊津西 中学校	すいたティーンズクラシック フェスティバル プラスクリニック	10	市内中学校吹奏楽部員90人を対象に、プロ奏者が講師を務める楽器別クリニック。 (文化スポーツ推進室)	(4) 育成型
11月 3日(月)	レセプション ホール	吹田市文化功労者表彰式典	1	文化振興に功績のあった市民を表彰する式典。 (文化スポーツ推進室)	(5) 連携型

公演日	場 所	公 演 名	公演回数	内 容	事業分類
11月 3日(月)	1階 ロビー	すいたティーンズクラシック フェスティバル メイシアター少年少女合唱団 ロビーコンサート	1	文化の日に館内外に賑わいを生む ロビーコンサート。  (文化スポーツ推進室)	(4) 育成型
11月 8日(土)	いずみの園 公園	<ミュージックストリート> メイシアター公園ライブ 金管五重奏	1	オーケストラなどで活躍する若手 音楽家による金管五重奏。 アンパンマンマーチ、ふるさと 他 (文化スポーツ推進室)	(1) 鑑賞型
11月16日(日)	いずみの園 公園	<ミュージックストリート> メイシアター大学公園ライブ Suita Intercollege Festival	1	市内4つの大学からアカペラ、ダンス、DJ、コーヒー研究会等のサークルが出演する屋外ライブ。 (文化スポーツ推進室)	(1) 鑑賞型
12月14日(日)	大ホール	第16回 すいたティーンズクラシック フェスティバル	2	市内在住・在校の十代の青少年を対象にしたクラシック音楽のコンクール。予選 11/9(日) (文化スポーツ推進室)	(4) 育成型
12月21日(日)	大ホール	<吹田市民劇場> 吹田市民の第九 関西フィルハーモニー管弦楽団	1	公募による市民合唱団と藤岡幸夫指揮の関西フィルとの共演。 (文化スポーツ推進室)	(3) 市民参加型
12月25日(木)	中ホール	<青少年育成事業> 影絵劇団かしの樹 「100万回生きたねこ」	1	ヴァイオリン、チェロ、ピアノの生演奏とともに上演する家族で楽しめる影絵劇。 (文化スポーツ推進室)	(4) 育成型
令和8年 1月 5日(月)	中ホール	すいたティーンズクラシック フェスティバル フレッシュコンサート	1	受賞者によるピアノ、ヴァイオリン、声楽などのコンサート。 (文化スポーツ推進室)	(4) 育成型
1月 5日(月)	レセプション ホール	吹田市新年懇談会	1	式典とコンサート。 出演/堀江トリオ(ヴァイオリン、チェロ、ピアノ) (秘書課)	(5) 連携型
1月10日(土) 3月13日(金)	千里金蘭大 中ホール	<吹田市民劇場> 千里金蘭大学共同事業 ファミリーミュージカル ワークショップ	6	千里金蘭大学生と市民が対象の演技、歌、ダンスのワークショップ。 大学ワークショップ 7/25(金) (文化スポーツ推進室)	(4) 育成型
1月16日(金)	津雲台小	<青少年育成事業> 小学校アウトリーチ事業 はじめての「能」 体験ワークショップ	1	吹田在住の能楽師・林本大が小学生たちに能楽を紹介するアウトリーチ事業。 (文化スポーツ推進室)	(4) 育成型
1月17日(土)	中ホール	芸術芸能フェスティバル	1	市民を対象に出演者を公募し発表の場を提供する舞台の祭典。 (文化スポーツ推進室)	(3) 市民参加型
2月 6日(金)	津雲台小	<青少年育成事業> 小学校アウトリーチ事業 演劇ワークショップ	1	小学校に向向き児童を対象に行う演劇体験講座。 講師/林慎一郎(劇作家・演出家) (文化スポーツ推進室)	(4) 育成型
2月 8日(日)	中ホール	<吹田市民劇場> メイシアター狂言会	1	出演/茂山千五郎、あきら、宗彦 他 演目/末広かり、千切木、長光 (文化スポーツ推進室)	(1) 鑑賞型

公演日	場 所	公 演 名	公演回数	内 容	事業分類
2月13日(金)	吹田第二小	<青少年育成事業> 小学校アウトリーチ事業 出張コンサート	1	出演/増永花恵(関西フィルハーモニー管弦楽団ヴァイオリニスト)他  (文化スポーツ推進室)	(4) 育成型
2月21日(土)	中ホール	<吹田市民劇場> 橋爪功朗読会	1	演目/「ま・く・ら」より駐車場物語(作 柳家小三治)他  (文化スポーツ推進室)	(1) 鑑賞型
3月 8日(日)	大ホール	関西フィルハーモニー管弦楽団 ドラマティックオーケストラ	1	ふるさと納税活用事業。映画音楽とクラシック音楽の人気曲を演奏。 指揮/藤岡幸夫 (文化スポーツ推進室)	(1) 鑑賞型
3月14日(土) 15日(日)	中ホール	<吹田市民劇場> 千里金蘭大学共同事業 ファミリーミュージカル 「シタタメ少女の英雄譚」	3	千里金蘭大学との共同事業。市民参加による創作ミュージカル。 作・演出/片岡百萬両 (文化スポーツ推進室)	(3) 市民参加型
3月29日(日)	<b>SUITA</b> × <b>ART</b> すいたあと	<若手アーティスト育成事業> はじめての文楽人形	2	春休みの小学生を対象にした体験講座。吹田出身の人形遣い吉田蓑悠による実演と人形ふれあい体験。 (文化スポーツ推進室)	(4) 育成型

### <協力事業>

市民の芸術文化活動の振興のため、ホール利用者に舞台装置、舞台音響、舞台照明などの技術援助や広報協力を行いました。吹田市による啓発活動に技術協力を行うなど以下の事業に協力しました。

公演日	場 所	公 演 名	公演回数	内 容
令和7年 4月29日(火)	大ホール	荒巻陽子×松浦航大 歌まねライブ	1	テレビや動画配信で人気の歌まね会のトップスターが共演するコンサート。  主催/エムズプロデュース
10月 5日(日)	大ホール	吹田市民合唱団 定期演奏会	1	「歌う人も聴く人も楽しめる音楽」を目指し市内外で活動する合唱団の定期演奏会。 ミュージックパビリオン in SUITA 他 主催/吹田市民合唱団
10月19日(日)	展示室	MOA美術館 吹田市児童作品展	2	市内在住の小学生から募集した絵画、書写の展示と表彰。 主催/MOA美術館吹田市児童作品展実行委員会
11月10日(月)	<b>SUITA</b> × <b>ART</b> すいたあと	すいた ブルーライトアップイベント	1	大阪府「介護職・介護業務の魅力発信事業」の一環。音楽イベントと屋上ロゴのライトアップ。 主催/吹田市高齢福祉室
11月11日(火) ~21日(金)	—	Wリボンカラー ライトアッププロジェクト	13	「暴力のない安心安全のまち、すいた」の実現を目指す取組みの一環。屋上ロゴのライトアップ。 主催/吹田市立男女共同参画センター
令和8年 1月 6日(火)	1階 ロビー	新春ロビーコンサート	1	新年にふさわしい華やかな邦楽演奏会。 「春の海」「泉」(宮城道雄作曲)他 演奏/吹田市三曲協会 主催/吹田市文化スポーツ推進室

公演日	場 所	公 演 名	公演回数	内 容
1月27日(火)	大ホール	拉致問題啓発舞台劇公演 「めぐみへの誓いー奪還ー」	1	拉致問題への関心と認識を深めてもらう啓発事業。舞台劇と屋上ロゴのライトアップ。出演/長谷川初範、石村とも子、仁科咲姫 他 主催/吹田市人権政策室
2月 7日(土)	小ホール 他各室	すいた環境教育フェスタ	1	環境問題について理解と認識を深める場を提供する事業。啓発イベント、体験型ブース、パネル展示など。主催/吹田市環境政策室
3月 2日(月)	大ホール	バックステージツアー	1	普段は見ることのできない舞台の裏側を案内。奈落の見学や舞台設備の紹介、操作体験など。主催/吹田市音楽連盟

### <自主事業－情報発信型事業>

事業名	おもな内容
ホームページ	開館 40 周年を機にリニューアル、見やすさと利便性を向上（レスポンシブデザイン、イベント検索、使用料金シミュレーション、バリアフリー情報など）
ソーシャルメディア	メイシアター公式 Instagram、X、Facebook、LINE メールマガジン（月1回）
イベントラインナップ	月刊情報紙を季刊紙（年4回発行）としてリニューアル、自主公演情報に特化フルカラー化、QR コード貼付
メイシアター館内発信	デジタルサイネージ（フロアガイド、イベント案内）、チラシ、ポスターロビーのディスプレイ（雛飾り、五月人形、笹飾り、Xmas ツリーなど）
市報すいた	吹田市発行（市内全戸配布） メイシアター専用枠を確保し自主公演情報を定期発信

### <施設管理事業>

事業名	おもな内容
平等利用の確保	施設管理システムの設置運用、受付マニュアルの整備、抽選予約の実施 バリアフリー情報、鑑賞サポートの案内
個人情報保護 と情報公開	プライバシーマークに準拠した個人情報保護マネジメントシステムの整備、運用 ホームページ等による情報公開の推進
施設の利用促進	ホームページのリニューアルによる利便性の向上（レスポンシブデザイン、イベント検索、使用料金シミュレーション、バリアフリー情報など）
安全対策	舞台機構、昇降設備、防災設備等の定期保守点検の実施、24 時間常駐警備 消防計画、危機管理マニュアル、災害時行動フロー等の整備、避難誘導訓練など
経費の節減	委託費等の節減（業務の内容、人員、回数等の見直しによる効率化）、光熱水料費等の抑制（環境に配慮したエネルギーの節減、ペーパーレス、再利用の推進等）
環境への配慮	エコアクション 21 に準拠した環境経営マネジメント（環境活動レポートの公表） 環境啓発イベントへの協力（すいたクールアースウィーク、環境教育フェスタ）

### <青少年育成事業・応援寄付金>

次世代を担う青少年の文化活動の支援や育成の取組みの中で、寄付金の募集活動を継続しています。

寄付金額	個人 ー□ 3,000 円（何口でも可） 法人 ー□ 10,000 円（何口でも可）
使途	① 小・中学生・高校生がプロの演奏者からレッスンを受け、コンサートでプロと共演する事業 ② 青少年が出演する演劇やミュージカル、コンサートなどの事業 ③ コミュニケーション力の向上を目的とした青少年対象の体験講座 ④ 親子で鑑賞できるコンサート、バレエ、人形劇などの事業
実績	個人2件及び法人1件より 計 210,000 円の寄付を受けました。

### <SUITA×ART（すいたあと）の活用>

吹田の若手アーティストを育成することを目的に発表の場を無料で提供しました。若い世代の文化活動の情報発信や市民交流を促しました。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
利用日	19	21	17	22	26	21	27	28	26	25	22	29	283
提供日	28	29	28	29	29	26	29	28	26	26	26	29	333
使用率	68%	72%	61%	76%	90%	81%	93%	100%	100%	96%	85%	100%	85%

### <その他>

兵庫県立芸術文化観光専門職大学臨地実務実習（劇場プロデュース実習1）の実習生を受け入れました。

日程：令和8年3月6日（金）～16日（月）10日間

人数：4名

内容：「ファミリーミュージカル」のリハーサル・本番に立ち会い、制作業務の補佐を中心に、総務、事業、舞台業務、会館運営の概要を学んでもらいました。

開館 40 周年記念事業



桂米朝生誕百年記念 桂米朝一門会  
5月18日(日) 中ホール  
出演/桂南光、桂千朝、桂米左、桂吉弥



桂米朝の映像による落語「つる」と出演者座談会ののち、「青菜」「七段目」等4演目を上演しました。



MOTHER～君わらひたまふことなかれ  
9月10日(水)～14日(日) 中ホール 全6回  
作/マキノノゾミ 演出/内藤裕敬  
出演/キムラ緑子、升毅、や乃えいじ、平井久美子、  
坂口修一、國藤剛志、為房大輔、有田達哉、  
長橋遼也、丸山文弥、菊地彩香



開館時からつづくプロデュース演劇の集大成。80年代の関西小劇場を牽引した顔ぶれが結集し、与謝野晶子の評伝劇を上演しました。  
第4回関西えんげき大賞優秀作品賞受賞



吹田市民劇場 ダーバシティダンス公演  
セレノグラフィカとあなたがおどる  
～このカラダ、満開に～  
10月12日(日) 中ホール  
演出振付/セレノグラフィカ



障がいの有無や特性を問わず参加者を公募し、5歳から70歳までの32名が12日間の稽古を経て上演しました。アフタートークでは創作プロセスを紹介しました。

5/18 桂米朝一門会



8/23 青春太鼓祭



9/10- メシアタープロデュース演劇 MOTHER 君わらひたまふことなかれ



9/20 邦楽演奏会



9/20 関西歌劇団イル・カンピエッロ



10/12 ダンス公演 このカラダ、満開に 練習



10/12 ダンス公演 このカラダ、満開に



11/3 メイシアター少年少女合唱団ロビーコンサート



11/8 公園ライブ金管五重奏



11/25 日本舞台写真家協会展



12/14 すいたティーンズクラシックフェスティバル



12/14 すいたティーンズクラシックフェスティバル



12/14 すいたティーンズクラシックフェスティバル表彰式



12/21 吹田市民の第九 練習



12/21 吹田市民の第九



12/25 影絵劇団かしの樹



1/16 能楽ワークショップ



1/17 芸術芸能フェスティバル



2/6 演劇ワークショップ



2/8 メシアター狂言会



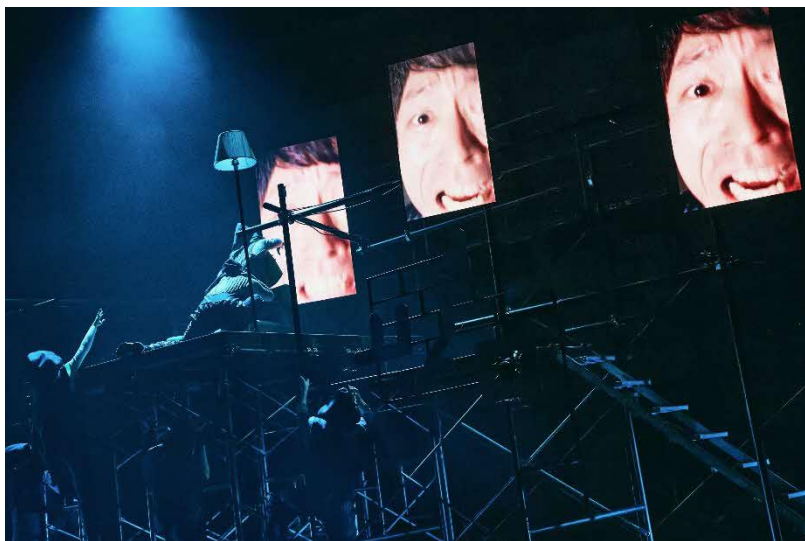
2/13 出張コンサート



2/13 出張コンサート 子供用バイオリンの演奏体験



2/28DIVE 演劇公演 11998844



3/2 バックステージツアー



3/2 バックステージツアー



3/14 ファミリーミュージカル シタメ少女の冒険譚



3/14 ファミリーミュージカル シタメ少女の冒険譚



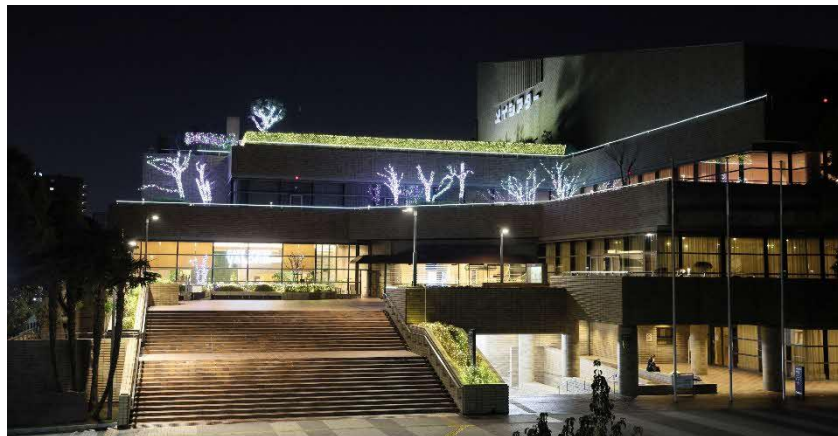
3/19 内尾文香ヴァイオリンリサイタル



3/29 はじめての文楽人形



11月～3月イルミネーション



# 令和7年度 決算書

# 貸借対照表

令和8年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
<b>I 資産の部</b>			
1 流動資産			
小口現金	323,288	300,793	22,495
現金	873,600	2,076,190	△ 1,202,590
普通預金(出納用)	53,520,185	78,432,405	△ 24,912,220
普通預金(利息用)	3,283,840	3,277,338	6,502
普通預金(過年度用)	160,413	178,950	△ 18,537
普通預金(現年度用)	232,950	222,050	10,900
普通預金(カード決済用)	35,806	0	35,806
未収金	347,157	450,866	△ 103,709
前払金	153,661	160,985	△ 7,324
仮払金	3,000	0	3,000
立替金	224,320	275,678	△ 51,358
流動資産合計	59,158,220	85,375,255	△ 26,217,035
2 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	199,924,406	199,642,428	281,978
郵便貯金	639,550	639,550	0
基本財産合計	200,563,956	200,281,978	281,978
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	23,745,885	21,645,885	2,100,000
文化事業積立資産	13,000,000	0	13,000,000
特定資産合計	36,745,885	21,645,885	15,100,000
(3) その他の固定資産			
什器備品	4	4	0
その他の固定資産合計	4	4	0
固定資産合計	237,309,845	221,927,867	15,381,978
資 産 合 計	296,468,065	307,303,122	△ 10,835,057
<b>II 負債の部</b>			
1 流動負債			
未払金	11,417,348	27,557,767	△ 16,140,419
未払法人市府民税	70,000	70,000	0
未払消費税	4,520,900	2,958,400	1,562,500
前受金	629,800	446,200	183,600
預り金	22,707,190	28,558,021	△ 5,850,831
仮受金	0	1,457,690	△ 1,457,690
賞与引当金	10,342,749	10,123,061	219,688
流動負債合計	49,687,987	71,171,139	△ 21,483,152
2 固定負債			
退職給付引当金	62,685,980	58,452,655	4,233,325
固定負債合計	62,685,980	58,452,655	4,233,325
負 債 合 計	112,373,967	129,623,794	△ 17,249,827
<b>III 正味財産の部</b>			
1 指定正味財産			
寄付金	200,000,000	200,000,000	0
指定正味財産合計	200,000,000	200,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	(200,000,000)	(200,000,000)	( 0)
(うち特定資産への充当額)	( 0)	( 0)	( 0)
2 一般正味財産	△ 15,905,902	△ 22,320,672	6,414,770
(うち基本財産への充当額)	(563,956)	( 281,978)	(281,978)
(うち特定資産への充当額)	( 0)	( 0)	( 0)
正味財産 合計	184,094,098	177,679,328	6,414,770
負債及び正味財産 合計	296,468,065	307,303,122	△ 10,835,057

# 正味財産増減計算書

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
<b>I 一般正味財産増減の部</b>			
<b>1. 経常増減の部</b>			
(1)経常収益			
①基本財産運用益	2,946,978	2,267,951	679,027
01 基本財産受取利息	2,946,978	2,267,951	679,027
②事業収益	488,640,523	461,208,522	27,432,001
01 施設管理事業収益	411,083,168	398,000,880	13,082,288
02 受託事業収益	46,422,561	39,742,892	6,679,669
03 入場券販売収益	17,142,450	6,494,000	10,648,450
04 レストラン業務収益	1,777,178	1,403,232	373,946
05 友の会会費収益	1,025,400	1,126,500	△ 101,100
06 サービス事業収益	1,629,971	1,755,884	△ 125,913
07 物品販売収益	380,210	346,610	33,600
08 手数料収益	7,044,085	6,368,424	675,661
09 広告料収益	250,000	320,000	△ 70,000
10 負担金収益	1,885,500	5,650,100	△ 3,764,600
④ 寄附金収益	210,000	204,848	5,152
01 寄付金収益	210,000	204,848	5,152
⑤ 雑収益	7,182	1,780	5,402
01 受取利息	7,182	1,770	5,412
02 雑収益	0	10	△ 10
経常収益計	491,804,683	463,683,101	28,121,582
(2)経常費用			
① 自主事業費	24,820,902	14,393,861	10,427,041
06 会議費	1,814	1,260	554
07 旅費	1,579,386	59,430	1,519,956
08 交際費	3,736	7,178	△ 3,442
09 通信運搬費	264,103	519,318	△ 255,215
11 消耗品費	169,883	99,239	70,644
12 交通費	195,453	8,313	187,140
14 印刷製本費	1,481,284	2,209,487	△ 728,203
15 光熱水料費	73,068	70,988	2,080
16 賃借料	3,874,068	901,613	2,972,455
17 保険料	36,587	49,053	△ 12,466
18 諸謝金	1,894,330	80,348	1,813,982
19 手数料	1,850,306	1,346,542	503,764
20 租税公課	10,905	8,000	2,905
21 著作権料	2,904	100,849	△ 97,945
22 負担金	46,500	46,500	0
23 委託費	13,006,823	8,835,971	4,170,852
24 広告宣伝費	213,493	16,962	196,531
25 公演賄費	115,059	32,810	82,249
30 雑費	1,200	0	1,200

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
② 施設管理事業費	405,387,054	392,214,970	13,172,084
02 給料手当	109,708,970	102,922,995	6,785,975
03 退職給付費用	3,767,661	3,905,085	△ 137,424
04 貸金	3,431,420	3,298,055	133,365
05 福利厚生費	21,066,241	20,206,891	859,350
07 旅費	122,320	5,220	117,100
09 通信運搬費	1,862,033	1,721,770	140,263
11 消耗品費	3,177,659	4,750,676	△ 1,573,017
13 修繕費	5,958,326	8,316,039	△ 2,357,713
14 印刷製本費	831,569	1,493,870	△ 662,301
15 光熱水料費	63,115,309	63,485,007	△ 369,698
16 賃借料	14,925,988	14,982,049	△ 56,061
17 保険料	189,660	189,660	0
19 手数料	107,840	79,686	28,154
20 租税公課	16,647,700	16,150,300	497,400
22 負担金	95,800	76,000	19,800
23 委託費	150,615,402	141,063,742	9,551,660
31 賞与引当金繰入額	9,763,156	9,567,925	195,231
③ 受託事業費	46,422,561	39,742,892	6,679,669
07 旅費	33,400	8,500	24,900
09 通信運搬費	1,248,034	1,218,067	29,967
11 消耗品費	1,706,343	1,100,191	606,152
12 交通費	1,200	1,000	200
14 印刷製本費	1,383,277	1,025,434	357,843
16 賃借料	3,235,620	3,093,960	141,660
18 諸謝金	4,423,958	4,432,485	△ 8,527
19 手数料	2,710,593	2,388,232	322,361
20 租税公課	42,000	40,200	1,800
21 著作権料	371,169	265,917	105,252
23 委託費	30,810,629	25,915,487	4,895,142
24 広告宣伝費	230,314	27,257	203,057
25 公演賄費	226,024	226,162	△ 138
④ 管理費	8,759,396	8,656,983	102,413
01 役員報酬	277,200	436,800	△ 159,600
02 給料手当	5,895,120	5,670,474	224,646
03 退職給付費用	465,664	482,650	△ 16,986
05 福利厚生費	1,108,750	1,063,521	45,229
06 会議費	6,636	9,472	△ 2,836
07 旅費	3,760	0	3,760
08 交際費	0	50,000	△ 50,000
09 通信運搬費	58,963	10,380	48,583
11 消耗品費	1,650	0	1,650
14 印刷製本費	43,560	0	43,560
17 保険料	6,000	6,000	0
18 諸謝金	165,000	181,800	△ 16,800
19 手数料	3,300	47,100	△ 43,800
20 租税公課	72,200	71,650	550
22 負担金	72,000	72,000	0
31 賞与引当金繰入額	579,593	555,136	24,457
經常費用計	485,389,913	455,008,706	30,381,207
当期經常増減額	6,414,770	8,674,395	△ 2,259,625

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
<b>2. 経常外増減の部</b>			
経常外収益計	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	6,414,770	8,674,395	△ 2,259,625
一般正味財産期首残高	△ 22,320,672	△ 30,995,067	8,674,395
一般正味財産期末残高	△ 15,905,902	△ 22,320,672	6,414,770
<b>II 指定正味財産増減の部</b>			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	200,000,000	200,000,000	0
指定正味財産期末残高	200,000,000	200,000,000	0
<b>III 正味財産期末残高</b>	184,094,098	177,679,328	6,414,770

# 正味財産増減計算書内訳表

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

(単位:円)

科目	公益目的事業会計	収益事業会計	法人会計	内部取引 消去	合計
	公1	収1			
	市民の文化活動の 振興を図る事業	市民の文化活動の 振興に資する事業			
<b>I 一般正味財産増減の部</b>					
<b>1. 経常増減の部</b>					
(1) 経常収益					
① 基本財産運用益	0	0	2,946,978		2,946,978
01 基本財産受取利息	0	0	2,946,978		2,946,978
② 事業収益	433,270,088	45,221,308	10,149,127		488,640,523
01 施設管理事業収益	359,825,725	41,108,316	10,149,127		411,083,168
02 受託事業収益	46,422,561	0	0		46,422,561
03 入場券販売収益	17,142,450	0	0		17,142,450
04 レストラン業務収益	0	1,777,178	0		1,777,178
05 友の会会費収益	1,025,400	0	0		1,025,400
06 サービス事業収益	1,629,971	0	0		1,629,971
07 物品販売収益	380,210	0	0		380,210
08 手数料収益	4,958,271	2,085,814	0		7,044,085
09 広告料収益	0	250,000	0		250,000
10 負担金収益	1,885,500	0	0		1,885,500
④ 寄附金収益	210,000	0	0		210,000
01 寄付金収益	210,000	0	0		210,000
⑤ 雑収益	679	6,503	0		7,182
01 受取利息	679	6,503	0		7,182
経常収益計	433,480,767	45,227,811	13,096,105		491,804,683
(2) 経常費用					
① 自主事業費	24,671,690	149,212	0		24,820,902
06 会議費	1,814	0	0		1,814
07 旅費	1,579,386	0	0		1,579,386
08 交際費	0	3,736	0		3,736
09 通信運搬費	264,103	0	0		264,103
11 消耗品費	169,883	0	0		169,883
12 交通費	195,453	0	0		195,453
14 印刷製本費	1,481,284	0	0		1,481,284
15 光熱水料費	0	73,068	0		73,068
16 賃借料	3,801,660	72,408	0		3,874,068
17 保険料	36,587	0	0		36,587
18 諸謝金	1,894,330	0	0		1,894,330
19 手数料	1,850,306	0	0		1,850,306
20 租税公課	10,905	0	0		10,905
21 著作権料	2,904	0	0		2,904
22 負担金	46,500	0	0		46,500
23 委託費	13,006,823	0	0		13,006,823
24 広告宣伝費	213,493	0	0		213,493
25 公演賄費	115,059	0	0		115,059
30 雑費	1,200	0	0		1,200

(単位:円)

科目	公益目的事業会計	収益事業会計	法人会計	内部取引 消去	合計
② 施設管理事業費	364,043,438	41,343,616	0		405,387,054
02 給料手当	98,148,559	11,560,411	0		109,708,970
03 退職給付費用	3,344,329	423,332	0		3,767,661
04 貸金	3,088,278	343,142	0		3,431,420
05 福利厚生費	18,848,742	2,217,499	0		21,066,241
07 旅費	110,088	12,232	0		122,320
09 通信運搬費	1,675,830	186,203	0		1,862,033
11 消耗品費	2,859,894	317,765	0		3,177,659
13 修繕費	5,362,494	595,832	0		5,958,326
14 印刷製本費	748,413	83,156	0		831,569
15 光熱水料費	56,803,779	6,311,530	0		63,115,309
16 貸借料	13,433,390	1,492,598	0		14,925,988
17 保険料	170,694	18,966	0		189,660
19 手数料	97,056	10,784	0		107,840
20 租税公課	14,982,930	1,664,770	0		16,647,700
22 負担金	86,220	9,580	0		95,800
23 委託費	135,553,862	15,061,540	0		150,615,402
31 賞与引当金繰入額	8,728,880	1,034,276	0		9,763,156
③ 受託事業費	46,422,561	0	0		46,422,561
07 旅費	33,400	0	0		33,400
09 通信運搬費	1,248,034	0	0		1,248,034
11 消耗品費	1,706,343	0	0		1,706,343
12 交通費	1,200	0	0		1,200
14 印刷製本費	1,383,277	0	0		1,383,277
16 貸借料	3,235,620	0	0		3,235,620
18 諸謝金	4,423,958	0	0		4,423,958
19 手数料	2,710,593	0	0		2,710,593
20 租税公課	42,000	0	0		42,000
21 著作権料	371,169	0	0		371,169
23 委託費	30,810,629	0	0		30,810,629
24 広告宣伝費	230,314	0	0		230,314
25 公演賄費	226,024	0	0		226,024
④ 管理費	0	0	8,759,396		8,759,396
01 役員報酬	0	0	277,200		277,200
02 給料手当	0	0	5,895,120		5,895,120
03 退職給付費用	0	0	465,664		465,664
05 福利厚生費	0	0	1,108,750		1,108,750
06 会議費	0	0	6,636		6,636
07 旅費	0	0	3,760		3,760
09 通信運搬費	0	0	58,963		58,963
11 消耗品費	0	0	1,650		1,650
14 印刷製本費	0	0	43,560		43,560
17 保険料	0	0	6,000		6,000
18 諸謝金	0	0	165,000		165,000
19 手数料	0	0	3,300		3,300
20 租税公課	0	0	72,200		72,200
22 負担金	0	0	72,000		72,000
31 賞与引当金繰入額	0	0	579,593		579,593
經常費用計	435,137,689	41,492,828	8,759,396		485,389,913
当期經常増減額	△ 1,656,922	3,734,983	4,336,709		6,414,770

(単位:円)

科目	公益目的事業会計	収益事業会計	法人会計	内部取引 消去	合計
<b>2. 経常外増減の部</b>					
経常外収益計	0	0	0		0
経常外費用計	0	0	0		0
当期経常外増減額	0	0	0		0
他会計振替額	1,867,491	△ 1,867,491	0		0
当期一般正味財産増減額	210,569	1,867,492	4,336,709		6,414,770
一般正味財産期首残高	△ 27,852,207	32,198,174	△ 26,666,639		△ 22,320,672
一般正味財産期末残高	△ 27,641,638	34,065,666	△ 22,329,930		△ 15,905,902
<b>II 指定正味財産増減の部</b>					
当期指定正味財産増減額	0	0	0		0
指定正味財産期首残高	0	0	200,000,000		200,000,000
指定正味財産期末残高	0	0	200,000,000		200,000,000
<b>III 正味財産期末残高</b>	△ 27,641,638	34,065,666	177,670,070		184,094,098

# 財務諸表に対する注記

令和8年3月31日現在

## 1. 重要な会計方針

- (1) 平成24年4月1日から、公益法人会計基準(内閣府公益認定委員会平成20年4月11日)を採用している。
- (2) 有価証券の評価基準及び評価方法  
償却原価法によっている。
- (3) 消費税等の会計処理  
消費税等の会計処理は、税込方式によっている。
- (4) 固定資産の減価償却  
什器備品……………償却限度額に達している。
- (5) 引当金の計上基準  
賞与引当金  
職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。  
退職給付引当金  
職員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき、当期末において発生していると認められる額を計上している。  
退職給付債務は期末自己都合要支給額に基づいて計算している。

## 2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
郵便貯金	639,550	0	0	639,550
投資有価証券	199,642,428	281,978	0	199,924,406
小 計	200,281,978	281,978	0	200,563,956
特定資産				
退職給付引当資産	21,645,885	2,100,000	0	23,745,885
文化事業積立資産	0	13,000,000	0	13,000,000
小 計	21,645,885	15,100,000	0	36,745,885
合 計	221,927,863	15,381,978	0	237,309,841

## 3. 基本財産及び特定資産の財源の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応す る額)
基本財産				
郵便貯金	639,550	(639,550)	(0)	-
投資有価証券	199,924,406	(199,360,450)	(563,956)	-
小 計	200,563,956	(200,000,000)	(563,956)	-
特定資産				
退職給付引当資産	23,745,885	(0)	(0)	(23,745,885)
文化事業積立資産	13,000,000	(0)	(13,000,000)	(0)
小 計	36,745,885	(0)	(13,000,000)	(23,745,885)
合 計	237,309,841	(200,000,000)	(13,563,956)	(23,745,885)

## 4. 担保に供している資産

該当なし。

5. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
その他の固定資産			
什器備品	1,355,500	1,355,496	4
合 計	1,355,500	1,355,496	4

6. 退職給付関係

(1) 採用している退職給付制度の概要

確定給付型の制度として退職一時金制度を設けている。

(2) 退職給付債務及びその内訳

(単位:円)

項 目	金 額
退職給付債務	△ 62,685,980
勤務費用の未処理額	0
退職給付引当金 (合計)	△ 62,685,980

(3) 退職給付費用に関する事項

(単位:円)

項 目	金 額
勤務費用	4,223,325
退職給付費用 (合計)	4,223,325

7. 保証債務等の偶発債務

該当なし。

8. 満期保有目的の債券の内訳並びに原価、時価及び評価損益

科 目	原価	時価	評価損益
国 債			
第187回 20年国債	199,924,406	153,811,500	△ 46,112,906
合 計	199,924,406	153,811,500	△ 46,112,906

\* 時価は3月31日現在、売買参考統計値

9. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

該当なし。

10. 関連当事者との取引の内容

該当なし。

11. 重要な後発事象

該当なし。

## 貸借対照表及び正味財産増減計算書の附属明細書

### 1. 基本財産及び特定資産の明細

上記については財務諸表の注記に記載しているため、貸借対照表及び正味財産増減計算書の附属明細書の記載は省略する。

### 2. 引当金の明細

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
退職給付引当金	58,452,655	4,233,325	0	62,685,980
賞与引当金	10,123,061	10,342,749	10,123,061	10,342,749

# 財産目録

令和8年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	合計	
<b>(流動資産)</b>					
	小口現金	手元保管	運転資金	323,288	
	現金	手元保管	運転資金	873,600	
	預金	りそな銀行吹田支店(出納用)	りそな銀行吹田支店	運転資金	53,520,185
		りそな銀行吹田支店	りそな銀行吹田支店	利息受取用	3,283,840
		りそな銀行吹田支店	りそな銀行吹田支店	過年度還付資金用	160,413
		りそな銀行吹田支店	りそな銀行吹田支店	現年度還付資金用	232,950
		りそな銀行吹田支店	りそな銀行吹田支店	カード決済用	35,806
	未収金	(株)イープラス 他 ダイナミックベンディングネットワーク(株) 他	公:入場券販売収入 他 取:自動販売機手数料収入 他	99,700 247,457	
	前払金	吹田商工会議所 他	4月分特定退職金共済掛金 他	153,661	
	仮払金		受賞者用図書券(R7年度該当なし分)	3,000	
立替金	(株)バリューネットワーク 他	レストラン電気代 他	224,320		
<b>流動資産合計</b>				<b>59,158,220</b>	
<b>(固定資産)</b>					
基本財産	投資有価証券	第187回20年国債	運用益を法人の管理運営	199,924,406	
	預金	ゆうちょ銀行 貯金	経費に充当している。	639,550	
特定資産	退職給付引当資産	りそな銀行吹田支店	公・収・法各事業区分に 従事する職員の退職金資産	23,745,885	
	文化事業積立資産	北おおさか信用金庫吹田支店	記念事業を行うための資産	13,000,000	
その他固定資産	什器備品	液晶ビデオ映写機等	公益目的保有財産であり 貸出用備品としている。	4	
<b>固定資産合計</b>				<b>237,309,845</b>	
<b>資産合計</b>				<b>296,468,065</b>	
<b>(流動負債)</b>					
	未払金	関西電力(株) 他	公:3月分電気料金 他	11,417,348	
	未払法人税等	吹田税務署・三島府税事務所	法:法人市府民税	70,000	
	未払消費税	吹田税務署	公:消費税確定申告額	4,520,900	
	前受金		令和8年度入場券販売収入 他	629,800	
	預り金	吹田市 他 吹田税務署	公:入場券販売収入預り金 他	22,692,070	
	賞与引当金		法:役員報酬源泉所得税 公・収・法各事業目的に 従事する職員の賞与引当金	15,120 10,342,749	
<b>流動負債合計</b>				<b>49,687,987</b>	
<b>(固定負債)</b>					
	退職給付引当金	正職員	公・収・法各事業目的に 従事する職員の退職引当金	62,685,980	
<b>固定負債合計</b>				<b>62,685,980</b>	
<b>負債合計</b>				<b>112,373,967</b>	
<b>正味財産</b>				<b>184,094,098</b>	

## 独立監査人の監査報告書

令和8年4月20日

公益財団法人吹田市文化振興事業団  
理事長 古矢 直樹 殿

公認会計士

佃 隆平

私は、公益財団法人吹田市文化振興事業団の令和7年4月1日から令和8年3月31日までの令和7年度の財務諸表、すなわち、貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録、並びに収支計算書（以下「財務諸表等」という。）について監査を行った。この財務諸表等の作成責任は理事者にあり、私の責任は独立の立場から財務諸表等に対する意見を表明することにある。

私は、我が国において一般の公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、私に財務諸表等に重要な虚偽の表示がないかどうかの合理的な保証を得ることを求めている。監査は、試査を基礎として行われ、理事者が採用した会計方針及びその適用方法並びに理事者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表等の表示を検討することを含んでいる。私は、監査の結果として意見表明のための合理的な基礎を得たと判断している。

監査の結果、私の意見は次のとおりである。

- (1) 財務諸表は我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して、公益財団法人吹田市文化振興事業団の令和7年度末日現在の財政状態並びに同事業年度の正味財産増減の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。
- (2) 収支計算書は、「公益法人会計における内部管理事項について」（平成17年3月23日公益法人等の指導監督等に関する関係省庁連絡会議幹事会申合せ）に従って、公益財団法人吹田市文化振興事業団の令和7年度の収支の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

公益財団法人吹田市文化振興事業団と私との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

## 監査報告書

令和8年4月21日

公益財団法人吹田市文化振興事業団

理事長 古矢 直樹 殿

監事 山本多通男

監事 脇野 一郎

私、監事は、公益財団法人吹田市文化振興事業団定款第29条の規定に基づき、当法人の令和7年4月1日から令和8年3月31日までの会計及び業務の監査を行ない、その結果につき次のとおり報告します。

### 1 監査の方法の概要

- (1) 会計監査について、帳簿並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて財務諸表並びに収支計算書の正確性を検討しました。
- (2) 業務監査について、理事会及びその他の会議に出席し、理事からの業務報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて業務執行の妥当性を検討しました。

### 2 監査意見

- (1) 貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録及び収支計算書は、会計帳簿の記載金額と一致し、法人の収支及び財産の状況を正しく示していると認めます。
- (2) 事業報告書の内容は、真実であると認めます。
- (3) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な過失はないと認めます。

以上



報告第5号

公益財団法人吹田市国際交流協会の経営状況について

公益財団法人吹田市国際交流協会の経営状況について、地方自治法第243条の3第2項の規定により報告します。

令和8年5月28日

吹田市長 後藤圭二

## 令和 8 (2026) 年度 公益財団法人吹田市国際交流協会 事業計画書

### 【基本理念】

私たちは、人権尊重を基盤とし、すべての人が安心して共に暮らせる地域社会の実現を目指します。「ことばの壁」「制度の壁」「こころの壁」によって分断されることなく、多様な背景を持つすべての人が、互いに個人の尊厳と人権を尊重し、公平公正な社会の一員として共生できる地域を築きます。

また、多様な文化や世代が交わることにより地域に新たな活力を生み出し、それぞれの違いを認め合いながら、ともに歩む多文化共生の豊かさを享受できる社会の創造を目指します。

### 【事業方針】

吹田市における外国籍人口は 8,241 人（令和 7 年 9 月 30 日現在）であり、総人口に占める外国人比率は約 2.1% となっています。全国平均と比較すると比率は高くないものの、市内に特定の集住地域がなく、外国人市民が市域全体に散在して居住している点が吹田市の大きな特徴です。

国籍・地域別にみると、中国、韓国・朝鮮、ベトナム、台湾、ネパール、インドネシア、フィリピン、アメリカなど、アジア地域出身者を中心に多様な国・地域にわたっています。また、市内には大学や研究機関が立地しており、留学生や研究者等が外国籍人口の一定割合を占めることも特色です。さらに、外国にルーツをもつ子どもの数も年々増加傾向にあり、日本語学習、進路、子育てなどに関する複合的な支援ニーズが顕在化しています。

本協会は、こうした地域特性を踏まえ、「吹田市多文化共生推進アクションプラン」を基本方針とし、多文化共生の推進をすべての事業の根幹に据えて取り組みます。令和 4 年 10 月に開設した「吹田市多文化共生ワンストップ相談センター」に寄せられる相談内容を通じて、外国人市民が直面する生活課題や制度上の課題を把握し、その知見を日本語教育、子ども・子育て支援、情報発信、人材育成等の各事業に反映させることで、支援と交流が相互に循環する事業運営を行います。

また、外国人市民を支援の対象としてのみ捉えるのではなく、地域社会を構成する一員として、その経験や力を生かし、ボランティアや地域活動の担い手として参画できる環境づくりを進めます。市民、ボランティア、大学、関係機関等との連携を一層強化し、多様性が地域の力として発揮される持続可能な多文化共生社会の実現を目指します。

## I 多文化共生の推進

### 1. 吹田市多文化共生ワンストップ相談センターの運営

市内在住外国人や周辺地域の外国人、また外国人を受け入れている企業や外国人に関わりのある日本人などを対象に、在留手続、雇用、医療、福祉、出産・子育て・子供の教育等、日常生活の中で必要な情報や相談場所に迅速に到達することができるよう、情報提供及び相談を多言語で行うワンストップ型の相談窓口を運営します。

月曜日から金曜日の午前 10 時から午後 4 時（土・日曜日、祝日と 12 月 29 日から 1 月 3 日は除く）を開設時間とし、原則として、11 言語（日本語・英語・中国語・韓国語・ベトナム語・ネパール語・インドネシア語・フィリピン語・タイ語・ポルトガル語・スペイン語）以上に対応します。

多言語対応のホームページについて、市と協議のうえ、掲載情報を選定し公開等を行います。具体的には、国、大阪府、吹田市等の行政情報や関連機関の情報などを毎月 3 件程度新着情報として掲載します。

## 2. コミュニティ通訳同行コーディネート事業

### (1) 病院への通訳同行

言葉の障壁が原因となり医療機関等を利用する機会が失われないよう、医療通訳講座修了者等を通訳として派遣するコーディネート業務を実施します。本年度も提携医療機関の拡充を推進します。

### (2) 行政窓口への通訳同行

外国人等がよりスムーズに行政サービスを受けられるよう、利用者と行政窓口担当者とのコミュニケーション支援及び行政サービスの充実を目指し、行政機関で手続きや相談を行う際の通訳ボランティアのコーディネート業務を実施します。

## 3. 外国につながる子どもの支援事業

### (1) 外国につながる子どもの居場所づくり及び学習支援事業

外国につながる子どもの居場所づくり及び学習支援として、放課後教室を実施します。対象は、外国につながる小学生から高校生等です。必要に応じて吹田市教育委員会が主催する「さくら広場」や近隣自治体とも連携します。当事者である子供たちの気持ちを尊重し、保護者・ボランティア・スタッフの円滑なコミュニケーションに努めます。

本年度は、学生コーディネーターの関与度を高めるとともに、近隣大学の教員や国際交流協会と連携しながら、母語支援・母文化交流事業の体制整備を更に進めます。

### (2) 帰国・渡日児童生徒支援事業

大阪府教育庁が進める「帰国・渡日児童生徒学校生活サポート事業」への参加を通して、高校受験などの進路選択のための情報提供と相談をおこなう「多言語進路ガイダンス」の開催に協力し、外国につながる子供たちの高校進学を支援します。

## 4. 外国人親子の子育て支援事業

日本で子育てをしている外国人住民が安心して交流・情報交換できるよう、交流や情報交換等ができる場を提供します。対象者は、外国につながりをもつ親子、妊娠中の人で、子育てに関するものや、居住地域や日本の文化や習慣等を知ってもらおう活動等、毎回テーマを決め、月1回程度異なる内容の活動を実施します。（日本人の親子も参加可能です）

## 5. 多文化防災・減災事業

災害時における外国人の支援体制の構築や、地域での防災活動を担う外国人等の育成を目的として、情報発信や人材育成、市の防災減災事業との連携に関する業務を行います。

行政や関連機関等が発信している防災減災に関する情報を多言語で発信します。発信ツールはホームページやメーリングリスト等、必要に応じて実効性の高いツールを使用します。

また、市が実施する防災減災事業と連携し、出展協力や災害時の多言語対応方法及び多言語版の資料の整備、災害時の外国人支援に関する研修やセミナーへの参加等を市と協議の上で実施します。

## 6. 外国人のキャリアアップにつながる支援

ボランティア団体や関係諸機関、地域コミュニティ、商工会議所や企業等と連携し、それぞれが活躍できる機会や場づくりに努めます。その一環として、行政情報等の翻訳業務を積極的に受託します。また、多文化共生社会の推進や「やさしい日本語」に係る研修や講師依頼についても積極的に受託し、外国人にとって生活しやすい・働きやすい社会環境整備に貢献します。

## II 市民主体の人づくり・地域づくり

### 1. 多文化共生ボランティアによる日本語交流活動

学習者の日本語の習得状況や要望に合わせた支援ができるよう「日本語交流活動宣言」にもとづいて、日本語ボランティアによる日本語交流活動を実施します。加えて、地域日本語教育コーディネーターを配置し、現状の把握や、学習支援方法への助言、行政機関や地域との連携による地域日本語教室の発展等に貢献します。

#### ア 日本語ではなそう

日本語ボランティアと学習者が1対1または1対2で日本語交流活動を行います。学習者の要望や日本語スキルの習熟状況に合わせ、教材の使用、フリートークやその他資料を使用します。1回90分程度の活動を週1回、年間で35回程度実施します。活動時間帯は、午前、午後、夕方の3つを予定しています。

#### イ 日本語わいわい

平成31年度の文化庁委託事業により発足した「井戸端会議」をモデルにした日本語交流活動です。日本人・外国人ボランティアと一緒に活動します。少人数グループでの会話を通して、日常生活で使う日本語の学習支援や交流を行います。1回90分程度の活動を週1回程度、年間で35回程度実施します。

#### ウ にこにこ日本語

(公財)吹田市国際交流協会が発行している日本語交流活動教材『にこにこ』、『はじめてのにこにこ』を使用し、少人数のグループで会話をしながら学習者の日本語スキル向上を支援します。1回90分程度の活動を週1回、年間で35回程度実施します。

#### エ みんなの漢字

平成31年度の文化庁委託事業により発足した活動です。少人数グループで、学習者の生活に必要な漢字の知見向上を支援します。1回90分程度で週1回、年間で35回程度実施します。

#### オ 日本語カフェあさひ

学習者とボランティアの交流活動を通して、日本語スキルの習熟と習慣・文化を身に付けられるよう支援します。また、学習者と地域社会・地域住民との相互理解の場を提供します。

時間：1回90分程度で、週1回、年間20回程度実施します。

### 2. 日本語教室の開催

#### (1) 日本語1・2 (入門・初級クラス)

初めて日本語を学習する人が、生活に必要な読み書きや会話を習得するために、日本語教師有資格者による学習者の理解度に応じたクラス別の教室を開催します。1回90分程度のクラスを週2回程度、年間で75回程度実施します。交流イベントや生活情報などを提供し、日本の生活に早く慣れるよう支援します。保育付きクラスを設けることで、就学前の子供がいても学習できる機会を提供します。また、学習者の日本語学習の成果発表や市民との交流を目的とした発表会を実施します。

学習者等のフォロー及び新規学習者の支援として、入門・初級レベルの短期のクラスを実施する短期フォロークラスも実施します。

#### (2) 日本語3(初中級クラス)

日常会話ができる人を対象に、仕事や地域への社会参画を目指して、日本語教師有資格者による初中級クラスの教室を実施します。1回90分程度のクラスを週1回、年間で35回程度実施します。

### 3. ボランティアの養成

#### (1) ボランティア登録

初めてボランティア活動を希望する人を対象に、協会の理念や活動内容を十分理解してもらい、自発的に活動ができるよう支援します。新しいボランティアが、ボランティア活動に参加しやすくなるよう登録説明会を年に2回程度実施します。

#### (2) ボランティア講座

外国人等が地域で活躍できる人材となるよう、各業務に携わるボランティアや、新たにボランティア活動を始める人の養成を目的に、講座や研修等を実施します。また、多文化共生を進める上では、外国人等と関わりを持つ市職員のスキル向上が必要なため、市職員向けの講座や研修等を実施します。

##### ア 一般のボランティア

新たにボランティア活動を希望する人を対象に、ボランティア活動時の心構え、活動内容や、留意事項の解説、「やさしい日本語」などの講座を年に2回程度実施します。

##### イ コミュニティ通訳ボランティア

新たにコミュニティ通訳に携わる人を対象に、コミュニティ通訳概論や倫理、基礎トレーニング、市の行政窓口等での手続きなどに関する講座、通訳に必要な各種スキルトレーニング等のセミナーを年に1回程度実施します。

##### ウ スキルアップ研修

現在ボランティアとして活動している人を対象に、マイクロアグレッション、「やさしい日本語」等、外国人と関わる上で必要な知識とスキルをテーマにした研修を年2回程度実施します。

##### エ ミーティング

各事業に携わるボランティア同士による意見交換、情報や各種ノウハウの共有、勉強会等を年に1回程度実施します。

### 4. 異文化理解・啓発事業

#### (1) 多文化まつり

地域の人びとや団体・学校等と在住外国人がつながる機会の創出と、互いの交流と対話を通じた多文化共生の推進を目的に「多文化まつり」を開催します。

#### (2) 多文化共生講座「多文化ぷらす」

国籍や文化、言葉等の違いを認め合い、多文化共生社会について考え理解を深めることを目的とした講座や座談会を実施します。年間6回程度の実施を目指します。講座では、多文化共生社会の推進のために、当事者である在住外国人市民の声を聴く機会を設け、協会やボランティアに期待される役割や協働の可能性を見出します。

### (3) 語学教室

協会の語学教室は、語学力を伸ばす目的だけではなく、外国語への関心を通してその言語を話す人びとの文化や習慣などについても学び、多文化理解を深めるようなクラスです。通年で、英語、中国語、韓国朝鮮語、ベトナム語、スペイン語のクラスを開催します。子どもクラスでは、ゲームや遊びなどを通して多文化理解の感覚を養い、グローバルな人材の育成に寄与するとともに、多様な国や地域の言葉と文化を学ぶコースを充実させることで多文化共生推進の一翼を担い、新たな学習者の獲得と自主財源の確保の両立を目指します。

本年度も JR 吹田駅前旭通教室クラスを開講予定です。

## 5. 国際理解事業

世界のさまざまな文化や暮らしなどについて身近なテーマを取り上げ、多文化理解を深めるプログラムを市内の学校（小中学、高校等）に提供し、協会職員や在住外国人を講師として派遣するコーディネート事業を展開します。この事業を通して、協会とともに地域づくりを支えてくれる次世代の育成に取り組みます。

## 6. 国際交流団体等支援・連携事業

### (1) 共催・後援・協力事業の実施

国際交流や国際理解など多文化共生社会の実現に寄与すると認められる事業について、共催・後援・協力事業の形で支援します。

多文化共生社会の推進のために、他者理解の重要性を経験するための場づくりをします。大人だけではなく、未来を担う子どもたちがさまざまな人との出会いや交流・体験学習を通して、持続可能な社会形成のために活躍できる人材づくりを推進します。

### (2) MUSE たかつきカレッジクラブ講座 [株式会社関大パンセ（関西大学 100%出資）連携]

小学生低学年と大人を対象にした英語講座への講師派遣等コーディネート業務を運営します。

### (3) 関西大学南千里国際プラザとの連携

関西大学別科の入学式・修了式への出席等を通して、留学生に対して協会の活動の周知を行い、協会事業や地域活動等情報共有し連携を深めます。

### (4) 国際交流協会ネットワークおおさかを通じた他団体との連携

ネットワークの実行委員として、大阪府内の国際交流協会及び自治体と広域的に連携して、多文化共生にかかわる情報を在留外国人やボランティアと共有します。また各協会間で実施される研修やインターンシップに積極的に参加し、職員にスキルアップの機会を提供します。

### (5) 吹田市国際交流団体ネットワークほかとの協力連携

地域のボランティア団体、吹田市内の社会教育機関等（市民公益活動センター「ラコルタ」、図書館、子育て青少年拠点夢つながり未来館「ゆいぴあ」、男女共同参画センター「デュオ」、博物館）をはじめ、市内の大学機関や関連諸機関とのネットワークを強化し、積極的に地域の情報と課題を共有します。

#### (6) 大学や国際交流団体・地域機関との連携

市民の自主的な国際交流・国際協力の活動を支援します。異なる言語、文化的・社会的背景をもつ人びととの対話を通して、市民が国際感覚を養い、多様な人びとが認め合い尊重し合う多文化共生社会の実現に努めます。

留学生やホストファミリーが互いに文化や習慣についての理解を深めることができるよう、大阪大学をはじめ市内の大学等と連携し、ホストファミリーのコーディネートや交流会等の支援を行います。

### Ⅲ 多言語情報発信（多言語・「やさしい日本語」による情報発信）

在住外国人も日本人と同じように行政などの情報にアクセスできる（イコールアクセス）ように、ホームページや Facebook、Instagram などを活用して行政情報を提供します。会報「SIFA Times」を年 4 回発行し、協会で活動している人々や地域の国際化につながる情報を発信します。また、ボランティアを対象に、ボランティア活動に関する情報を「ボランティア便り」として月 1 回メールで発信します。協会に登録している外国人等に対しては、行政情報等を多言語メーリングリストである「ミミヨリ INFO」により、「やさしい日本語」で発信します。

### Ⅳ 組織基盤の強化（人材育成・業務品質向上・安定的な事業運営体制の構築）

協会経営の安定化を図るとともに、人材育成、業務品質および生産性の向上に取り組み、持続可能な多文化共生推進体制を構築します。

令和8年度（公財）吹田市国際交流協会 収支予算書  
（正味財産増減計算書ベース）

令和8年4月1日 から 令和9年3月31日 まで

（単位：円）

科目	当年度予算額			前年度予算額	増 減
	公益目的事業会計	法人会計	合計		
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
基本財産運用収益					
基本財産受取利息		2,600,000	2,600,000	356,000	2,244,000
事業収益			0		0
語学教室事業収益	17,175,000	5,725,000	22,900,000	22,500,000	400,000
受託事業収益	43,210,000	0	43,210,000	41,130,000	2,080,000
その他の事業収益	1,200,000	0	1,200,000	1,000,000	200,000
受取会費	0	0	0		0
受取賛助会員会費	800,000	800,000	1,600,000	2,430,000	△ 830,000
受取補助金等	0	0	0		0
受取吹田市補助金	1,300,000	0	1,300,000	1,300,000	0
受取負担金	0	0	0		0
受取負担金	200,000	0	200,000	260,000	△ 60,000
雑収益	0	0	0		0
受取利息	0	0	0	2,000	△ 2,000
雑収益	0	0	0	700,000	△ 700,000
経常収益計	63,885,000	9,125,000	73,010,000	69,678,000	3,332,000
(2) 経常費用					
事業費					
賃金	0	0	0	17,613,840	△ 17,613,840
臨時雇賃金	0	0	0	9,844,071	△ 9,844,071
賞与引当金繰入額	0	0	0	3,356,136	△ 3,356,136
給与手当	31,086,800	0	31,086,800	0	31,086,800
法定福利費	4,977,200	0	4,977,200	4,771,700	205,500
福利厚生費	736,000	0	736,000	744,694	△ 8,694
会議費	6,450	0	6,450	0	6,450
旅費交通費	2,025,000	0	2,025,000	1,119,825	905,175
通信運搬費	2,046,000	0	2,046,000	2,910,714	△ 864,714
消耗什器備品費	0	0	0	0	0
消耗品費	472,500	0	472,500	670,600	△ 198,100
修繕費	282,000	0	282,000	375,000	△ 93,000
印刷製本費	892,500	0	892,500	434,500	458,000
水道光熱費	720,000	0	720,000	828,000	△ 108,000
賃借料	994,500	0	994,500	842,400	152,100
使用料	1,496,000	0	1,496,000	169,037	1,326,963
保険料	120,000	0	120,000	110,000	10,000
報償費	0	0	0	13,702,500	△ 13,702,500
委託費	12,155,000	0	12,155,000	1,963,141	10,191,859
諸謝金	1,920,000	0	1,920,000	1,637,760	282,240
租税公課	2,889,600	0	2,889,600	2,514,600	375,000
支払負担金	44,000	0	44,000	129,060	△ 85,060
支払手数料	585,000	0	585,000	944,840	△ 359,840
研修費	180,000	0	180,000		180,000
減価償却費	217,000	0	217,000		217,000
雑費	39,450	0	39,450	16,792	22,658

令和8年度（公財）吹田市国際交流協会 収支予算書  
（正味財産増減計算書ベース）

令和8年4月1日 から 令和9年3月31日 まで

（単位：円）

科目	当年度予算額			前年度予算額	増 減
	公益目的事業会計	法人会計	合計		
管理費					
賃金	0	0	0	1,346,160	△ 1,346,160
臨時雇賃金	0	0	0	595,029	△ 595,029
賞与引当金繰入額	0	0	0	233,314	△ 233,314
給与手当	0	2,703,200	2,703,200	0	2,703,200
法定福利費	0	432,800	432,800	348,150	84,650
福利厚生費	0	64,000	64,000	64,756	△ 756
会議費	0	3,550	3,550	7,000	△ 3,450
旅費交通費	0	225,000	225,000	65,175	159,825
通信運搬費	0	154,000	154,000	219,086	△ 65,086
消耗什器備品費	0	0	0	0	0
消耗品費	0	157,500	157,500	29,400	128,100
修繕費	0	18,000	18,000	125,000	△ 107,000
印刷製本費	0	157,500	157,500	65,500	92,000
水道光熱費	0	180,000	180,000	72,000	108,000
賃借料	0	175,500	175,500	197,600	△ 22,100
使用料	0	1,224,000	1,224,000	216,013	1,007,987
委託費	0	2,145,000	2,145,000	1,123,559	1,021,441
諸謝金	0	80,000	80,000	68,240	11,760
租税公課	0	120,400	120,400	25,400	95,000
支払負担金	0	36,000	36,000	50,940	△ 14,940
支払手数料	0	715,000	715,000	82,160	632,840
研修費	0	20,000	20,000		20,000
減価償却費	0	403,000	403,000		403,000
雑費	0	110,550	110,550	13,518	97,032
経常費用計	63,885,000	9,125,000	73,010,000	69,647,210	3,362,790
当期経常増減額	0	0	0	30,790	△ 30,790
2. 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
経常外収益計				0	
(2) 経常外費用				0	
経常外費用計					
当期経常外増減額					
当期一般正味財産増減額	0	0	0	30,790	△ 30,790
一般正味財産期首残高			0	1,500,000	△ 1,500,000
一般正味財産期末残高			0	1,530,790	△ 1,530,790
Ⅱ 指定正味財産増減の部					
基本財産運用益					
基本財産評価損益等				0	0
基本財産受取利息			2,600,000	356,000	2,244,000
受取民間助成金			0	0	0
一般正味財産への振替額			-2,600,000	△ 356,000	△ 2,244,000
当期指定正味財産増減額			0	0	0
指定正味財産期首残高			193,000,000	200,000,000	△ 7,000,000
指定正味財産期末残高			200,000,000	200,000,000	0
Ⅲ 正味財産期末残高			200,000,000	201,530,790	△ 1,530,790

# 令和7年度（2025年度）公益財団法人吹田市国際交流協会 事業報告書

## I 市民主体の国際交流・国際協力

市民の自主的な国際交流・国際協力活動の支援に努めた。自分たちとは異なる言語、文化的・社会的背景をもつ人びととの対話を通して、市民が国際交流意識を高め、多様な人びとと互いの違いを認め、尊重し合う多文化共生社会の実現を目指した。

### 1. 国際交流推進事業

友好交流都市との交流は、コロナ禍以来滞っている環境下、市民主体の国際交流活性化という理念に立ち返り、ボランティアによる日本語交流活動やホームページやSNSを活用した情報発信、国際理解に係る出前講演、大阪関西万博を意識した語学教室、吹田市多文化共生ワンストップ相談センター（以下、相談センター）等を通じて、地域の多様な人々に対する国際交流推進に努めた。

### 2. 国際交流情報の収集及び発信

協会の活動紹介や報告、在住外国人に役立つ国際交流情報などを多言語で提供した。特に、教育に関する情報（子育て世帯向けイベント、入試情報など）を重視した。加えて、吹田市委託事業に関しては、吹田市ホームページでも情報を提供しており、多様な媒体からの発信力強化を意識した。相談センターのリンクを掲載する吹田市の関係部署もあり、協会事業の市民等への周知につながっている。また、台風などの広域かつ大規模災害を想定し、気象や防災に関する多言語情報を発信した。

#### (1) 紙媒体による情報発信

- ・SIFA Times 発行回数：4回、延べ発行部数：5,000部
- ・吹田市報掲載 掲載件数：30件

#### (2) Web媒体による情報発信

- ・協会ホームページ 掲載件数：93件×8言語（やさしい日本語含む）
- ・ボランティア便り 配信数：12回（毎月1回）

#### (3) 多言語情報閲覧コーナーの整備

- ・SIFA文庫 開架書籍：130冊

### 3. 市内大学との連携による留学生等と市民の交流

#### (1) 市内大学等のホストファミリープログラムの支援

留学生及びホストファミリーが互いの文化・習慣を知り、相互理解を深めることをねらい、家族ぐるみの国際交流活動を実施した。

##### ア 大阪大学留学生ホストファミリープログラム出合いの会

日時：4月26日 13:30～14:30 場所：大阪大学 吹田キャンパス

参加者：ボランティア 10家族

日時：10月25日 10:30～11:30 場所：大阪大学 吹田キャンパス

参加者：ボランティア 7家族

内容：ホストファミリーと留学生の顔合わせ

##### イ 大阪大学留学生ホストファミリープログラム連絡協議会

#### (ア) 第57回大阪大学留学生ホストファミリープログラム連絡協議会

日時：6月23日 14:00～15:30 場所：大阪大学 国際教育交流センター

参加者：ボランティア1名、職員2名

内容：留学生受入状況及び受入予定説明、各団体活動状況報告、OHP実施について

#### (イ) 第58回大阪大学留学生ホストファミリープログラム連絡協議会

日時：1月26日 10:30～12:00 場所：大阪大学 国際教育交流センター

- 参加者：ボランティア 1 名、職員 1 名  
 内容：留学生受入状況及び受入予定説明、各団体活動状況報告、OHP 実施について
- ウ ホストファミリープログラムミーティング
- 日時：5 月 27 日 15:00～16:00 場所：SIFA 教室、オンライン  
 参加者：ボランティア 4 名、職員 2 名  
 内容：ホストファミリー交流会イベントについて
- 日時：9 月 10 日 15:00～17:00 場所：SIFA 教室  
 参加者：ボランティア 3 名、職員 2 名  
 内容：ホストファミリー交流会イベントについて
- 日時：10 月 14 日 10:00～12:00 場所：ラコルタ交流スペース  
 参加者：ボランティア 4 名、職員 1 名  
 内容：2025 年秋大阪大学留学生ホストファミリープログラムのホストファミリーと留学生とのマッチング作業および 11 月交流会イベントについて
- 日時：10 月 14 日 12:00～14:00 場所：南千里地区公民館 調理実習室  
 参加者：ボランティア 4 名  
 内容：11 月交流会イベントの調理の練習、打合せ
- エ 留学生とボランティアとの交流
- 日時：6 月 22 日 10:00～14:00 場所：山本能楽堂  
 参加者：留学生 5 名（国・地域：ブルガリア、ハンガリー、ベラルーシ、台湾）、ボランティア 7 名、職員 2 名  
 内容：能楽堂 特別開放見学、能装束などの体験、商店街での昼食、散策
- 日時：11 月 29 日 10:00～15:00 場所：南千里地区公民館 調理実習室  
 参加者：留学生 7 名（国・地域：ニュージーランド、シンガポール、インド、台湾、タイ、エジプト、メキシコ）、ボランティア 7 名（6 家族）、職員 2 名  
 内容：ハラル料理を意識した日本料理、モンゴル料理の調理、交流活動

## II 国際化推進の人づくり支援

多文化共生社会の推進のために、市民が他者理解の重要性を理解するための機会を増やし、未来を担う子どもと多様な人たちとの出会いや交流・体験学習を通して、持続可能な社会形成のために活躍できる人材づくりを推進した。

### 1. 国際交流ボランティア活動支援

#### (1) 国際交流ボランティア登録

- ア SIFA 日本語ボランティア研修「はじめての日本語ボランティア」  
 SIFA 日本語ボランティア教室への参加を希望するボランティア登録者を対象に、やさしい日本語やボランティアの心構えなどの講座を開催した。
- 「はじめてのボランティア活動」  
 日時：4 月 5 日 10:00～11:30、8 月 23 日 10:15～11:15、3 月 14 日 15:00～15:30  
 場所：SIFA 教室 1、ラコルタ会議室 2・3 人数：21 名、28 名、20 名
- 「はじめての日本語ボランティア」  
 日時：4 月 5 日 13:00～14:30、8 月 23 日 13:00～14:30 場所：SIFA 教室  
 人数：23 名、28 名

イ 新規ボランティア登録説明会

初めてボランティアをしようとする希望者を対象に、説明会を開催した。協会の理念やボランティア活動の内容について説明をおこない、国際交流ボランティア登録を実施した。

日時：8月23日、2月14日、2月16日 場所：ラコルタ会議室、SIFA教室1

人数：22名、23名、14名

(2) ボランティア講座

ア 「夏休み国際交流セミナー」

協会の活動に参加しているボランティア・協会職員を対象に『元CAが語るあの一線を越えなかった理由』をテーマに講座を実施した。SNS全盛の時代における「ヤバイ」、「えぐい」、「うざっ」といった感情表現を具体例に取り上げ、イェール大学感情知性センターが作成した『ムードメーター』に基づく感情を表現する100の言葉を参考に多様な文化的背景や価値観の違いと言語化することの重要性を考える機会を提供した。引き続き多文化共生を一人一人に浸透させ、青少年を犯罪に近づかせないための感情リテラシーを高める取り組みを推進した。

日時：8月6日 18:15～19:30 場所：千里市民センター 大ホール

講師：梶ウィリアム勇輝生 人数：18名

イ 「多文化ボランティア研修～かかわり方の学び方」

協会の活動に参加しているボランティアを対象に外部講師を招き、ワークショップ形式の研修を開催した。

日時：3月14日 15:30～17:00 場所：ラコルタ会議室

講師：北川知子（特定非営利活動法人とんだばやし国際交流協会理事長） 人数：20名

(3) ボランティアによる日本語学習支援

ア 日本語ではなそう

今年度から活動名を「日本語ではなそう」に変更。ボランティアと学習者が1対1又は1対2で日本語習得支援を行った。学習者の日本語レベルや要望はさまざまなので、それぞれに寄り添った支援を実施した。

期間：朝クラス 4月8日～3月17日（8月活動なし） 毎週火曜日 90分

夜クラス 4月9日～3月18日（8月活動なし） 毎週水曜日 90分

昼クラス 4月11日～3月13日（8月活動なし） 毎週金曜日 90分

回数：朝クラス 全41回（うち1回はボランティアガイダンス）

夜クラス 全43回（うち1回はボランティアガイダンス）

昼クラス 全42回（うち1回はボランティアガイダンス）

場所：SIFA教室、千里市民センター、ラコルタ会議室

参加者：朝クラス 学習者 延べ529名、ボランティア 延べ534名

夜クラス 学習者 延べ754名、ボランティア 延べ694名

昼クラス 学習者 延べ429名、ボランティア 延べ442名

イ にこにこ日本語

ボランティアと外国人学習者が少人数のグループを構成し、当協会が作成した対話型教材（日本語交流活動教材『にこにこ』『はじめてのにこにこ』）を使用して、日常生活で出会う様々な場面を想定したフランクな“おしゃべり活動”を実施した。

期間：4月12日～3月21日 日時：土曜日 10:00～11:30

回数：全41回（うち1回はボランティアガイダンス）

場所：SIFA教室、千里市民センター、南千里地区公民館

班構成：4班。1班は日本語入門レベルクラス、テキスト『はじめてのにこにこ』を使用。

2～4班はテキスト『にこにこ』を使用。

参加者：学習者 延べ612名、ボランティア 延べ687名

#### ウ みんなの漢字

ボランティアと外国人学習者が少人数のグループを構成し、当協会が作成したプリント教材（「生活の漢字～生活場面から文字を学ぶ～」）を使用して、日常生活のさまざまな場面で目にする漢字を想定して実施した。

期間：4月12日～3月21日 日時：土曜日 12:30～14:00

回数：全41回（うち1回はボランティアガイダンス） 場所：SIFA 教室

班構成：2班（学習者を日本語初級者と中級者以上にレベル分けして運営）

参加者：学習者 延べ365名、ボランティア 延べ275名

#### エ 日本語わいわい

日本語交流活動を通して地域で暮らすみんながともに学ぶ場で、外国人ボランティアと日本人ボランティアと一緒に活動し、学習者と生活にまつわるテーマについて語り合い、学習者、ボランティア双方にとって気軽に来られる居場所となることを目指して実施した。

期間：4月11日～3月13日 ※8月活動なし 日時：毎週金曜日 10:00～11:30

回数：42回（うち1回はボランティアガイダンス）

場所：SIFA 教室 参加者：学習者 延べ446名、ボランティア 延べ367名

#### オ 日本語カフェあさひ

2025年度新規事業として JR 吹田駅南側（旭通商店街）のさくらカフェを利用した日本語学習支援事業を実施した。参加者同士の交流活動を通して、日本語スキルの向上と習慣・文化の習熟を支援した。また、在住外国人と地域社会・地域住民との相互理解の場を提供した。

期間：4月7日～3月16日 日時：月曜日 15:00～16:30 回数：37回

場所：さくらカフェ

参加者：学習者 延べ144名、ボランティア 延べ150名

#### カ 地域日本語教育コーディネーターによる支援

地域日本語教育コーディネーターを配置し、日本語教育の現状把握や、学習支援方法等への助言、行政機関や地域との連携による地域日本語教室の実効性を高めた。また、ボランティア間の交流活性化を企図し、ボランティア交流会を実施した。

##### ① 「ボランティア交流会（夏）」～元 SIFA 日本語学習者の話を聞こう～

ボランティア交流や日本語ボランティア活動における不安や悩み、解決策についてグループに分かれディスカッションした。そして、交流を通して今後のボランティア活動の展開について一緒に考えた。

日時：8月23日 15:00～16:30 場所：SIFA 教室 参加者：13名

##### ② 「ボランティア交流会（冬）」

～みんなで話そう！入門期・初級期の学習者との活動について～

日本語をほとんど話すことのできない入門期・初級期の学習者と、どのように関わり、どのようにサポートしていくか吹田市の在住外国人の現状や SIFA の日本語事業の課題を踏まえながら初級学習者も安心できる活動について一緒に考えた。

日時：1月17日 15:00～16:30 場所：SIFA 教室 参加者：21名

## 2. 語学教室

学習者の知識やコミュニケーション能力の習得だけでなく、様々な国の文化や生活習慣を知る機会を提供し、外国語に慣れ親しむことを手始めに国際理解の意識を高め、地域とともに生活する隣人としての外国人支援の重要性を伝えた。また、子どもたちが英語学習を通して国際理解を深める機会となっており、グローバル人材の育成に努めた。

開講言語： 英語、中国語、韓国朝鮮語、ベトナム語、スペイン語

参加登録人数： 193 人（通年クラスは 2026 年 3 月時点の受講者登録数）

(1) 通年クラス

【英語】 大人クラス 講師：Hosea Lee BakersⅢ、Nhon Nguyen、Douglas Rodger James、  
Marc-Eric Tremblay

小学生クラス 講師：Douglas Rodger James

【中国語】 講師：山口 小百合

【韓国朝鮮語】 講師：朴 家英

【ベトナム語】 講師：ファム フィ ハイ イェン

【スペイン語】 講師：Mariano Hernandez

講座名	クラス数	学習者数	講座名	クラス数	学習者数
大人（レベルクラス）	11	102 名	中国語	1	3 名
大人（テーマクラス）	4	32 名	韓国朝鮮語	4	39 名
旭通教室	2	8 名	ベトナム語	1	7 名
小学生英語	2	7 名	スペイン語	1	4 名

(2) 短期クラス

4 月開講

クラス名	期間	講師名	回数	参加人数
もっと英語でフラダンス	4 月 11 日～6 月 20 日	Shannon Ohara	10 回	9 名
半年で変わる！ハングル 20 ステップ・入門	4 月 11 日～9 月 19 日	朴 家英	20 回	4 名
半年で変わる！ハングル 20 ステップ・初級	4 月 11 日～9 月 19 日	朴 家英	20 回	8 名
韓国ドラマで学ぶリアルな韓国語・中級	4 月 8 日～9 月 16 日	朴 家英	20 回	12 名

5 月開講

クラス名	期間	講師名	回数	参加人数
北摂パリ塾 初めてのフランス語	5 月 16 日～7 月 18 日	Alibert Vincent	10 回	5 名
チャオ！イタリア語入門	5 月 16 日～7 月 18 日	Cristiana Darrigo	10 回	5 名
喋って学ぶ！初めての中国語	5 月 16 日～7 月 18 日	山口 小百合	10 回	10 名
英語でフラダンス初級英会話	5 月 13 日～6 月 20 日	Shannon Ohara	6 回	7 名
はじめて学ぶ旅する英会話	5 月 13 日～7 月 15 日	Nhon Nguyen	10 回	7 名

6 月開講

クラス名	期間	講師名	回数	参加人数
英語・短期集中講座 「なるほど！ワールド」	6 月 2 日～9 月 8 日	Marc-Eric Tremblay	10 回	10 名

10 月開講

クラス名	期間	講師名	回数	参加人数
英語ニュース・CM で耳トレ！	10 月 6 日～12 月 22 日	Hosea Baker	10 回	7 名
やさしい英語で水彩画	10 月 7 日～12 月 16 日	Nhon Nguyen	10 回	6 名
喋って学ぶ初めての中国語	10 月 1 日～3 月 11 日	朴 家英	10 回	4 名
韓国朝鮮語・中級	10 月 10 日～12 月 19 日	山口 小百合	10 回	7 名
半年で変わる！ハングル 20 ステップ 初級	10 月 10 日～3 月 13 日	朴 家英	20 回	6 名
半年で変わる！ハングル 20 ステップ 初中級	10 月 10 日～3 月 13 日	朴 家英	20 回	7 名

### 1月開講

クラス名	期間	講師名	回数	参加人数
やさしい英語で耳トレ！英会話入門（入門）	1月5日～2月16日	Rodger James	6回	6名
入門者向け 旅行英会話（入門）	1月6日～2月10日	Nhon Nguyen	6回	10名
おしゃべり英会話！（中～上級）	1月7日～2月18日	Marc-Eric Tremblay	6回	6名
旅行で使える！初級韓国語会話（初級）	1月5日～3月16日	朴 家英	9回	9名
もっと英語でフラダンス	1月9日～3月13日	Shannon Ohara	10回	7名

### (3) キッズサマークラス「3日でできる！子ども英語プレゼン」

クラス名	期間	講師名	回数	参加人数
小学1・2年生	7月30日～8月1日	Rodger James	3回	4名
小学3・4年生	7月30日～8月1日	Rodger James	3回	4名
小学5・6年生	7月30日～8月1日	Rodger James	3回	9名

## 3. 異文化理解・啓発事業

### (1) 多文化まつり

今年度は日頃 SIFA につながっているボランティアや学習者、語学受講者などを中心に、グループで協力して何かパフォーマンスや体験をつくりあげることで、横のつながりを広げ、多様な生き方を認め合い、互いに支え合う社会を目指し多文化まつりを実施した。具体的には、ワークショップやモンゴルゲルの展示他、計8の企画を実施した。

日時：11月15日 10:00～16:00

場所：SIFA 内教室、千里ニュータウンプラザ2階エントランスホール、千里市民センター（大ホール、多目的ルーム）

イベント内容：①モンゴルゲルの展示

②馬頭琴の演奏

③英語でフラダンス

④浴衣体験

⑤中国江南地区扇子工芸体験

⑥世界のあそび

⑦世界の「わたしのふるさと」紹介

⑧映画「マイスマールランド」上映

総計参加者数：延べ約1,400人

### (2) 多文化共生講座「多文化ぷらす」

民族、国籍、文化、宗教、言語などの「違い」を超えて、さまざまな背景を持つ人々が互いに理解し合い、多様な文化や価値観を認め、尊重しながら共に暮らしていく社会の実現を目指し、その基盤となる知識や姿勢を学ぶ講座を実施した。多文化ぷらすでは、市民が多文化に対する理解を深め、共生社会について考える機会となることを目的としており、招聘講師講演、当事者体験談、参加者の意見交換、ワークショップ等を通じて、多様な切り口で多文化共生に接する機会を提供した。

ア 試練を乗り越えるために多文化共生に関わる3つの立場から

～学習者・インターン・研究者としての私～

日時：6月21日 14:30～16:00 場所：SIFA 教室 講師：劉泓謙 参加者：15名

内容：当協会の日本語教室の学習者だけでなくインターンとして事業運営にも携わる一方、多文化共生に関する研究にも取り組んでいる劉氏にこれらの経験を踏まえて感じたこ

とを話してもらい、当事者ならではの視点に耳を傾けながら、参加者も交えて一緒に考える場とした。

#### イ 遠くて近いインドネシア

～日本との関係&バリ島でのインドネシア語会話からみえてくるもの～

日時：7月19日 14:30～16:00 場所：SIFA 教室

講師：湯浅 章子（甲南女子大学国際学部 教授） 参加者：17名

内容：この講演では、ASEAN 諸国の中でも特に日本との関わりが深く、世界第4位の人口を持つ東南アジアの大国インドネシアと日本の関係について講義が行われ、理解を深めた。また、日本人に大人気のリゾート地、バリ島の映像を背景に、そこに映し出された現地大学生との簡単なインドネシア語会話を通じて、等身大のインドネシアの言語文化に触れる機会となった。

#### ウ 多文化多言語の子どものことばとアイデンティティの発達を支える

～トランスランゲージングから考える新たな教育のかたち～

日時：9月13日 14:30～16:00 場所：SIFA 教室

講師：櫻井 千穂（大阪大学大学院人文学研究科 准教授、ふくふくセンター教育・研究部門長）

参加者：40名

内容：「トランスランゲージング（言語横断的な言語使用）」という新しい視点から、多文化・多言語の子どもを取り巻く教育現場や地域社会における子ども支援のあり方について櫻井氏が講演した。考え方の違いによって多様な背景をもつ子どもたちの可能性や未来を広げる教育のあり方について考察した。

#### エ 日本留学の経験とその後～モンゴル人卒業生の事例から～

日時：10月11日 14:30～16:00 場所：SIFA 教室1

講師：アリウナ エンクトゥル（大阪大学国際機構 グローバル・アドミッションズ・サポートオフィス(GASO) 准教授・オフィス長）

参加者：21名

内容：アリウナ氏の日本留学の経験に加え、モンゴル人留学生に関する調査結果を紹介した。留学生はどんな思いで日本を目指し、どんな壁にぶつかりながら、どのように人生を切り拓いてきたのか、異なる文化や人との出会いの中で得た気づきや成長、そして地域とのつながりについて一緒に考えた。

#### オ 世界の空に思いを馳せるワークショップ

～多彩な講師陣による世界各地の風につつまれる話～

日時：1月25日 13:30～16:30 場所：吹田歴史文化まちづくりセンター（浜屋敷）

講師：今井 美名子、河上 彩子、グエン ティ フォン タン、サブコタ マンジュ、賈 晨（ジャ チン）、中原 あやこ、レナ アドリアニ（吹田市多文化共生ワンストップ相談センター 多言語相談員）

参加者：25名

内容：みんなで風を制作し、講師の世界の文化や魅力についての話を聞いた。また、世界各国の風につつまれるクイズにも挑戦し、みんなで作った風で世界の文化に触れる機会となった。

#### カ 国際女性デー記念講演会「アラブ世界の女性と仕事」（中止）

中東情勢が緊迫化し、欧州に渡航中の講師が帰国できなくなったため中止

日時：3月7日 15:00～16:30 場所：SIFA 教室

講師：松田 裕美 神戸市外国語大学 国際関係学科 准教授

内容：国際女性デーに合わせて、国連児童基金（UNICEF）職員として世界各国で女性と子どもの権利を守る取り組みに携わってこられた松田氏を講師に迎え、近年、多くの難民や出稼ぎ労働者らの流入によって一層複雑化するアラブ社会の構造や、アジアやアフリカからの出稼ぎ女性労働者に対する暴力などの深刻な社会問題について講義と参加者との論議を予定していた。

#### 4. 国際理解事業

(1) モンゴルの暮らし

日時：8月25日 場所：国立民族学博物館

(2) 日本で生きる外国人に想いを馳せる

日時：9月26日 場所：大阪学院大学高校

#### 5. 国際交流団体等支援・連携事業

(1) 共催・後援・協力事業の実施

○事業名：ワールドキャンパス吹田訪問事業

主催団体：吹田国際隣人グループ SING

開催期間：7月3日～7月10日

○事業名：第25回2026多民族共生人権研究集会

主催団体：第25回2026多民族共生人権研究集会実行委員会

開催期間：7月22日

○事業名：講座とワークショップ「7カ国語で話そう」

主催団体：(一財)言語交流研究所ヒッポファミリークラブ

開催期間：11月9日、11月13日、11月16日、11月19日、12月7日

(2) MUSE たかつきカレッジクラブ講座

株式会社関大パンセより委託されている子どもと大人の両方を対象とした英語教室を開催。本年度は、2コース各6回ずつ全12回実施した。

コース：Aコース 講座名：大人の英会話（初級）

Bコース 講座名：小学生英語（小学3年生～6年生）Easy Peasy English

日時：6月10日、6月17日、6月24日、7月1日、7月8日、7月15日

Aコース：15:30～17:00（90分）、Bコース：17:10～18:00（50分）

講師：Douglas Rodger James

受講者：Aコース 延べ75名 Bコース 延べ48名

(3) 関西大学南千里国際プラザとの連携

春と秋に開催された関西大学留学生別科の入学式、修了式へ出席し、地域団体の代表として挨拶をした。地域の中での受け入れ支援体制について、情報を提供した。

<2025年度春学期入学式>

日時：2025年4月2日 13:00～13:30 場所：南千里国際プラザ

<2025年度春学期修了式>

日時：2025年9月12日 13:00～13:30 場所：南千里国際プラザ

<2025年度秋学期入学式>

日時：2025年9月24日 13:00～13:30 場所：南千里国際プラザ

<2025年度秋学期修了式>

日時：2026年3月13日 13:00～13:30 場所：南千里国際プラザ

(4) 国際交流協会ネットワークおおさかを通じた他団体との連携

大阪府内の国際交流協会による「国際交流協会ネットワークおおさか実行委員会」（構成12団体）に参画し、ボランティア団体や国際交流関係団体、関係諸機関などとのつながりの場を作り、さまざまな情報交換を行い、広域的な相互連携、協力体制の維持強化をした。

定例会：原則月1回

4月18日15:00～17:00、5月13日10:00～12:00、7月29日14:00～16:00、  
9月2日14:00～16:00、10月3日10:00～12:00、11月11日10:00～12:00、  
12月4日10:00～12:00、1月16日11:00～12:00、2月19日10:00～12:00、  
3月27日10:00～12:00

場所：大阪国際交流センター、池田市ダイバーシティセンター、とよなか国際交流センター、  
富田林市立多文化共生・人権プラザ（TONPAL）、チカノバ（箕面市国際交流協会）、  
東大阪市役所、オンライン（Zoom）

構成団体：（公財）大阪国際交流センター、（公財）大阪府国際交流財団、（公財）吹田市国際交流協会、（公財）とよなか国際交流協会、（特活）とんだばやし国際交流協会、（公財）箕面市国際交流協会

オブザーバー：大阪府都市魅力創造局国際課、堺市文化観光局文化国際部国際課、池田市市民活動部人権・文化国際課、和泉市総務部人権・男女参画室、東大阪市人権文化部多文化共生・男女共同参画課、（特活）多文化共生マネージャー全国協議会

\*職員研修会

日時：6月17日13:30～16:30 場所：大阪国際交流センター

\*弁護士無料相談会

日時：2月5日13:00～16:00 場所：堺市役所内

\*シンポジウム

「外国人受け入れ政策の今とこれから～もういっぺん教えて、是川さん～」

日時：1月23日13:30～16:30 場所：大阪市国際交流センター

講師：是川夕（国立社会保障・人口問題研究所国際関係部 部長）

(5) 吹田市国際交流団体ネットワークなどとの協力連携

SIFAとボランティアが現状と課題を共有し、教室間・ボランティア間の交流を活性化すること、市全体で学習者がボランティアと交流する数と質の均衡を図ること、ボランティアが地域課題を一定解決できるようになることを企図しボランティアの学びを提供した。

ア 第13回吹田市日本語教室ネットワーク連絡会

日時：8月1日10:00～11:30 場所：SIFA教室

参加団体：西山田あいうえお、たのしい日本語、千里国際友好会、竹の子にほんご交流会、SIFA事務局

内容：各教室の状況、今後の連携について

イ 第14回吹田市日本語教室ネットワーク連絡会

日時：1月31日15:00～16:00 場所：SIFA教室

参加団体：西山田あいうえお、たのしい日本語、千里国際友好会、ゆい日本語クラブ、識字学級文字板クラブ、竹の子にほんご交流会、SIFA事務局

内容：各教室の状況、今後の連携について

ウ 課外イベント「万博記念公園に行こう」

吹田市日本語教室ネットワーク連絡会の構成団体（西山田あいうえお、ゆい日本語クラブ）に在籍するボランティア・学習者と一緒に万博記念公園に行き交流した。午後からは①ソラード、②平和のバラ園・日本庭園、③民芸館、④国立民族学博物館に分かれて見学をした。

日時：5月18日10:30～15:00 場所：万博記念公園 参加者：44名

### Ⅲ 在住外国人の支援

#### 1. 日本語教室の開催

在住外国人の増加に伴い、日本語学習支援希望者も増加傾向にある。特に、日本語スキルがゼロに近い学習者が増加している環境下、学習者の日本語スキル等に応じて以下の事業を実施した。

##### ア 日本語 1・2 (入門・初級クラス)

短期間で生活に必要な一定レベルの日本語を学ぶことができるクラス。日本語教師有資格者が講師としてテキストを用いて、日本語 1 (入門レベル) と日本語 2 (初級レベル) のクラスを開講した。1 回 90 分のクラスを週 2 回実施、午前中のクラスには、ボランティアによる保育を設けた。

期間：4 月 7 日～3 月 19 日

日時：月曜日・木曜日 (10:00～11:30、13:00～14:30 のいずれかの時間)

回数：日本語 1 合計 82 回、日本語 2 合計 82 回 場所：SIFA 教室

講師：後藤 範子、榎原 智子 (日本語教師有資格者)

参加者：日本語 1 延べ 951 名、日本語 2 延べ 880 名

##### イ 日本語 3

初中級レベルの学習者を対象に、講師がテキストを使用して授業を開講

日時：4 月 8 日～3 月 17 日 回数：40 回 場所：SIFA 教室

講師：正多 宏美 (日本語教師有資格者)

参加者：延べ 433 名

##### ウ サマーコース (ひらがな・かいわコース)

日本語 1・2 の学習者をフォローするとともに、日本語の習熟度が低く、日本語 1・2 の前期クラスでの学習が難しい新規の学習者に対し、秋以降の後期クラスにおいて、スムーズに学習を始められるよう、夏季期間に集中したクラスを実施した。

期間：8 月 5 日～8 月 8 日

コース・時間：かなコース (レベル 1) 10:00～11:30

かいわコース (レベル 2) 13:00～14:30

回数：2 コースともに全 4 回 場所：SIFA 教室、南千里地区公民館

講師：後藤 範子、榎原 智子、古川 真子 (日本語教師有資格者)

参加者：かなコース 延べ 19 名、かいわコース 延べ 30 名

##### エ 日本語教室発表会

日本語教室の学習者が日本語でのスピーチを行うことで、学習成果を発表することに加え、地域住民との交流を図るための機会として交流会も実施。

日時：12 月 14 日 10:00～12:30 場所：ラコルタ会議室

発表者：12 組 (13 名) 観覧者：42 名

##### オ その他

○奈良県生駒市総務部人権施策課国際化推進係による SIFA 日本語事業見学受入れ

日時：6 月 20 日 13:00～14:30

○R7 大阪府識字・日本語学習コーディネーター会議 (第 2 回)

日時：2025 年 11 月 13 日 15:00～17:00

場所：大阪府新別館北館 1 階 会議室兼防災活動スペース

参加者：職員 1 名

○地域で「よみ・かき・ことば」をともに学ぶために 大阪府識字・日本語学習シンポジウム

日時：12 月 26 日 9:30～12:30

場所：大阪府教育センター 視聴覚研修室

参加者：職員 1 名

○R7 大阪府識字・日本語学習コーディネーター会議（第 3 回）

日時：2026 年 2 月 26 日 15:00～17:00

場所：大阪府新別館北館 1 階 会議室兼防災活動スペース

参加者：職員 1 名

## 2. コミュニティ通訳ボランティア同行事業

吹田市における多文化共生社会の実現を目指すに当たり、外国人等がよりスムーズに行政サービスを受けることができるよう、コミュニケーション支援及び行政サービスの充実を目的として、行政機関で手続きや相談等を行う際に通訳者を同行させる等のコーディネートに関する業務を実施した。

### (1) コミュニティ通訳ボランティア病院同行事業

同行先：提携病院（吹田市民病院、済生会吹田病院）

同行通訳：10 名（英語 6 名、中国語 4 名）

依頼件数：50 件（同行日が令和 7 年度の件数、事前・当日キャンセル 6 件を含む）

（月別内訳：4 月 3 件、5 月 7 件、6 月 2 件、7 月 8 件、8 月 3 件、9 月 3 件、  
10 月 2 件、11 月 7 件、12 月 4 件、1 月 3 件、2 月 6 件、3 月 2 件）

依頼言語：英語 23 件、中国語 26 件、アラビア語 1 件

### (2) コミュニティ通訳ボランティア行政窓口同行ならびにスキルアップ事業

ア コミュニティ通訳ボランティア行政窓口同行

同行先：市長部局（保育幼稚園室、すこやか親子室他）53 件、  
市長部局以外の機関等 154 件

依頼件数：211 件（同行日が令和 7 年度の件数、事前・当日キャンセル 16 件を含む）

（月別内訳：4 月 22 件、5 月 28 件、6 月 8 件、7 月 27 件、8 月 4 件、9 月 15 件、  
10 月 14 件、11 月 18 件、12 月 37 件、1 月 7 件、2 月 24 件、3 月 7 件）

依頼言語：英語 42 件、中国語 141 件、インドネシア語 11 件、ネパール語 7 件、  
ベトナム語 7 件、アラビア語 2 件、フランス語 1 件

（依頼言語は、依頼日を基準とする）

イ 行政通訳ボランティア養成講座

#### ① コミュニティ通訳養成講座

日時：8 月 2 日 9:30～17:00 場所：SIFA 教室 受講者：11 名

講師：水野 真木子（金城学院大学 文学部英語英米文化学科 教授）

内容：基礎知識、訳者の資質、役割、倫理、ケーススタディ、  
通訳基礎トレーニング、筆記試験

合格者：11 名 ※筆記試験合格者は、後日実技試験用動画教材を視聴

#### ② 実技試験 8 月 6 日、8 月 7 日、8 月 8 日 面接 8 月 15 日

受験者：9 名

合格者：8 名（中国語 5 名、ベトナム語 1 名、インドネシア語 1 名、アラビア語 1 名）

#### ③ 新規登録ガイダンス 8 月 24 日

ウ 医療通訳スキルアップ研修

日時：3 月 28 日 13:00～16:00 場所：SIFA 教室

講師：1 部 大橋 亜由美（吹田市国際交流協会事務局長）

2部 永尾 真美（外国人患者受入れ医療コーディネーター）

参加者：23名

内容：1部では、普遍的なものだと考えられがちな「病気」「身体」について、医学とは異なる病気観や身体観を紹介した。2部では、在留・訪日外国人の増加を背景に、近年、医療機関を受診する外国人患者も急増している現状について考えた。

### 3. 地域事業への在住外国人の参加促進

日本語教室に通う学習者や留学生の多くが登録している多言語メーリングリスト「ミミヨリ INFO」を活用し、市民公益活動団体や地域の商店街などが主催する地域行事等に、在住外国人が参加しやすくなるよう SNS 等を利用して情報提供をした。また、地域団体等から紹介された事業やイベント等について、協会が日本語の学習者や窓口において情報提供をした。

### 4. 外国にルーツをもつ子どもの支援

#### (1) ハロハロ SQUARE（子どもの放課後居場所作り及び学習支援）

##### ア 定例事業

1～3学期ごとに、「小学生低学年部屋」「小学生高学年部屋」「中高生部屋」の3クラスに分け、各部屋において活動を実施した。各部屋には学生コーディネーターを配置し、ボランティアのフォローを行った。

子どもの学習支援を目的としつつ、日本語スキルの習熟度や本人の希望に配慮し、学校や家庭とは異なる「居場所」となるよう、趣味やゲームなどの要素も取り入れた活動とした。なお、参加した子どもの約5割は、日本語学習をこれから始める段階にあった。

対象：小学1年生から高校3年生の外国にルーツのある子どもたち

期間：4月18日～3月13日 日時：金曜日 18:00～20:00

回数：全40回（うち1回はボランティアガイダンス） 場所：SIFA 教室

参加者：子ども 延べ609名 ボランティア 延べ483名

##### イ 夏休みの自習室、お楽しみ会

休業期間中は、宿題や自主課題のフォローを行うため、SIFA 教室を自習室として開放した。また、各学期の最終日は「小学生部屋」と「中高生部屋」の子どもとボランティアが交流するお楽しみ会を実施した。

##### (ア) お楽しみ会

実施日：7月18日、12月19日、3月13日

参加者：子ども 延べ54名、ボランティア 延べ49名

##### (イ) 夏休み自習室

期間：8月5日～8日 時間：15:00～17:00 場所：SIFA 教室

参加者：子ども 延べ17名 ボランティア 延べ15名

#### (2) 帰国・渡日児童生徒支援事業

大阪府教育庁「帰国・渡日児童生徒学校生活サポート事業」三島地区実行委員会が主催する「多言語進路・学校生活サポートガイダンス」を通して、高校進学など進路選択のための情報提供と相談に協力した。

##### ア 帰国・渡日児童生徒学校生活サポート事業多言語進路ガイダンスの参加

##### (ア) 第1回三島地区実行委員会議

日時：6月9日 16:00～17:30

場所：摂津市立コミュニティプラザ コンベンションホール

内容：令和7年度三島地区多言語進路ガイダンス開催に向けて  
参加者：職員1名

(イ) 第2回三島地区実行委員会議

日時：10月6日16:00～17:30

場所：摂津市立コミュニティプラザ 会議室

内容：令和7年度三島地区多言語進路ガイダンス開催に向けて  
参加者：職員1名

(ウ) 令和7（2025）年度三島地区多言語進路ガイダンス

日時：10月11日13:00～17:30

場所：摂津市立コミュニティプラザ 会議室

内容：令和7年度三島地区多言語進路ガイダンス開催に向けて  
参加者：職員2名、ハロハロ SQUARE 参加の中学生2名

## 5. 子育て支援「こあらくらぶ」

外国人ママ・パパの日本での子育ての不安を和らげられるよう、悩みごとを話して共感し、情報共有ができるような交流の場を提供した。子育て中の外国人と同じ世代のボランティアが参加し、絵本の読み聞かせや手遊び、季節の行事などを盛り込んだ活動とした。日本で生まれ育った子どももいれば、海外から渡日した子どもがいるなど利用者は多様性に富んでいる。

対象：外国人の親子、日本人の親子、妊娠中の人

(1) 児童センターに遊びに行こう

日時：5月21日10:00～11:00 場所：北千里児童センター

参加者：6名、ボランティア3名、職員2名

(2) 各国の絵本の読み聞かせ

日時：6月18日10:00～11:00 場所：南千里地区公民館・和室

参加者：0名、ボランティア3名、職員2名

※.3名の参加申込があり開催。当日、体調不良等で全員欠席となったためボランティアと職員によるミーティングを実施した。

(3) 子育て支援センターに遊びに行こう

日時：7月9日10:15～11:15 場所：のびのび子育てプラザ

参加者：11名、ボランティア5名、職員2名

(4) 持ちよりお茶会

日時：9月17日10:00～11:00 場所：南千里地区公民館・和室

参加者：7名、ボランティア3名、職員2名

(5) 公園に行こう

日時：10月15日10:00～11:00 場所：千里南公園

参加者：9名、ボランティア2名、職員2名

(6) 秋のさんぽ

日時：11月12日10:00～11:00 場所：江坂公園

参加者：13名、ボランティア3名、職員2名

(7) 冬のあそびと歌

日時：12月3日10:00～11:00 場所：南千里地区公民館・和室

参加者：2名、ボランティア4名、職員2名

(8) お正月あそびとお茶会

日時：1月21日10:00～11:00 場所：南千里地区公民館・和室

- 参加者：2名、ボランティア4名、職員2名
- (9) ひな人形をつくろう  
日時：2月18日10:00～11:00 場所：南千里地区公民館・和室  
参加者：4名、ボランティア2名、職員2名
- (10) はな紙でさくらをつくろう  
日時：3月4日10:00～11:00 場所：南千里地区公民館・和室  
参加者：7名、ボランティア2名、職員2名  
参加者：延べ61名（大人30名、子ども31名） ボランティア：延べ31名

## 6. 防災減災事業

災害時における外国人の支援体制の構築を目的に、市と連携し、多言語情報発信、各種イベント等における啓発活動に加え、日本語学習支援事業の中でボランティアによる防災減災ツールの使い方指導などを行った。

- (1) 情報発信  
行政や関連機関等が発信している防災に関する情報を多言語で発信した。  
発信は、ホームページやSNSに加え、プッシュ型メール「ミミヨリ INFO」も活用した。
- (2) 吹田災害支援ネットワーク会議へ参加  
第11回吹田災害支援ネットワーク会議へ参加し関係機関との情報共有および連携を強化した。  
日時：12月18日14:00～16:00  
場所：吹田市総合防災センター（DRC Suita）6階多目的室 内容：講演とグループ交流
- (3) 吹田市一斉合同防災訓練の周知・参加促進  
吹田市一斉合同防災訓練について外国人住民へ周知し、参加を呼びかけた。  
また、参加した外国人住民に対し聞き取りを行い、今後の防災取り組みの参考とした。  
日時：1月18日9:30～10:30
- (4) 「SIFA 防災月間」の実施  
実施期間：2月1日～2月28日 場所：SIFA内教室  
対象：外国人市民および地域ボランティア  
概要：各日本語教室において、日本における災害および防災に関する知識を学ぶ活動を行った。吹田市のハザードマップを用いて、地域の避難所や避難経路の確認を行ったほか、防災用語の学習や、防災情報の取得方法（アプリやホームページ等）についても、学習者とボランティアが意見交換をしながら理解を深めた。
- (5) 防災パネル展示  
吹田市ハザードマップの掲示を行い、避難場所・避難経路の確認ポイントを紹介した。また、防災に関する基礎知識や避難行動、地震への備え、避難行動の基本ルール、災害時に身を守る行動について解説するとともに、多言語による情報取得方法や、災害時に活用できるアプリ・ホームページの紹介を行った。さらに、家庭内で実施可能な防災対策についても周知し、来訪者の防災意識の向上を図った。  
実施期間：2月1日～2月28日 場所：SIFA教室
- (6) 地域防災リーダー育成講習の受講・登録  
外国籍職員が吹田市地域防災リーダー育成講習を受講し、吹田市地域防災リーダーとして登録された。  
日時：2月15日10:00～16:30 場所：吹田市役所 高層棟3階 危機管理センター  
内容：・地域防災リーダーの役割について（講師：吹田市危機管理室職員）  
・地域での活動発表（講師：吹田市自主防災組織）

- ・市民が行う初期救助（講師：消防庁「防災意識向上プロジェクト」語り部）
- ・リーダーの避難所での役割・避難所の実態（講師：輪島市職員）
- ・避難所レイアウト体験（講師：吹田市危機管理室・輪島市職員）

(7) 「多文化防災座談会～違いを力に変える地域レジリエンス～」

外国人住民とボランティアが地域の防災課題や災害時の支え合いについて意見交換を行った。自助の備えや多言語での情報発信、地域における日常的な関係づくりの重要性が共有された。多様な背景を持つ住民同士の連携が、地域防災力の向上につながることを再確認した。

日時：2026年2月21日 15:00～16:00 場所：SIFA 教室

参加者：8名（ボランティア3名、外国人住民4名、モンゴル大使館職員1名）

## 7. 吹田市多文化共生ワンストップ相談センター

吹田市における外国人の受入環境整備を促進し、多文化共生社会の実現に資することを目的とし、外国人に対し、在留手続、雇用、医療、福祉、出産・子育て、子供の教育等の生活に係る適切な情報や相談場所に迅速にアクセスできるよう、情報提供及び相談を多言語で行うワンストップ型の相談窓口を運営した。

(1) 対応日時：月曜日～金曜日 10:00～16:00

(2) 曜日別対応言語：

月曜日・木曜日・金曜日＝日本語、英語、中国語、韓国朝鮮語、ロシア語、モンゴル語、ポルトガル語

火曜日・水曜日＝日本語、英語、中国語、韓国朝鮮語、ロシア語、モンゴル語、ポルトガル語、ネパール語、ベトナム語、インドネシア語

(3) 相談方法：

ア 窓口来訪

イ 電話（06-6835-1770）

ウ Eメール（soudan@suita-sifa.org）

エ その他（Zoom）

(4) 人員体制：

ア 生活相談員 2名

イ 多言語相談員 6名（うちコーディネーター 1名）

（英語、中国語、ベトナム語、インドネシア語、ネパール語、ポルトガル語）

※韓国朝鮮語、モンゴル語、ロシア語は職員が対応

(5) 相談内容：

ア 入管手続 85件（在留資格の更新について、永住権の申請について等）

イ 社会保険・年金 52件（年金について、国民健康保険について等）

ウ 医療 49件（病院の紹介、診断結果について等）

エ 出産・子育て 90件（保育園入園・転入手続き、日本での子育てについて等）

オ 教育 151件（子どもの学校生活について、入学について）

カ 日本語 201件（日本語を学びたい、日本語教室を探している等）

キ 通訳・翻訳 112件（医療通訳、行政通訳を探している、書類翻訳等）

ク その他 雇用・労働 35件、税金 21件、防災・火災 1件、住宅 41件、身分関係 23件、

交通・運転免許 10件、福祉 13件、マイナンバー 12件、ウクライナ関係 5件、

手続き一般 36件、その他 145件（日本での生活について、メンタルについて等）

#### 相談内容・相談者等の傾向

相談者の国籍や背景も一層多様化している。相談内容は、日本語学習の機会に関するものをはじめ、子どもの教育や進学、日本の入園・入学制度への理解支援、行政手続き時の通訳対応、在留資格の変更・更新・申請など、生活に密接に関わる事項が中心である。近年は、生活上の不安や心身の不調など、メンタルヘルスに関わる相談が増えつつあり、対応には他機関との連携が不可欠となっている。また、国際結婚や家族関係、外国人との関わり方について、日本人から寄せられる相談も増加している。

#### (6) 専門家相談会：計 12 回実施

ア 社会保険労務士 4月1日、7月1日、10月7日、1月20日 計4回  
イ 行政書士 5月27日、8月26日、11月25日、2月24日 計4回  
ウ 弁護士 6月10日、9月9日、12月9日、3月10日 計4回

#### (7) 情報発信

ア 相談センターホームページ 掲載件数：48件  
イ SIFA ホームページ 掲載件数：12回  
ウ 吹田市ホームページ  
吹田市委託事業について、市ホームページ上にて情報提供を開始した。  
専門家相談について、イベントページに掲載した。  
エ 会報誌 SIFA Times 広告掲載：1件（事業紹介）  
オ SIFA の Facebook ページ投稿  
カ 吹田市報 掲載件数：12件（外国人のための専門家相談）

#### (8) 人材育成（研修・指導等）

ア 内部研修：4回実施  
・スーパーバイズ研修 4月23日、7月23日、10月22日、1月28日  
講師：山中 京子（コラボレーション実践研究所 所長）  
イ 外部研修：計8回参加  
・RINK 通訳者・相談員スキルアップ講座 5回  
6月28日、7月12日、7月26日、8月9日、8月24日  
・令和7年度「外国人相談窓口の運営」全国市町村国際文化研究所  
7月16日、7月17日、7月18日

## 8. その他の外国人支援

外国人のキャリアアップにつながる支援

外国人が自分のスキルを活かし活躍できる機会を提供するため、行政文書の翻訳を協会の関係する外国人に依頼した。また、外国人が活躍する社会環境整備のために、協会活動に関連する研修やセミナー等については、要望に応じて協会から講師を派遣した。

## IV SIFA 賛助会員

協会の事業への理解と支援を得るために、協会紹介リーフレットを作成した。

	令和7年度	令和6年度
個人会員	410名 (410口)	490名 (490口)
法人会員	1法人 (3口)	5法人 (5口)
合計	(413口)	(495口)

## V 運営体制の充実を図るための取組

### (1) 外部理事・監事の選任について

6月4日に開催された第1回臨時評議員会において理事7名が選任され、理事長、副理事長以外の5名は外部理事である。また、同評議員会において選任された監事1名と任期中の監事1名も外部監事である。理事の選任にあたっては、法人の基本理念に沿って多様性を重視し、外国につながるのある方、専門性、年齢、性別を考慮している。また、監事の選任については、専門性を重視している。定款には「役員は無報酬」と定められている。

### (2) 評議員の選任について

理事等からの実質的影響力が及ばない評議員選定委員会を定款に沿って設置し、第4期評議員選定委員会が4月3日に開催された。評議員の選任は、ガバナンス強化を重視し、候補者6名が選出された。

### (3) 各機関（理事会・評議員会・監事）への情報提供について

6月の新理事長就任以降、「理事長会議」を「運営会議」と名称を変更し、理事長・副理事長・事務局長・事務局次長による月次会議を開催している。収支予算の進捗など法人運営の状況、主な事業進捗および課題点等の報告、渉外活動等について事務局が資料を作成し、理事長と副理事長に報告している。理事長は、運営会議の内容を理事・監事・評議員へ発信し情報共有を行っている。また、協会が年4回発行している会報誌を上記役員へ送付している。

### (4) 公益法人内部における法令順守について

職員・役員等からの組織的または個人的な不正行為に関する通報および相談を適切に処理するために、「公益通報制度規程」を整備している。

## VI その他

### 【研修等】

#### \* 市職員研修

多文化共生の推進には、外国人等と関わりを持つ行政職員の資質向上が必要不可欠であることから、市職員向けに研修を実施した。実際には「吹田市職員研修」と題し、自治体国際化協会の「地域国際化推進アドバイザー派遣制度」を活用し、開催した。

日時：10月29日 13:30～15:30 場所：メイシアター集会室

講師：松本 義弘（(一社) 国際多文化研修ラボ 代表理事）

参加者：市職員

内容：やさしい日本語研修

#### \* 中学生職業体験学習受入

11月11日～12日 吹田市立第二中学校 2名

3月5日～6日 吹田市立山田中学校 2名

### 【参加・視察など】

#### \* WHO 協会「WHO 世界健康デー 2025」

日時：4月7日 14:00～16:30 場所：大阪商工会議所

#### \* 令和7年度大阪府識字・日本語学習コーディネーター会議

日時：5月1日 14:00～17:00、11月13日 15:00～17:00、2月26日 15:00～17:00

場所：大阪府新別館南館、大阪府新別館北館

#### \* (一財) 外国人材共生支援全国協会 NAGOMI フォーラム

日時：5月23日 10:00～16:00 場所：千里阪急ホテル

#### \* 令和7年度みまもりあいプロジェクト in 吹田

日時：5月28日 13:30～16:00 場所：吹田市社会福祉協議会

- \*地域国際化連絡会議及び多文化共生地域会議（近畿ブロック）  
日時：7月23日10:00～17:00（オンライン）
- \*吹田市多文化共生推進アドバイザー会議  
日時：10月8日10:00～12:00
- \*外国人患者対応能力向上研修「イスラム文化と日本の文化の違いを知ろう」  
日時：11月1日13:00～16:00 場所：りんくう総合病院研修センター
- \*NATS 多文化共生担当者会議  
日時：11月7日15:30～17:00  
場所：とよなか男女共同参画推進センター すてっぷ セミナー室
- \*多文化多言語の若者の「はたらく」を考えるシンポジウム  
日時：11月24日13:00～17:25 場所：豊中すてっぷホール
- \*大阪府立大阪わかば高校授業見学、大阪市立小路小学校民族学級授業見学  
日時：11月25日10:00～16:00
- \*吹田医師会川端事務局長と医療通訳事業に関する打合せ  
日時：12月16日14:00～15:00
- \*駐日モンゴル大使館主催の学術討論会&交流会  
日時：1月6日17:00～21:00 場所：駐日モンゴル大使館（東京都渋谷区）  
内容：「国外在住研究者のモンゴル国発展への貢献——成果と課題に関する学術討論会」  
主催：駐日モンゴル大使館 共催：モンゴル国立大学、（一社）日本モンゴル博士会
- \*在大阪ベトナム総領事館訪問  
日時：1月20日15:30～16:30
- \*第3回市民主体型DX推進実行委員会  
日時：1月21日10:00～12:00 場所：吹田市立総合福祉会館
- \*これからのまちづくり連続講座  
日時：1月27日13:30～16:30 場所：箕面市立多文化交流センター  
内容：「群馬県で活動する「ともくら」の外国ルーツの子どもたちとのかかわりから」  
講師：アジズ アフメッド（NPO 法人「共に暮らす」代表理事）
- \*OFIX フィールドトリップ  
日時：2月13日8:00～18:00 神戸市、淡路市（パソナ本社）
- \*ファミリー・リテラシー・プログラムワークショップ出席  
日時：2月18日13:00-16:00 場所：関西大学 千里山キャンパス 岩崎記念館
- \*令和7年度 地域の医療・観光資源を活用した外国人受入れ推進のための調査・実証事業 成果報告会  
日時：3月4日14:00～17:00 場所：オンライン
- \*J8 ミーティング  
日時：3月18日16:00～17:00 場所：吹田市役所 災害対応オペレーションルーム
- \*子どもの夢応援ネットワーク  
府内を中心とした外国にルーツをもつ子どもたちとその周囲の人たちに対して、必要な教育や就労等の進路支援及び多文化共生教育の啓発に向けた事業を行い、多文化共生社会の実現及びマイノリティ性を持つすべての子どもの人権擁護の推進に寄与することを目的とする。  
・定例会議 4月22日18:30～21:00、5月13日18:00～20:30、6月10日18:00～20:30、  
7月21日10:00～12:30、8月19日18:30～20:30、10月1日17:00～19:30、11月5日  
17:00～19:30、12月16日18:30～21:00、1月13日18:30～21:00、2月11日10:00～  
12:00、3月11日18:00～20:00

- \*令和7年度大阪府教育センター研究フォーラム 地域で「よみ・かき・ことば」を  
ともに学ぶために ～大阪府識字・日本語学習シンポジウム～  
日時：12月26日9:30～12:30 場所：大阪府教育センター 視聴覚研修室

【視察協力】

- \*大阪府教育庁市町村教育室地域教育振興課  
日時：11月14日  
内容：日本語事業を説明、質疑応答、日本語ではなそう昼クラス活動視察
- \*大阪大学大学院人間科学研究科（杉田ゼミ研究生）  
日時：11月21日  
内容：日本語事業を説明、質疑応答、日本語ではなそう昼クラス活動視察
- \*UCL Institute of Education 教授陣による「ハロハロ SQUARE」視察  
日時：2月20日16:00～19:00

【調査研究協力】

- \*吹田市における外国人住民への日本語支援の実態とその課題  
同志社女子大学 表象文化学部 日本語日本文学科 3年
- \*医療通訳者が看護職者と外国人妊婦の通訳を行う際の困難  
神戸市看護大学大学院 博士前期課程 実践看護学領域ウィメンズヘルス看護・助産学実践分野  
専攻助産学実践コース 2年
- \*日本で就職する外国人の現状について 関西大学 外国語学部 4年
- \*在日外国人の防災支援を強化するためのパンフレット活用モデル構築に向けたヒアリング調査  
関西大学大学院 社会安全研究科 関西学院大学 総合政策学部 2名  
大阪大学 人間科学研究科 神戸芸術工科大学 芸術工学部 関西学院大学 教育学部

【職員研修】

- \*第1回職員研修  
日時：5月19日15:30～17:00 場所：SIFA 教室  
内容：委託事業と補助金事業について、2026年度事業計画について
- \*第2回職員研修  
日時：11月10日15:00～16:30  
内容：多面評価について

【理事長会議・運営会議】（開催日時のみ記載）

- 理事長会議 4月10日17:00～18:00、5月27日16:00～17:00
- 運営会議（6月以降、理事長会議から「運営会議」へ名称変更）  
7月29日15:00～17:30、8月26日15:00～17:00、9月30日15:00～16:30、10月28日  
15:00～17:00、11月25日15:00～16:00、12月23日15:30～16:30、1月27日15:00～  
17:00、2月25日16:00～17:30、3月24日15:00～17:00

【理事会・評議員会など】

- ア 理事会・評議員会
  - ・第1回通常理事会：4月21日
  - 議案第1号 令和6年度事業報告及び決算書について
  - 議案第2号 監事及び理事の次期候補者の推薦について
  - 議案第3号 令和7年度定時評議員会の招集について
  - 議案第4号 労災認定請求事案に係る元職員の不服申立費用の支払いについて
  - 議案第5号 公益通報制度規定の制定について
  - 報告第1号 次期評議員の選考結果について
  - 報告第2号 理事長及び副理事長職務執行状況報告

- 報告第3号 その他
- ・ 第1回臨時理事会：6月17日
    - 議案第6号 理事長の選任について
  - ・ 第2回通常理事会：3月12日
    - 議案第7号 令和8年度事業計画書（案）について
    - 議案第8号 令和8年度収支予算（案）について
    - 議案第9号 令和8年度資金調達及び設備投資の見込みについて
    - 議案第10号 令和8年度事業概要書類（案）について
    - 議案第11号 令和7年度第2回臨時評議員会の招集について
    - 議案第12号 前理事長から未返却の書類について
    - 報告第4号 保有債権の入替について
    - 報告第5号 理事長及び副理事長職務執行状況報告について
  - ・ 定時評議員会：5月19日
    - 議案第1号 令和6年度決算書の承認について
    - 議案第3号 代表監事及び理事の選任について
    - 報告第1号 令和6年度事業報告について
    - 報告第3号 第4期評議員の選考結果について
    - 報告第4号 公益通報制度規定の制定について
  - ・ 第1回臨時評議員会：6月4日
    - 議案第3号 代表監事及び理事の選任について
  - ・ 第2回臨時評議員会：3月23日
    - 議案第4号 令和8年度事業計画書（案）について
    - 議案第5号 令和8年度収支予算（案）について
    - 議案第6号 令和8年度資金調達及び設備投資の見込みについて
    - 議案第7号 令和8年度事業概要書類（案）について
    - 報告第5号 前理事長から未返却の書類について
    - 報告第6号 保有債権の入替について
    - 報告第7号 理事長の職務執行状況報告について
- イ 第4期評議員選定委員会  
2026年4月3日
- ウ 公認会計士による決算監査の実施  
令和7年度決算監査：2026年4月16日
- エ 監事監査の実施  
令和7年度決算監査：2026年4月21日
- オ 大阪府立入検査  
2026年7月24日

令和7年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和8年4月  
公益財団法人 吹田市国際交流協会

令和 7 年 度

(2025年度)

決 算 書

(財 務 諸 表 等)

公益財団法人 吹田市国際交流協会

(30)

86

# 貸借対照表

令和8年3月31日 現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金預金	9,420,932	11,219,680	△1,798,748
未収金	152,400	199,000	△46,600
前払金	681,324	678,648	2,676
立替金	94,058	209,758	△115,700
流動資産合計	10,348,714	12,307,086	△1,958,372
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	180,903,200	199,820,735	△18,917,535
定期預金	1,303,265	179,265	1,124,000
基本財産合計	182,206,465	200,000,000	△17,793,535
(2) 特定資産			0
特定資産合計	0	0	0
(3) その他固定資産			0
ソフトウェア	2,392,720	0	2,392,720
ソフトウェア仮勘定	0	2,990,900	△2,990,900
その他固定資産合計	2,392,720	2,990,900	△598,180
固定資産合計	184,599,185	202,990,900	△18,391,715
資産合計	194,947,899	215,297,986	△20,350,087
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
未払金	8,137,998	6,735,931	1,402,067
前受金	3,815,100	5,672,600	△1,857,500
預り金	184,506	441,446	△256,940
賞与引当金	438,300	860,000	△421,700
流動負債合計	12,575,904	13,709,977	△1,134,073
負債合計	12,575,904	13,709,977	△1,134,073
<b>III 正味財産の部</b>			
1. 指定正味財産			
吹田市出捐金	182,206,465	200,000,000	△17,793,535
指定正味財産合計	182,206,465	200,000,000	△17,793,535
(うち基本財産への充当額)	(182,206,465)	(200,000,000)	(△17,793,535)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2. 一般正味財産	165,530	1,588,009	△1,422,479
正味財産合計	182,371,995	201,588,009	△19,216,014
負債及び正味財産合計	194,947,899	215,297,986	△20,350,087

# 正味財産増減計算書

令和7年4月1日 から 令和8年3月31日 まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用収益			
基本財産受取利息	1,495,290	394,392	1,100,898
事業収益			
語学教室事業収益	21,692,000	19,297,842	2,394,158
受託事業収益	41,704,900	39,566,000	2,138,900
その他の事業収益	337,680	337,680	0
受取会費			
受取賛助会員会費	1,260,000	1,460,000	△200,000
受取補助金等			
受取吹田市補助金	1,300,000	1,300,000	0
受取負担金			
受取負担金	213,525	237,000	△23,475
受取寄付金			
受取寄付金	50,000	32,000	18,000
雑収益			
受取利息	37,052	8,637	28,415
雑収益	880,917	671,598	209,319
経常収益計	68,971,364	63,305,149	5,666,215
(2) 経常費用			
事業費			
給与	32,214,014	0	32,214,014
賃金	0	16,273,526	△16,273,526
臨時雇賃金	0	9,408,316	△9,408,316
賞与引当金繰入額	403,236	688,000	△284,764
法定福利費	4,626,001	3,522,593	1,103,408
福利厚生費	771,369	671,382	99,987
会議費	5,451	0	5,451
旅費交通費	2,019,402	1,749,326	270,076
通信運搬費	1,252,356	1,386,900	△134,544
消耗什器備品費	0	271,150	△271,150
消耗品費	435,747	1,782,333	△1,346,586
修繕費	140,000	409,024	△269,024
印刷製本費	836,679	684,040	152,639
水道光熱費	800,388	596,544	203,844
賃借料	934,360	849,288	85,072
使用料	1,627,628	89,228	1,538,400
保険料	116,200	61,240	54,960
報償費	0	12,701,020	△12,701,020
諸謝金	2,056,776	1,572,449	484,327
租税公課	2,946,600	2,715,600	231,000
支払負担金	29,850	45,150	△15,300
委託費	8,707,594	115,500	8,592,094
食糧費	0	1,500	△1,500
支払手数料	340,756	188,888	151,868
減価償却費	225,830	0	225,830
雑費	16,829	14,288	2,541

# 正味財産増減計算書

令和7年4月1日 から 令和8年3月31日 まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
管理費			
給与	2,339,342	0	2,339,342
賃金	0	1,415,097	△1,415,097
臨時雇賃金	0	750,260	△750,260
賞与引当金繰入額	35,064	172,000	△136,936
法定福利費	402,118	306,319	95,799
福利厚生費	68,372	59,896	8,476
会議費	4,199	15,401	△11,202
研修費	116,000	0	116,000
旅費交通費	218,431	119,905	98,526
通信運搬費	758,409	720,450	37,959
消耗什器備品費	0	1,511,400	△1,511,400
消耗品費	226,361	2,893,012	△2,666,651
修繕費	3,144	102,256	△99,112
印刷製本費	166,742	103,649	63,093
水道光熱費	69,601	51,866	17,735
賃借料	211,420	196,152	15,268
使用料	984,945	96,152	888,793
保険料	0	48,000	△48,000
諸謝金	0	469,570	△469,570
租税公課	30,200	1,850	28,350
支払負担金	15,000	51,000	△36,000
委託費	2,589,455	2,124,000	465,455
支払手数料	934,496	268,160	666,336
広告宣伝費	5,000	0	5,000
減価償却費	372,350	0	372,350
雑費	336,128	50,345	285,783
経常費用計	70,393,843	67,324,025	3,069,818
当期経常増減額	△1,422,479	△4,018,876	2,596,397
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計		0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△1,422,479	△4,018,876	2,596,397
一般正味財産期首残高	1,588,009	5,606,885	△4,018,876
一般正味財産期末残高	165,530	1,588,009	△1,422,479
II 指定正味財産増減の部			
基本財産運用益			
基本財産受取利息	1,896,176	394,392	1,501,784
一般正味財産への振替	△1,495,290	△394,392	△1,100,898
基本財産売却損益	△6,613,735	0	△6,613,735
基本財産評価損益等	△11,580,686	0	△11,580,686
当期指定正味財産増減額	△17,793,535	0	△17,793,535
指定正味財産期首残高	200,000,000	200,000,000	0
指定正味財産期末残高	182,206,465	200,000,000	△17,793,535
III 正味財産期末残高	182,371,995	201,588,009	△19,216,014

# 正味財産増減計算書内訳表

令和7年4月1日 から 令和8年3月31日 まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	全体
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用収益			
基本財産受取利息	0	1,495,290	1,495,290
事業収益			0
語学教室事業収益	13,967,565	7,724,435	21,692,000
受託事業収益	41,704,900	0	41,704,900
その他の事業収益	337,680	0	337,680
受取会費			0
受取賛助会員会費	630,000	630,000	1,260,000
受取補助金等			0
受取吹田市補助金	1,300,000	0	1,300,000
受取負担金			0
受取負担金	213,525	0	213,525
受取寄付金			0
受取寄付金	50,000	0	50,000
雑収益			0
受取利息	0	37,052	37,052
雑収益	880,917	0	880,917
経常収益計	59,084,587	9,886,777	68,971,364
(2) 経常費用			
事業費			
給与	32,214,014	0	32,214,014
賃金	0	0	0
臨時雇賃金	0	0	0
賞与引当金繰入額	403,236	0	403,236
法定福利費	4,626,001	0	4,626,001
福利厚生費	771,369	0	771,369
会議費	5,451	0	5,451
旅費交通費	2,019,402	0	2,019,402
通信運搬費	1,252,356	0	1,252,356
消耗什器備品費	0	0	0
消耗品費	435,747	0	435,747
修繕費	140,000	0	140,000
印刷製本費	836,679	0	836,679
水道光熱費	800,388	0	800,388
賃借料	934,360	0	934,360
使用料	1,627,628	0	1,627,628
保険料	116,200	0	116,200
報償費	0	0	0
諸謝金	2,056,776	0	2,056,776
租税公課	2,946,600	0	2,946,600
支払負担金	29,850	0	29,850
委託費	8,707,594	0	8,707,594
食糧費	0	0	0
支払手数料	340,756	0	340,756
減価償却費	225,830	0	225,830
雑費	16,829	0	16,829

# 正味財産増減計算書内訳表

令和7年4月1日 から 令和8年3月31日 まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	全体
管理費			0
給与	0	2,339,342	2,339,342
賃金	0	0	0
臨時雇賃金	0	0	0
賞与引当金繰入額	0	35,064	35,064
法定福利費	0	402,118	402,118
福利厚生費	0	68,372	68,372
会議費	0	4,199	4,199
研修費	0	116,000	116,000
旅費交通費	0	218,431	218,431
通信運搬費	0	758,409	758,409
消耗什器備品費	0	0	0
消耗品費	0	226,361	226,361
修繕費	0	3,144	3,144
印刷製本費	0	166,742	166,742
水道光熱費	0	69,601	69,601
賃借料	0	211,420	211,420
使用料	0	984,945	984,945
保険料	0	0	0
諸謝金	0	0	0
租税公課	0	30,200	30,200
支払負担金	0	15,000	15,000
委託費	0	2,589,455	2,589,455
支払手数料	0	934,496	934,496
広告宣伝費	0	5,000	5,000
減価償却費	0	372,350	372,350
雑費	0	336,128	336,128
経常費用計	60,507,066	9,886,777	70,393,843
当期経常増減額	△1,422,479	0	△1,422,479
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△1,422,479	0	△1,422,479
一般正味財産期首残高	-	-	1,588,009
一般正味財産期末残高	-	-	165,530
II 指定正味財産増減の部			
基本財産運用益			
基本財産受取利息	0	1,896,176	1,896,176
一般正味財産への振替	0	△1,495,290	△1,495,290
基本財産売却損益	0	△6,613,735	△6,613,735
基本財産評価損益等	0	△11,580,686	△11,580,686
当期指定正味財産増減額	0	△17,793,535	△17,793,535
指定正味財産期首残高	-	-	200,000,000
指定正味財産期末残高	-	-	182,206,465
III 正味財産期末残高	-	-	182,371,995

## 財務諸表に対する注記

### 1 重要な会計方針

公益法人会計基準(平成20年4月11日、平成21年10月16日改正内閣府公益認定等委員会)を採用している。

#### (1) 有価証券の評価基準及び評価方法

その他有価証券(基本財産)・・・時価法によっている。

#### (2) 引当金の計上基準

賞与引当金・・・・・・職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。

#### (3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込み方式によっている。

### 2 基本財産、特定資産及びその他固定資産の増減額及びその残高

基本財産、特定資産及びその他固定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	199,820,735	192,483,889	211,401,421	180,903,200
定期預金	179,265	1,124,000	0	1,303,265
小計	200,000,000	193,607,886	211,401,421	182,206,465
その他固定資産				
ソフトウェア	0	2,990,900	598,180	2,392,720
ソフトウェア仮勘定	2,990,900	0	2,990,900	0
小計	2,990,900	2,990,900	3,589,080	2,392,720
合計	202,990,900	196,598,786	214,990,501	184,599,185

### 3 基本財産の財源等の内訳

基本財産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に対応 する額)
基本財産				
投資有価証券	180,903,200	(180,903,200)	(0)	—
定期預金	1,303,265	(1,303,265)	(0)	—
合 計	182,206,465	(182,206,465)	(0)	0

### 4 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上 の記載区分
吹田市国際交流協会 事業補助金	吹田市	0	1,300,000	1,300,000	0	—
合 計		0	1,300,000	1,300,000	0	—

### 5 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
基本財産受取利息	1,495,290
合 計	1,495,290

### 6 その他

#### (1) 退職給付関係

中小企業退職金共済制度を採用している。

附属明細書

1 基本財産、特定資産及びその他固定資産の明細

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	199,820,735	192,483,889	211,401,421	180,903,200
定期預金	179,265	1,124,000	0	1,303,265
小計	200,000,000	193,607,886	211,401,421	182,206,465
その他固定資産				
ソフトウェア	0	2,990,900	598,180	2,392,720
ソフトウェア仮勘定	2,990,900	0	2,990,900	0
小計	2,990,900	2,990,900	3,589,080	2,392,720
合計	202,990,900	196,598,786	214,990,501	184,599,185

2 引当金の明細

(単位：円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		当期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	860,000	438,300	860,000	0	438,300

## 財産目録

令和8年3月31日 現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額	
( 流動資産 )	現金預金	現金		27,700	
		普通預金	りそな銀行・千里支店	7,055,472	
			ゆうちょ銀行	2,336,257	
			りそな銀行・千里支店	1,503	
	未収金	語学教室受講料、賛助会費	令和7年度分	152,400	
	前払金	事業費に係る前払額	会計ソフト利用料に係る前払額等	681,324	
立替金	管理費に係る立替額	雇用保険料立替額等	94,058		
流動資産合計				10,348,714	
( 固定資産 )	基本財産	投資有価証券	北海道平成27年度第4回 公募公債 (野村証券)	運用益を管理費の財源として使用	91,077,800
			20年第45回地方公共団体 金融機構債券 (野村証券)	運用益を管理費の財源として使用	89,825,400
		定期預金	りそな銀行・千里支店	運用益を管理費の財源として使用	1,303,265
	その他固定資産	ソフトウェア	協会Webサイト	協会Webサイト制作費	2,392,720
固定資産合計				184,599,185	
資産合計				194,947,899	
( 流動負債 )	未払金	事業費、管理費に係る未払額	令和8年3月分職員給与等	2,737,722	
			令和7年度消費税	2,976,800	
			令和7年度千里NTP光熱水費	899,028	
			その他	1,524,448	
			前受金	事業費に係る前受額	令和8年度 語学教室受講料
			令和8年度 賛助会費	2,659,100	
			令和8年度 賛助会費	1,156,000	
	預り金	源泉所得税及び住民税	源泉所得税及び住民税	184,506	
賞与引当金	職員に対するもの	常勤職員に対する夏期賞与引当金	438,300		
流動負債合計				12,575,904	
負債合計				12,575,904	
正味財産				182,371,995	

## 監査報告書

公益財団法人 吹田市国際交流協会

理事長 片岡 誠 殿

作成日 令和8年4月16日

事務所 大阪市北区天神橋2-5-25  
若杉グランドビル本館5F

公認会計士 八田 隆志

### 1. 監査の概要

私は、公益財団法人吹田市国際交流協会の令和7年度（令和7年4月1日から令和8年3月31日）における会計帳簿またはこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について監査を行った。

### 2. 監査の意見

監査の結果、貴法人の採用する会計処理の原則及び手続きは、公益法人会計基準に準拠し、かつ前事業年度と同一の基準に従って継続して適用されており、また計算書類の表示方法も適正に表示されていた。また附属明細書並びに財産目録の表示についても問題がなかった。

よって私は、上記の計算書類が公益財団法人吹田市国際交流協会の正味財産増減の状況並びに同事業年度末日現在の財産の状態を正しく表示しているものと認める。

### 3. 利害関係

公益財団法人吹田市国際交流協会と私との間には、公認会計士法上記載すべき利害関係はありません。

以上

## 監事監査報告書

令和8年4月21日

公益財団法人 吹田市国際交流協会  
理事長 片岡 誠 殿

監 事 瀬川 昇

監 事 西村 元秀

私は、令和7年4月1日から令和8年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

### 1. 監査の方法及びその内容

私は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

### 2. 監査の結果

#### (1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

#### (2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益（正味財産増減）の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以上



報告第6号

一般財団法人吹田市介護老人保健施設事業団の経営状況  
について

一般財団法人吹田市介護老人保健施設事業団の経営状況について、地方自治法第243条の3第2項の規定により報告します。

令和8年5月28日

吹田市長 後藤 圭 二

## 1 介護老人保健施設事業

吹田市から指定管理者として委任を受けた事業として、施設サービス（長期入所）、短期入所療養介護及び通所リハビリテーション並びに訪問リハビリテーションの居宅サービス（介護予防サービスを含む。）を行います。また、これら事業に付随する介護保険に関する事業も行います。

### （1）理念

私たちは常にサービスの質の向上を考えて行動するとともに、全ての人に寄り添って人格を尊重することを約束し、地域社会から信頼される施設づくりを実現します。

### （2）行動指針

1	<p>私たちは利用者様の意思、人格を尊重し、その人らしい自立した生活を支援します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・常に利用者様の人格、人権を尊重した適切なサービス（医療、介護、リハビリテーション、栄養管理等）を第一に考え、安心して楽しく過ごしていただけるよう誠実に寄り添います。</li> <li>・一人ひとりの意思を尊重したサービス計画をチームで策定し提供します。また、利用者様の在宅復帰と在宅生活の継続に重点を置いた質の高いサービスの提供に努めます。</li> </ul>
2	<p>私たちは、地域のニーズに応えられる創意ある施設運営に努めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者様及びその家族様並びに福祉・保健・医療等の関係機関との連携により総合的なサービス提供を多職種協働で行います。</li> <li>・地域との交流を積極的に行い、開かれた施設づくりと地域における福祉の増進に寄与します。</li> </ul>
3	<p>私たち一人ひとりが自己研鑽に励み、働きがいの持てる職場環境作りを目指します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・私たちは、法令や基本的マナーを遵守し、健全な倫理観を持って働きます。また、知識・技術の向上、人格の成長を目的とした各種の研修会等に対して、目標と向上心を持って、積極的に参加し、自己研鑽に努めます。</li> <li>・職員一人ひとりが働きがいをを持って仕事するために自由な意見を発することができ、お互いが助け合うことのできる職場環境を作ります。</li> </ul>

### （3）事業種別

次に掲げる事業を行います。

事業種別	内 容
施設サービス (長期入所)	利用者個々の心身の状態に応じた施設サービス計画に基づき、入所者の要介護状態の軽減又は悪化の防止に資するよう、医師・看護師・介護職員・理学療法士・作業療法士・管理栄養士・介護支援専門員・支援相談員は、日常生活全般の看護・介護やリハビリテーション・その他必要な医療等を行い、在宅復帰に向けて支援します。
短期入所療養介護 (介護予防サービスを含む。)	居宅で介護を受けている要介護者や要支援者の介護者が冠婚葬祭や介護疲れ等で一時的に介護ができなくなった場合に、居宅サービス計画又は介護予防サービス計画に基づく期間の入所受入れにより支援します。

通所リハビリテーション (介護予防サービスを含む。)	居宅で介護を受けている要介護者や要支援者が自立した日常生活を営むことができるよう居宅サービス計画又は介護予防サービス計画に基づく、機能訓練、入浴、食事、レクリエーション等を行い、心身機能の維持回復を図ります。
訪問リハビリテーション (介護予防サービスを含む。)	居宅で介護を受けている要介護者や要支援者がその有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、理学療法、作業療法その他必要なりハビリテーションを居宅への訪問によって行い、利用者の心身の機能の維持回復を図ります。
要介護認定調査	市区町村からの委託による要介護等認定に必要な認定調査を行います。
主治医意見書作成	要介護等認定の申請に必要な主治医意見書を作成します。
介護認定審査会への参画	吹田市の介護認定審査会に職員を派遣します。

#### (4) 重点項目

項 目	内 容
在宅復帰施設としての役割	介護老人保健施設の役割には、積極的なリハビリテーション、適切な医療、心のこもった介護、適切な食事の提供等により、住み慣れた地域への在宅復帰を果たすことが掲げられています。このため、脳卒中、生活不活発病、認知症等個々の状態を的確にアセスメントし、多職種からなるチームケアを行うことで、早期に在宅復帰ができるように努め、在宅復帰率 60%以上を目指してまいります。
在宅生活支援の充実	自立した在宅生活を送ることができるよう、利用者に対して良質できめ細かなサービスを提供し、他の介護・福祉サービス機関とも連携を図りながら総合的に在宅生活への支援を行います。 (ア) 短期入所の利用促進による家族等の介護負担の軽減 (イ) 訪問リハビリテーションによる心身機能の維持回復 (ウ) その他、関係機関との協力による在宅生活支援の実施
支援困難者の受入れ態勢等	尿道留置カテーテル、喀痰吸引など医療的ケアを必要とする方や、病状がやや不安定で入退院を繰り返すおそれのある方、多種の内服薬を服用されている方などについては、介護老人保健施設の受入れが困難なケースとされていますが、そのような状況にある方であっても可能な限り受入れし、医師の指示の下、専門的知識を持った看護師や経験豊かな介護職員による適切なケアを行い、緊急時には市立吹田市民病院やその他の医療機関との連携により、安心した施設生活を送れるように努めます。 また、養護者の無い利用者の受入れについても、成年後見人制度等の活用や行政・保健・医療・福祉機関との連携を図るなど、公的施設の役割を十分果たせるよう努めます。
医療機関との連携強化	要介護状態にある利用者には急変時の対応や専門医による診察等、医療との連携は不可欠であることから、市立吹田市民病院をはじめ、近隣の医療機関との連携強化を図り、安心して入所生活を送ることができるよう努めてまいります。

感染症への対応	<p>多くの利用者は基礎疾患を有しており、感染症による重症化リスクが高く、集団感染が起りやすい環境にあることから、平常時における基本的な感染症予防対策の徹底を図ってまいります。</p> <p>また、万が一発生した場合に備えてゾーニング等の対応を速やかに行うことができるよう訓練を実施します。</p>
認知症高齢者に対するケアの充実	<p>認知症高齢者は入所による環境変化に対応できずに不安定になる方も多く、対人交流や生活リズムを整えるよう、健康管理、口腔ケア、ボディケア、食事、排泄、趣味活動の提供などを積極的に行い、その人らしい生活や残存機能をいかした介護を行ってまいります。併せて、専門的なリハビリテーションを実施することにより、安定した施設生活を送ることができるよう支援します。</p> <p>また、共生社会の実現を推進するための認知症基本法に基づき、認知症への理解を深めるための普及・啓発事業として、認知症の人を含む高齢者にやさしい地域づくりと認知症予防を目的とした各種事業を積極的に行い、共生社会の実現に向けて推進してまいります。</p>
地域との連携	<p>開かれた施設づくりを実現するため、吹田市における地域ケア会議や自立支援型ケアマネジメント会議等に参画し、地域のニーズを的確に把握することで、本施設におけるサービス内容の充実を図り、地域包括ケアシステムの一翼を担ってまいります。</p> <p>また、高齢者介護に関する見識の向上を図るため知識及び技術の普及啓発にも努めてまいります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(ア) ボランティア活動支援</li> <li>(イ) 近隣地域の幼稚園児等との交流</li> <li>(ウ) 職員講師派遣</li> </ul>
地域貢献事業	<p>地域貢献事業として、次の取り組みを行ってまいります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(ア) 認知症カフェの開催</li> <li>(イ) 回想法ボランティアの養成と活動支援</li> <li>(ウ) 住民と大和大学学生との地域交流回想法の開催</li> <li>(エ) 認知症予防等に関する出前講座の開催</li> <li>(オ) 認知症サポーターで構成するチームオレンジへの活動支援</li> <li>(カ) 百歳体操の活動支援</li> <li>(キ) 周辺道路や片山北ふれあい公園の清掃</li> <li>(ク) その他、地域への貢献となる事業の実施</li> </ul>
介護人材確保と生産性向上の推進	<p>介護現場における喫緊の課題である介護人材の確保と介護現場の生産性向上を推進するため、業務改善に取り組む環境を整備し、新たな理念と行動指針に基づき、ケアの質の確保と職員の負担軽減対策、人材育成に取り組んでまいります。</p>
経営の安定化	<p>指定管理者として適切な運営をするために、サービスの質の向上を図り、かつ、収支状況の安定化を図ることができるよう、効率的で適正な事業運営に努めてまいります。</p>

(5) 具体的な取組

ア 計画（目標）利用者数

入所者数（短期入所を含む）	1日当たり平均90人以上
通所リハビリテーション利用者数	年間延べ8,200人以上
訪問リハビリテーション利用者数	1日1人以上

イ 職員配置と勤務形態の適正化

①	国の基準による人員配置を基本とし、業務に必要な時間帯に適切な配置ができるよう常勤職員、非常勤職員、臨時雇用員等の適正な人員配置に努めます。
②	介護に関わる人材不足の問題がありますが、人材確保に向けて様々な媒体の活用など積極的な措置を講じてまいります。また、業務改善等により働きやすい職場づくりも行います。

ウ 支援相談体制の強化

①	吹田市、市立吹田市民病院等の医療機関、居宅介護支援事業所、他の介護保険施設及び地域包括支援センター等との連携を強化し、必要な介護サービスの調整を円滑に行います。
②	在宅復帰超強化型施設を維持するため、居宅ケアマネジャー等との連携、入所者及びその家族との懇談会の開催等、円滑に在宅復帰を促進できるよう積極的に支援します。
③	施設利用に関する情報開示に努めます。
④	利用希望者及びその家族の負担軽減のため、入所前の利用面接を利用希望者の居宅や入院中の医療機関等で行います。また、速やかな入所判定と職員間の情報共有により、安心して入所していただけるよう努めます。
⑤	虐待等、レスパイト目的での入所利用については、市町村や地域包括支援センター等との連携のもとで積極的かつ速やかな受け入れに努めます。

エ 看護、介護のサービス向上（入所）

①	利用者一人ひとりに応じた目標と支援計画を策定し、課題の把握と援助の方法について職員間で情報の共有を図り、適切なチームケアを行います。また、定期的に評価と計画の見直しを行い、適切なサービス提供に努めます。
②	利用者の心身の健康管理に努め、疾病の急性増悪や異常の早期発見時には必要な医療を行い、適宜、市立吹田市民病院や他の近隣医療機関との連携による迅速な対応に努めます。
③	認知症利用者の精神的、身体的な状況を理解し、他の利用者との良好な関係作りに努め、落ち着ける空間、居心地の良い環境を整えることにより、安心した入所生活を送れるよう支援します。
④	排せつの状態に改善又は悪化の防止が見込まれる方に対しては、個別に策定した計画に基づき適切な支援を行います。
⑤	吹田市歯科医師会と連携し、訪問口腔ケアを推進するとともに、嚥下体操や口腔ケアを積極的に行い、摂食、嚥下機能の向上に努めます。
⑥	誤嚥性肺炎への予防措置として、必要に応じて歯科や耳鼻咽喉科との連携による嚥下評価等を行い、食事形態、摂食方法の指導を実施するなど積極的なリスク軽減に努めます。
⑦	全ての生活動作を訓練とする「生活リハビリ」を推進し、日常生活機能の維持向上を図り、在宅復帰を目指します。
⑧	利用者の意思を尊重したレクリエーション、クラブ活動、行事への参加を促し、内容の充実を図ると共に、個別ケアを推進して生活の質の向上に努めます。

⑨	医療ニーズの高い利用者と療養ニーズの高い利用者との住み分けを促進し、利用者個々に応じたケアを提供できるように努めます。
⑩	体圧分散マットの活用や細かな体位交換の実施等により褥瘡の発生予防に努めます。
⑪	インフルエンザやノロウイルスなどの感染症予防対策に努め、感染者が発生した場合には施設内での感染拡大を抑制し、重篤化を防ぐための手段を講じます。
⑫	加齢に伴う身体機能の衰弱により食事摂取量の減退などがみられるケースに対して、ご本人とご家族の希望を聴取し、適切なアセスメントを行ったうえで、看取りへの対応が可能と判断した場合には施設での看取りを実施します。
⑬	リスクマネジメントを徹底し、事故原因の分析と予防方法を検討して事故発生の軽減を図ります。また、発生時における適切な対応にも努めてまいります。
⑭	身体拘束は、原則として行いません。ただし、緊急・やむを得ない場合は、十分に検討を行い、家族に説明し、同意を得た場合のみ実施します。
⑮	虐待防止に向けた取り組みとして苦情解決体制を整備し、職員に対する研修会の実施や相談体制、環境の整備に努めます。
⑯	寄せられた苦情や要望に対しては、誠意を持って迅速に対応してまいります。

オ 看護、介護のサービス向上（通所）

①	利用者及びその家族並びに居宅ケアマネジャー、施設の医師、看護師、介護職員、理学・作業療法士等で開催するリハビリテーション会議によって、日常生活動作等の課題を的確に把握し、具体的なリハビリテーション計画を策定して、サービス提供を行ってまいります。
②	短時間での利用によりリハビリテーションのみを重点的に行うことを希望される方に対しては、2時間から3時間程度の利用を積極的に推進し、利用促進に努めます。
③	利用者の意思を尊重したクラブ活動や趣味活動を積極的に行い、行事の充実を図ります。
④	利用者個々の心身の状態に応じて、食事・入浴・排泄など必要な援助を行い、残存機能の維持、向上に努めます。また、屋外散歩や集団体操などにも積極的に参加できるよう支援し、リハビリスタッフによる専門的な機能訓練だけではなく、看護・介護職員においても生活リハビリを行ってまいります。
⑤	口腔ケアの充実を図り、嚥下体操の実施など積極的に行います。
⑥	家族や居宅介護支援事業者、他の介護保険サービス事業者と積極的に連携し、利用者の健康管理や自立した在宅生活を支援します。特に、健康状態や家族状況等の変化には、居宅介護支援事業者との迅速な情報交換により、早期対応に努めます。
⑦	介護予防に該当する利用者については、利用者自らが継続した健康管理を行い、身体機能の維持、向上が図れるよう多職種協働で積極的に支援します。また、地域包括支援センター等との協力体制をより一層深めてまいります。
⑧	安全に配慮した環境を整え、安心して過ごせる生活空間づくりに努めます。また、利用者とともに季節を感じられるような飾り付けを行い、明るく楽しい雰囲気作りにも努めます。
⑨	入所部門との連携を強化し、介護者や利用者の状態により入所サービスの提供が必要となる場合において円滑に継続したサービス提供ができるように努めます。また、利用者の急変に備えるなど緊急時における対応の充実を図り、市立吹田市民病院や他の近隣医療機関との連携による対応を行います。

⑩	毎月 10 日、20 日、30 日には桃の湯やよもぎの湯といった季節の湯を取り入れ、入浴を楽しんでいただきます。
---	--

カ リハビリテーション機能の充実

①	医師、看護師、介護職員等との連携により、入所者、通所者それぞれ個別に作成されるリハビリテーション計画書に基づき、必要な個別訓練と集団訓練を実施します。
②	入所日から3か月間は週3回以上の個別訓練を行う短期集中リハビリテーションを積極的に実施します。
③	入所される認知症高齢者に対しては、入所日から3か月間、認知症短期集中リハビリテーションを積極的に実施します。また、知的活性化訓練として、小集団活動による回想法や園芸療法、調理療法等も併せて行います。
④	在宅復帰が円滑にできるよう、入所時、退所前・後に自宅への訪問を実施し、居宅ケアマネジャーと連携して生活環境の整備等を行います。
⑤	通所利用者に対して利用開始から3か月間は、積極的なリハビリテーションの必要な方に対して、短期集中リハビリテーション及び認知症短期集中リハビリテーションを実施します。
⑥	通所利用開始時から1ヶ月以内に訪問指導を行い、在宅生活の状況を把握することでリハビリテーションの目標を明確にし、継続した在宅支援を行います。また、必要なリハビリテーションの実施により、利用者の社会参加等も支援してまいります。
⑦	訪問リハビリテーション利用者に対しては、在宅生活を支えるため、その環境下において具体的な生活行為を達成するための練習や環境設定に関する助言を行うなど、利用者の生活機能の維持、向上を目指します。
⑧	要支援高齢者に対して、地域包括支援センターとの連携を図りながら、機能向上を目的とした訓練を実施します。

キ 食事提供体制の強化

①	利用者個々の栄養ケア計画に基づき、栄養状態や栄養補給、嚥下・咀嚼状態などを多職種で情報共有し、良好な栄養状態の維持・向上に努めます。
②	ミキサー、刻み、あんかけなど摂取しやすい食事形態により、嚥下困難者等に対してきめ細かい対応を行います。また、可能な限り利用者への個別対応を行います。
③	低栄養状態にある方や体重減少がみられる方に対して、主食量の増量や、摂取量を増やすよう嗜好を考慮した対応と、効率よく栄養補給できるものを提供するなど栄養ケアの充実を図ります。
④	発熱などの体調不良により食欲が一時的に低下して、通常の献立内容では対応できない方に対しては、高栄養で摂取しやすいもの（回復食）を提供します。
⑤	にぎり寿司やお好み焼き等の実演を伴ったイベント食や行事食などの充実を図ります。
⑥	適時、適温で提供するよう徹底します。
⑦	調理クラブでは季節感のあるものや栄養知識が身に付く簡単なメニューを取り入れる等、内容を充実します。

(6) 年間行事計画

実施月	行事名
4月	演芸会
5月	菖蒲湯
6月	開設記念行事
7月	七夕
9月	吹老祭
10月	文化展
11月	文化展
12月	もちつき ゆず湯 クリスマス
1月	新年会
2月	節分
3月	ひな祭り

(7) 地域との交流

項目	内容
各種市民団体、行政機関等主催の見学会の受入れ	地区福祉委員、民生委員等の市民団体、他市町村、他の介護保険事業所等からの見学を積極的に受け入れます。
幼稚園・保育園児との交流	近隣幼稚園や保育園の園児とゲームや歌、体操などのレクリエーションを通じて交流を図ります。
ボランティアの受入れ	レクリエーション、行事、クラブ活動等に対する各種団体ボランティアの受入れと、高齢者福祉に関心のある方や介護支援サポーター等の個人ボランティアの受入れを積極的に行い、きめ細かいサービスが提供できるように努めます。
介護相談員の受入れ	月2回程度、介護相談員の受入れを行い、サービス向上に資するよう努めます。

2 その他の事業

定款第4条に掲げる次の事業を積極的に行います。

(1) 高齢者等の保健、医療に関する調査研究事業

項目	内容
施設内研修	施設職員による勉強会や外部講師を招いた研修会を月例で開催し、また、eラーニングを活用した動画視聴研修も行き、知識の蓄積と技術の習得によって更なる資質向上に努めます。
外部研修	全国老人保健施設協会及び大阪介護老人保健施設協会、その他専門学会等が開催する研修会等に職員を派遣し、職員の資質向上を図ります。 研修に参加した職員は、他の職員に対して伝達研修を実施し、知識・技術の習得によって、より良質なサービス提供ができるように努めます。

(2) 高齢者等の保健、福祉に関する事業

項 目	内 容
ボランティア研修会	施設で活動されているボランティアに対する研修会及びボランティア相互、施設職員との意見交換会を行い、ボランティア活動を支援します。
地域支援講座	近隣地域の高齢者等を対象として、回想法を取り入れた講座を地区公民館等と共催して開催し、介護予防、閉じこもり予防につながる支援を行います。
認知症支援啓発事業の実施	市民を対象とした認知症予防などの講座、施設や地域で活動していただける回想法ボランティアの養成講座、キャラバンメイト活動となる認知症サポーター養成講座の開催など、認知症の予防や支援活動となる事業を行ってまいります。
認知症カフェの開催	定期的で開催し、認知症高齢者及びその家族が活躍できる場の提供と介護に関する相談等の支援を行ってまいります。また、片山・岸部ブロック介護者支援の会で開催する認知症カフェにも協力します。
地域交流回想法の開催	本施設で養成した回想法ボランティアの地域活動として、近隣地区在住の高齢者を対象に大和大学学生の協力を得て、参加者との世代間の交流を目的とした地域交流回想法を開催します。
百歳体操の実施	近隣地域の住民と共催して百歳体操を実施します。

(3) 施設での教育・実習事業

実習生・介護職員初任者研修受講者等を受け入れ、看護、介護、機能訓練等の専門職員による知識、技能の習得等を行い、人材育成のための指導を行います。

項 目	学校名
看護実習	大阪公立大学・千里金蘭大学・梅花大学
理学療法士実習	大和大学
作業療法士実習	大阪公立大学・大和大学・京都橘大学・仏教大学・森ノ宮医療大学
介護福祉士実習	大阪人間科学大学
介護職員初任者研修のための介護実習	新大阪歯科衛生士専門学校

(4) その他の事業

①	自助具、補装具等の展示販売事業
②	インフルエンザワクチン予防接種
③	肺炎球菌ワクチン予防接種
④	新型コロナワクチン予防接種
⑤	その他、理事長が必要と認める事業

令和8年度（2026年度） 収入支出の予算

令和8年度 収入支出予算は、次に定めるところによる。

（収入支出の予算）

第1条 収入支出予算は、収入 624,143,825 円、支出の部 610,783,739 円と定める。

2 収入支出の予算の勘定科目の区分及び当該区分ごとの金額は「第1表 収入支出の予算」による。

# 令和8年度収支予算書

令和8年（2026年） 4月 1日から令和9年（2027年） 3月31日まで

（単位：円）

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	[ 0 ]	[ 400,000 ]	[ △ 400,000 ]
基本財産受取利息	0	400,000	△ 400,000
事業収益	[ 624,023,825 ]	[ 624,023,825 ]	[ 0 ]
介護老人保健施設収益	481,241,281	481,241,281	0
短期入所療養介護収益	29,279,065	29,279,065	0
通所リハビリテーション収益	110,679,414	110,679,414	0
訪問リハビリテーション収益	2,270,065	2,270,065	0
自主事業収益	554,000	554,000	0
受取補助金等	[ 10,000 ]	[ 10,000 ]	[ 0 ]
受取補助金等	10,000	10,000	0
受取寄付金	[ 10,000 ]	[ 10,000 ]	[ 0 ]
受取寄付金	10,000	10,000	0
雑収益	[ 100,000 ]	[ 100,000 ]	[ 0 ]
受取利息	10,000	10,000	0
雑収益	90,000	90,000	0
経常収益計	624,143,825	624,543,825	△ 400,000
(2) 経常費用			
事業費	[ 609,684,339 ]	[ 602,041,716 ]	[ 7,642,623 ]
常勤役員報酬	11,949,000	11,949,000	0
給料手当	210,181,810	205,931,511	4,250,299
非常勤職員報酬	3,318,768	6,371,478	△ 3,052,710
臨時雇賃金	86,525,852	83,795,524	2,730,328
賞与引当金繰入額	11,593,784	11,769,096	△ 175,312
退職給付費用	12,883,560	12,897,009	△ 13,449
法定福利費	48,101,578	47,523,177	578,401
福利厚生費	1,737,000	1,737,000	0
旅費	148,000	148,000	0
会議費	10,000	10,000	0
通信運搬費	1,182,881	1,182,881	0
消耗什器備品費	400,000	400,000	0
消耗品費	20,335,095	20,335,095	0
販売物品仕入費	100,000	100,000	0
委託費	128,732,183	125,407,117	3,325,066
修繕費	1,000,000	1,000,000	0
印刷製本費	396,000	396,000	0
燃料費	1,980,000	1,980,000	0
光熱水費	43,296,000	43,296,000	0
賃借料	10,684,985	10,684,985	0
手数料	1,111,000	1,111,000	0
保険料	679,550	679,550	0
負担金	368,000	368,000	0
交通費	480,000	480,000	0
研修費	289,600	289,600	0
広告料	50,000	50,000	0
減価償却費	6,107,193	6,107,193	0

(11)

科 目	当年度	前年度	増 減
租税公課	642,500	642,500	0
寄付金	5,400,000	5,400,000	0
管理費	[ 1,099,400 ]	[ 1,099,400 ]	[ 0 ]
役員等報酬	380,400	380,400	0
福利厚生費	50,000	50,000	0
会議費	20,000	20,000	0
委託費	519,000	519,000	0
広告料	20,000	20,000	0
租税公課	100,000	100,000	0
雑費	10,000	10,000	0
経常費用計	610,783,739	603,141,116	7,642,623
評価損益等調整前当期経常増減額	13,360,086	21,402,709	△ 8,042,623
当期経常増減額	13,360,086	21,402,709	△ 8,042,623
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	13,360,086	21,402,709	△ 8,042,623
一般正味財産期首残高	244,587,766	223,185,057	21,402,709
一般正味財産期末残高	257,947,852	244,587,766	13,360,086
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	257,947,852	244,587,766	13,360,086

1 介護老人保健施設事業

吹田市から指定管理者として委任を受けた事業として、施設サービス（長期入所）、短期入所療養介護、通所リハビリテーション、訪問リハビリテーション等の事業を行いました。

(1) 施設サービス（長期入所）

利用者個々の心身の状態に応じた施設サービス計画に基づき、入所者の要介護状態の軽減又は悪化の防止に資するよう、医師・看護師・介護職員・理学療法士・作業療法士・管理栄養士・介護支援専門員・支援相談員等は、日常生活全般の看護・介護やリハビリテーション・その他必要な医療を行い、また、季節を感じさせる行事等を行いました。

ア 入退所等の状況

区 分	令和7年度	令和6年度
入所者数	134人	137人
退所者数	133人	142人
延べ在所者数	24,855人	26,411人
平均在所日数	187.0日	250.0日
1日平均在所者数	68.1人	72.4人
平均要介護度	2.94	2.96

イ 退所者の状況

退 所 先	令和7年度		令和6年度	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
家庭	61	45.9	68	47.9
医療機関	59	44.4	58	40.9
介護老人保健施設	0	0.0	1	0.7
特別養護老人ホーム	8	6.0	8	5.6
その他	2	1.5	4	2.8
死亡(看取り含む)	3	2.2	3	2.1
合計	133	100.0	142	100.0

ウ 介護報酬算定要件における在宅復帰の状況

月	退所者数(人)	うち在宅退所者数(人)	在宅復帰率(%)
4月	10	5	50.0
5月	10	6	60.0
6月	13	8	61.5
7月	12	7	58.3
8月	8	1	12.5
9月	14	6	42.9
10月	12	8	66.7
11月	5	2	40.0
12月	11	8	72.7
1月	8	4	50.0
2月	12	5	41.7
3月	10	2	20.0
合計	125	62	49.6

※ 退所者数には死亡及び入院後7日以内に再入所した退所者は含みません。

エ 特別なケアを要する利用者数

項目	人数(人)
膀胱留置カテーテル	10
喀痰吸引	6
胃瘻	3

オ 所定疾患施設療養費の算定状況

疾患名	件数(件)	治療日数(日)	処置内容
尿路感染症	11	134	血液・尿検査、抗生剤（点滴・内服）投与、点滴による水分補給
带状疱疹	0	0	抗生剤（内服）投与、抗炎症薬の塗布
肺炎	0	0	抗生剤（点滴・内服）投与、点滴による水分補給
蜂窩織炎	6	48	抗生剤（内服）投与

カ 個別対応のリハビリテーション実施状況

項目	実施実人数(人)	実施延べ人数(人)	内容
短期集中リハビリテーション	193	2,726	入所日から起算して3月以内に集中的なリハビリテーションを実施
認知症短期集中リハビリテーション	174	1,603	認知症である方に対し、入所日から起算して3月以内に集中的なリハビリテーションを実施

キ 訪問等実施状況

項目	実施件数(件)	内容
入所前後訪問	53	入所前後に居宅を訪問し、施設サービス計画の策定及び診療方針の決定にあたり、生活機能の具体的な改善目標を定めるとともに退所後の生活に係る支援計画を策定
退所前後訪問	32	退所後に生活する居宅を訪問し、療養上の指導を行う
退所前連携	60	居宅支援事業者と連携して退所後の居宅サービス等の利用調整を行う

ク 看取りに関する加算の算定状況

加算名	件数(件)
ターミナルケア加算	3

ケ イベント食の実施状況

月	内 容
4月	にぎり寿司、和菓子（和のケーキ）
5月	にぎり寿司、和菓子（真鯉・赤のカーネーション）
6月	赤飯、和菓子（黄のバラ、祝いの菓）
7月	七夕そうめん、うなぎ料理、和菓子（織姫の恋、夏のひまわり）
8月	和菓子（夏空の花）
9月	松花堂弁当（赤飯・和菓子等）
10月	月見膳、栗ご飯、和菓子（うさぎの月、ハロウィンおばけ）、にぎり寿司
11月	にぎり寿司
12月	南瓜いところ煮、年越しそば、ぜんざい、みたらしだんご、イチゴケーキ、和菓子（サンタのお顔、冬柚香）
1月	お雑煮、松花堂弁当（赤飯・和菓子等）、七草粥、小豆粥、ちらし寿司
2月	巻き寿司、和菓子（梅うぐいす・バレンタインハート）、ぜんざい
3月	ちらし寿司、ひなゼリー、和菓子（男雛・女雛）、おはぎ

コ 全体行事实施状況（入所、通所フロア別に実施）

実施月	行 事 名
4月	春の演芸会
7月	開設記念行事
9月	吹老祭
12月	もちつき大会

サ 施設管理関係

(ア) 永年勤続表彰（大阪介護老人保健施設協会）

勤続年数	人数
15年	1人

(2) 短期入所療養介護・介護予防短期入所療養介護

介護者が冠婚葬祭や介護疲れ等で介護ができなくなった場合に、居宅サービス計画又は介護予防サービス計画に基づく期間の受入れを行いました。

ア 入退所等の状況

(ア) 短期入所療養介護

区 分	令和7年度	令和6年度
利用者数	261人	264人
延べ在所者数	1,948人	1,890人
平均在所日数	7.4日	7.1日
1日平均在所者数	5.3人	5.2人
平均要介護度	3.06	2.86

(イ) 介護予防短期入所療養介護

区 分	令和7年度	令和6年度
利用者数	0人	1人
延べ在所者数	0人	8人
平均在所日数	0.0日	8.0日
1日平均在所者数	0人	0.02人

イ 個別対応のリハビリテーション実施状況

項 目	実施実人数 (人)	実施延べ人数 (人)	内 容
個別リハビリテーション	218	1,203	個別リハビリテーション計画に基づき、リハビリテーションを実施

(3) 通所リハビリテーション・介護予防通所リハビリテーション

居宅サービス計画又は介護予防サービス計画に基づき、機能訓練、入浴、食事、レクリエーション等を行い、心身機能の維持回復を図りました。

ア 利用の状況

区 分	令和7年度	令和6年度
実利用者数	134人	131人
延べ利用者数 (うち介護予防)	8,245人 (1,086人)	8,408人 (1,229人)
1日平均利用者数	23.0人 (月曜日から土曜日) 26.9人 (日曜日) 0.0人	23.4人 (月曜日から土曜日) 27.3人 (日曜日) 0.0人
平均要介護度	2.52	2.53

イ 体験利用の状況

利用人数	33人
利用継続人数	21人

- (4) 訪問リハビリテーション・介護予防訪問リハビリテーション  
理学療法、作業療法その他必要なリハビリテーションを居宅への訪問によって行い、利用者の心身機能の維持回復を図りました。

ア 利用の状況

区 分	令和7年度	令和6年度
実利用者数	8人	10人
延べ利用者数 (うち介護予防)	245人 (14人)	289人 (0人)

- (5) 主治医意見書の作成  
要介護等認定の申請に必要な主治医意見書を作成しました。  
作成件数：31件

- (6) 要介護認定調査の実施  
入所者の要介護認定申請に必要な認定調査を実施  
実施件数：2件

- (7) 介護認定審査会への参画  
吹田市の介護認定審査会に職員を派遣しました。  
出席回数：4回

- (8) その他関係会議への出席 (web 会議含む)  
ア 吹田市介護保険事業者連絡会  
イ 吹田市片山・岸部ブロック別地域ケア会議  
ウ 大阪介護老人保健施設協会

## 2 その他の事業

定款第4条に掲げる次の事業を実施しました。

- (1) 高齢者等の保健、医療に関する調査研究事業  
職員の資質向上を図り、知識及び技術の習得・向上に資するために次の研修を実施しました。

ア 施設内研修

実施日	テーマ	人数(人)
令和7年4月23日	オムツ装着方法研修会	9
令和7年4月30日	認知症ケア学会発表演題予演会	14
令和7年6月25日	大会発表に向けた公開プレゼンテーション	10
令和7年10月22日	倫理、法令遵守研修	20
令和7年11月5日	全国老人保健施設大会演題発表	11
令和7年11月26日	緊急対応時シミュレーション	20
令和8年1月21日	ACPについて	12
令和8年1月28日	感染症研修 (手指消毒、手洗いチェッカー実習)	9
令和8年2月18日	身体拘束廃止研修	8
令和8年3月11日	令和7年度ヒヤリハット事故報告書総括	11

イ e-ラーニング研修

受講テーマ	受講期間	対象人数(人)	受講率(%)
虐待防止・権利擁護	令和7年4月	78	100.0
プライバシー、個人情報保護、 接遇	令和7年6月	76	100.0
事故発生防止、感染症対策	令和7年7月	66	90.4
認知症及び認知症ケア	令和7年8月	54	74.9
ターミナルケア、非常災害時 対応	令和7年9月	73	75.3
虐待防止	令和7年11月	70	94.3
身体拘束禁止、ハラスメント	令和7年12月	72	86.1

ウ 外部研修会

開催日	研修名	開催場所	参加職種	人数(人)
令和7年7月～8月	ACP 支援実践人材育成研修	大阪市	看護師 介護職員 作業療法士	6
令和7年10月2日	安全推進セミナー研修会 (オンライン研修)	—	介護職員	1
令和7年10月3日	介護老人保健施設近畿ブ ロック大会	奈良県	介護職員	3
令和7年10月27日	吹田市認定調査員現任研 修	吹田市	介護支援専 門員	1
令和7年11月11日	感染対策研修	大阪市	看護師	1
令和7年11月12日 11月17日	認知症当事者とその家族 のための講演会	吹田市	作業療法士 介護職員	2
令和7年11月27日 11月28日	全国介護老人保健施設大 会	山口県	理学療法士 作業療法士	2

(2) 高齢者等の保健、福祉に関する事業

ア ボランティア意見交換会

ボランティア活動時における諸問題等について意見交換会を行いました。

開催日	参加ボランティア数(人)
令和8年3月26日	12

イ 地域支援講座

地域で開催される講座等に対して職員を派遣しました。

実施日	内 容	主催団体	派遣職員(職種)
令和7年5月31日	日本認知症ケア学会 (座長)	日本認知症ケア学 会	佐上雅宣(作業療法士)
令和7年7月18日	認知症サポーター養成 講座	吹一吹六地区包括 支援センター	佐々木 岳(介護職員) 高橋正悟(作業療法士)
令和7年8月27日	認知症サポーター養成 講座	片山地域包括支援 センター	佐上雅宣(作業療法士)

令和7年12月7日	大阪府認知症ケア専門士会研修	大阪府認知症ケア専門士会	佐上雅宣(作業療法士)
令和7年12月17日	認知症サポーター養成講座	吹田市福祉部高齢福祉室	佐上雅宣(作業療法士) 佐々木 岳(介護職員)
令和8年1月23日	福祉授業	吹田市立山手小学校	佐上雅宣(作業療法士)
令和8年1月28日	認知症サポーター養成講座	吹一吹六地区包括支援センター	佐上雅宣(作業療法士)

ウ 認知症支援啓発事業

認知症の予防や支援活動となる事業を行いました。

(ア) 認知症サポーター養成講座

開催日	参加者数(人)
令和7年8月20日	15

(イ) いきいき老健講座 (認知症サポーターフォローアップ講座)

開催日	参加者数(人)
令和7年11月19日	17

(ウ) 回想法ボランティア養成講座

開催日	参加者数(人)
令和7年11月26日	20

エ 認知症カフェの開催

吹田市社会福祉協議会、片山地域包括支援センター、認知症地域支援推進員、吹田市認知症カフェ交流会の協力を得て開催しました。

開催日	参加者数(人)		
	市民	ボランティア	職員
令和7年4月16日	32	3	4
令和7年5月21日	21	5	4
令和7年6月18日	24	5	4
令和7年7月16日	22	5	4
令和7年8月20日	18	5	4
令和7年9月17日	17	5	4
令和7年10月15日	14	4	3
令和7年11月19日	27	4	6
令和7年12月17日	20	4	3
令和8年3月18日	36	4	4

オ 見学の受入れ

団体名	受入日	人数(人)
吹一地区福祉委員会	令和8年2月19日	8

## (3) 施設での教育・実習事業

## ア 看護実習

名 称	実施期間	実人員(人)	延べ人員(人)
大阪公立大学	令和7年5月12日～14日	3	9
	令和7年5月16日～5月29日	7	63
	令和7年9月22日～9月24日	3	6
	令和7年9月26日～10月9日	8	72
	令和7年10月14日～10月15日	3	6
	令和7年10月17日～10月30日	8	72
	令和7年11月10日～11月12日	3	9
	令和7年11月14日～11月27日	6	48
	令和8年1月13日～1月14日	2	4
	令和8年1月16日～1月29日	8	72
千里金蘭大学	令和7年7月30日	14	14
	令和7年7月31日	14	14
	令和7年8月1日	14	14
	令和7年8月4日	14	14
梅花女子大学	令和7年8月26日～8月27日	3	6
	令和7年8月28日～8月29日	3	6

## イ 理学療法士実習

名 称	実施期間	実人員(人)	延べ人員(人)
大和大学	令和7年6月30日～7月18日	2	30
	令和8年3月2日～3月6日	1	5
	令和8年3月9日～3月13日	1	5

## ウ 作業療法士実習

名 称	実施期間	実人員(人)	延べ人員(人)
佛教大学	令和7年4月7日～5月30日	1	37
	令和7年10月14日～10月21日	1	6
	令和8年2月12日～2月18日	1	5
大阪公立大学	令和8年2月16日～2月26日	1	8
京都橘大学	令和7年8月4日～8月6日	2	6
	令和8年1月27日、1月29日	2	2
	令和8年2月4日、2月6日	2	4
森ノ宮医療大学	令和7年9月16日～9月19日	1	4
	令和7年9月29日～10月3日	2	10
大和大学	令和7年11月17日～12月12日	1	19

エ 教諭普通免許取得のための介護実習

名 称	実施期間	実人員(人)	延べ人員(人)
大和大学	令和7年4月14日～4月18日	6	30
	令和7年4月21日～4月25日	6	30
関西大学	令和8年3月2日～3月6日	5	25
	令和8年3月9日～3月13日	6	30

(4) その他の事業

ア インフルエンザワクチン接種

区 分	接種人数(人)	接種率 (%)
入所者	48	55.8
職 員	59	64.8
合 計	107	

イ 新型コロナウイルスワクチン接種

区 分	接種人数 (人)	接種率 (%)
入所者	31	36.0

ウ 帯状疱疹ワクチン接種

区 分	接種人数 (人)
入所者	8

3 公益目的支出計画（特定寄付）

公益目的支出計画では500万円を寄付することを定めていますが、財政状況の悪化により今年度は実施しておりません。

4 その他

令和7年度事業報告附属明細書は記載する事項が無いため作成しない。

## 令和7年度（2025年度）決算書

# 貸借対照表

令和8年 3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	98,969,431	30,775,811	68,193,620
事業未収金	83,436,784	83,375,969	60,815
未収金	405,271	447,926	△ 42,655
立替金	282,559	109,990	172,569
流動資産合計	183,094,045	114,709,696	68,384,349
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
有価証券	0	79,180,000	△ 79,180,000
普通預金	3,825,000	3,825,000	0
基本財産合計	3,825,000	83,005,000	△ 79,180,000
(2) 特定資産			
退職給付引当資産			
普通預金	27,548,661	18,002,996	9,545,665
建物	57,377,092	62,333,685	△ 4,956,593
什器備品	1,149,316	2,299,916	△ 1,150,600
ソフトウエア	1,113,750	1,410,750	△ 297,000
特定資産合計	87,188,819	84,047,347	3,141,472
(3) その他固定資産			
什器備品	1	1	0
その他固定資産合計	1	1	0
固定資産合計	91,013,820	167,052,348	△ 76,038,528
資産合計	274,107,865	281,762,044	△ 7,654,179
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	37,535,528	68,794,998	△ 31,259,470
預り金	3,399,944	3,862,359	△ 462,415
賞与引当金	11,483,332	11,315,472	167,860
未払法人税等	70,000	70,000	0
未払消費税等	128,300	123,800	4,500
流動負債合計	52,617,104	84,166,629	△ 31,549,525
2. 固定負債			
退職給付引当金	135,044,438	131,028,224	4,016,214
固定負債合計	135,044,438	131,028,224	4,016,214
負債合計	187,661,542	215,194,853	△ 27,533,311
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
国庫補助金	59,640,158	66,044,351	△ 6,404,193
指定正味財産合計	59,640,158	66,044,351	△ 6,404,193
(うち特定資産への充当額)	(59,640,158)	(66,044,351)	(△6,404,193)
2. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	(3,825,000)	(83,005,000)	(△79,180,000)
正味財産合計	86,446,323	66,567,191	19,879,132
負債及び正味財産合計	274,107,865	281,762,044	△ 7,654,179

# 正味財産増減計算書

令和7年 4月 1日から令和8年 3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	〔 38,356 〕	〔 400,000 〕	〔 △ 361,644 〕
基本財産受取利息	38,356	400,000	△ 361,644
事業収益	〔 530,196,727 〕	〔 546,187,180 〕	〔 △ 15,990,453 〕
介護老人保健施設収益	391,434,811	408,940,367	△ 17,505,556
短期入所療養介護収益	33,555,480	32,335,717	1,219,763
通所リハビリテーション収益	101,133,671	100,401,482	732,189
訪問リハビリテーション収益	1,820,996	2,197,899	△ 376,903
自主事業収益	2,251,769	2,311,715	△ 59,946
受取補助金等	〔 10,314,078 〕	〔 8,023,360 〕	〔 2,290,718 〕
受取負担金	〔 90,000,000 〕	〔 0 〕	〔 90,000,000 〕
雑収益	〔 24,148 〕	〔 40,925 〕	〔 △ 16,777 〕
雑収益	24,148	40,925	△ 16,777
経常収益計	630,573,309	554,651,465	75,921,844
(2) 経常費用			
事業費	〔 600,930,656 〕	〔 602,011,952 〕	〔 △ 1,081,296 〕
常勤役員報酬	11,949,000	11,949,000	0
給料手当	216,947,178	215,528,529	1,418,649
非常勤職員報酬	3,295,977	8,154,120	△ 4,858,143
臨時雇賃金	86,246,392	85,702,080	544,312
賞与引当金繰入額	11,483,332	11,315,472	167,860
退職給付費用	14,322,352	19,033,036	△ 4,710,684
法定福利費	49,019,177	48,878,346	140,831
福利厚生費	1,249,563	1,201,112	48,451
旅費	186,794	89,480	97,314
会議費	0	0	0
通信運搬費	1,164,415	1,180,457	△ 16,042
消耗什器備品費	1,254,338	432,597	821,741
消耗品費	18,469,355	17,864,674	604,681
販売物品仕入費	0	0	0
委託費	121,562,877	119,098,423	2,464,454
修繕費	2,062,767	1,421,075	641,692
印刷製本費	134,889	298,910	△ 164,021
燃料費	1,827,972	1,977,974	△ 150,002
光熱水料費	39,612,740	39,309,249	303,491
賃借料	10,193,665	9,923,675	269,990
手数料	1,872,760	1,019,120	853,640
保険料	507,920	460,050	47,870
負担金	359,000	359,000	0
交通費	284,800	154,800	130,000
研修費	230,100	194,930	35,170
広告料	0	0	0

科 目	当年度	前年度	増 減
租税公課	289,100	284,400	4,700
減価償却費	6,404,193	6,181,443	222,750
寄付金	0	0	0
管理費	[ 629,328 ]	[ 648,823 ]	[ △ 19,495 ]
役員等報酬	126,000	170,075	△ 44,075
福利厚生費	0	0	0
会議費	6,128	3,848	2,280
委託費	464,000	464,000	0
賃借料	0	0	0
租税公課	33,200	10,900	22,300
雑費	0	0	0
経常費用計	601,559,984	602,660,775	△ 1,100,791
評価損益等調整前当期経常増減額	29,013,325	△ 48,009,310	77,022,635
基本財産評価損益等	[ △ 2,730,000 ]	[ △ 7,950,000 ]	[ 5,220,000 ]
基本財産評価損益等	△ 2,730,000	△ 7,950,000	5,220,000
評価損益等計	△ 2,730,000	△ 7,950,000	5,220,000
当期経常増減額	26,283,325	△ 55,959,310	82,242,635
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
雑収益	[ 0 ]	[ 289,821 ]	[ △ 289,821 ]
経常外収益計	0	289,821	△ 289,821
(2) 経常外費用			
前期収益修正損	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	289,821	△ 289,821
当期一般正味財産増減額	26,283,325	△ 55,669,489	81,952,814
一般正味財産期首残高	522,840	56,192,329	△ 55,669,489
一般正味財産期末残高	26,806,165	522,840	26,283,325
II 指定正味財産増減の部			
受取補助金等	[ 0 ]	[ 1,485,000 ]	[ △ 1,485,000 ]
受取国庫補助金	0	1,485,000	△ 1,485,000
一般正味財産への振替額	[ △ 6,404,193 ]	[ △ 6,181,443 ]	[ △ 222,750 ]
一般正味財産への振替額	△ 6,404,193	△ 6,181,443	△ 222,750
当期指定正味財産増減額	△ 6,404,193	△ 4,696,443	△ 1,707,750
指定正味財産期首残高	66,044,351	70,740,794	△ 4,696,443
指定正味財産期末残高	59,640,158	66,044,351	△ 6,404,193
III 正味財産期末残高	86,446,323	66,567,191	19,879,132

## 附属明細書

### 1. 基本財産及び特定資産の明細

(単位：円)

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
基本財産	有価証券	79,180,000	0	79,180,000	0
	普通預金	3,825,000	0	0	3,825,000
	基本財産計	83,005,000	0	79,180,000	3,825,000
特定資産	退職給付引当資産				
	普通預金	18,002,996	52,000,000	42,454,335	27,548,661
	建物	62,333,685	0	4,956,593	57,377,092
	什器備品	2,299,916	0	1,150,600	1,149,316
	ソフトウェア	1,410,750	0	297,000	1,113,750
	特定資産計	84,047,347	52,000,000	48,858,528	87,188,819

### 2. 引当金の明細

(単位：円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	11,315,472	11,483,332	11,315,472	0	11,483,332
退職給付引当金	131,028,224	14,322,352	10,306,138	0	135,044,438

# 財産目録

令和8年 3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)	現金	手元保管	運転資金として	47,825
	預金	当座預金	運転資金として	53,700,180
		ゆうちょ銀行 普通預金	運転資金として	45,221,426
	三菱UFJ銀行 吹田支店			
	事業未収金		事業に係る未収分	83,436,784
	未収金		労働保険料未収金	405,271
	立替金		自動販売機設置事業者電気代等	282,559
流動資産合計				183,094,045
(固定資産)	基本財産			
	普通預金	三菱UFJ銀行 吹田支店		3,825,000
特定資産	退職給付引当資産		職員の退職金支払いに備えたもの	27,548,661
	普通預金	三菱UFJ銀行 吹田支店		27,548,661
その他固定資産	建物			57,377,092
	什器備品			1,149,316
	ソフトウェア			1,113,750
	什器備品	介護用リフト2台		1
固定資産合計				91,013,820
資産合計				274,107,865
(流動負債)	未払金			37,535,528
	預り金			3,399,944
	源泉所得税			0
	住民税			980,000
	健康保険料			778,487
	厚生年金保険料			1,412,460
	介護保険料			100,197
	理髪代			128,800
	賞与引当金		職員の賞与支払いに備えたもの	11,483,332
	職員賞与費			11,277,732
	非常勤賞与費			205,600
	未払法人税等			70,000
	未払消費税等			128,300
流動負債合計				52,617,104
(固定負債)	退職給付引当金		職員退職金支払いに備えたもの	135,044,438
固定負債合計				135,044,438
負債合計				187,661,542
正味財産				86,446,323

財 務 諸 表 に 対 す る 注 記

令和 8 年 3 月 31 日現在

1. 重要な会計方針

(1) 会計基準

当財団は「公益法人会計基準」（平成 20 年 4 月 11 日 内閣府公益認定等委員会）を採用している。

(2) 有価証券の評価基準及び評価方法について

① 其他有価証券

時価のあるもの・・・期末日の市場価格等に基づく時価法によっている。

(3) 固定資産の減価償却の方法

① 建物・・・定額法

② 什器備品（特定資産）・・・定額法

③ ソフトウェア・・・定額法

④ 什器備品（其他固定資産）・・・定額法

(4) 引当金の計上基準

① 賞与引当金

職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額（令和 8 年 6 月末支給分）のうち当期に帰属する額を計上している。

② 退職給付引当金

職員の退職給付に備えるため、職員の期末自己都合要支給額の 100%を計上している。

(5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

（単位：円）

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
有価証券	79,180,000	0	79,180,000	0
普通預金	3,825,000	0	0	3,825,000
小 計	83,005,000	0	79,180,000	3,825,000
特定資産				
退職給付引当資産				
普通預金	18,002,996	52,000,000	42,454,335	27,548,661
建物	62,333,685	0	4,956,593	57,377,092
什器備品	2,299,916	0	1,150,600	1,149,316
ソフトウェア	1,410,750	0	297,000	1,113,750
小 計	84,047,347	52,000,000	48,858,528	87,188,819
合 計	167,052,347	52,000,000	128,038,528	91,013,819

3. 基本財産及び特定資産の財源の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に対応 する額)
基本財産				
普通預金	3,825,000	0	3,825,000	0
小 計	3,825,000	0	3,825,000	0
特定資産				
退職給付引当資産				
普通預金	27,548,661	0	0	27,548,661
建物	57,377,092	57,377,092	0	0
什器備品	1,149,316	1,149,316	0	0
ソフトウェア	1,113,750	1,113,750	0	0
小 計	87,188,819	59,640,158	0	27,548,661
合 計	91,013,819	59,640,158	3,825,000	27,548,661

4. 固定資産の取得価格、減価償却累計額および当期末残高

(単位：円)

科 目	取得価格	減価償却累計額	当期末残高
建物	73,979,000	16,601,908	57,377,092
什器備品（特定資産）	4,697,000	3,547,684	1,149,316
ソフトウェア	1,485,000	371,250	1,113,750
什器備品（その他固定資産）	480,000	479,999	1
合 計	80,641,000	21,000,841	59,640,159

5. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金						
介護サービス事業所 物価高騰対策応援金	吹田市	0	2,100,000	2,100,000	0	
ケアプランデータ連携システム 補助金	吹田市	0	15,000	15,000		
介護人材確保・職場環境 改善等事業補助金	大阪府	0	1,794,885	1,794,885	0	
介護ロボット導入 支援事業補助金	大阪府	2,299,916	0	1,150,600	1,149,316	指定正味財産
地域密着型サービス等に係る 施設整備等補助金	吹田市	62,333,685	0	4,956,593	57,377,092	指定正味財産
大阪 ICT 導入支援事業補助金	大阪府	1,410,750	0	297,000	1,113,750	指定正味財産
負担金						
運営負担金	吹田市	0	90,000,000	90,000,000	0	
合計		66,044,351	93,909,885	100,314,078	59,640,158	

6. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内容	金額
経常収益への振替額	6,404,193
減価償却費計上による振替額	
合計	6,404,193

7. 税効果会計

過年度及び当年度に発生した一時差異(貸借対照表上の資産及び負債の金額と課税所得計算上の資産及び負債の金額との差異)等に係る税金の額に重要性がないため、税効果会計を適用していない。

# 独立監査人の監査報告書

令和8年4月24日

一般財団法人吹田市介護老人保健施設事業団  
理事長 春藤尚久 殿

晴連監査法人

代表社員  
業務執行社員

公認会計士



## 監査意見

当監査法人は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第199条において準用する同法第124条第2項第1号の規定に基づき、一般財団法人吹田市介護老人保健施設事業団の令和7年4月1日から令和8年3月31日までの令和7年度の貸借対照表、損益計算書（公益法人会計基準に基づく「正味財産増減計算書」をいう。）及び財務諸表に対する注記並びに附属明細書（以下「財務諸表等」という。）について監査を行った。

当監査法人は、上記の財務諸表等が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して、当該財務諸表等に係る期間の財産及び損益（正味財産増減）の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

## 監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「財務諸表等の監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、法人から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

## その他の記載内容

その他の記載内容は、事業報告及びその附属明細書である。理事者の責任は、その他の記載内容を作成し開示することにある。また、監事の責任は、その他の記載内容の報告プロセスの整備及び運用における理事の職務の執行を監視することにある。

当監査法人の財務諸表等に対する監査意見の対象にはその他の記載内容は含まれておらず、当監査法人はその他の記載内容に対して意見を表明するものではない。

財務諸表等の監査における当監査法人の責任は、その他の記載内容を通読し、通読の過程において、その他の記載内容と財務諸表等又は当監査法人が監査の過程で得た知識との間に重要な相違があるかどうか検討す

ること、また、そのような重要な相違以外にその他の記載内容に重要な誤りの兆候があるかどうか注意を払うことにある。

当監査法人は、実施した作業に基づき、その他の記載内容に重要な誤りがあると判断した場合には、その事実を報告することが求められている。

その他の記載内容に関して、当監査法人が報告すべき事項はない。

#### 財務諸表等に対する理事長及び監事の責任

理事者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して財務諸表等を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表等を作成し適正に表示するために理事者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表等を作成するに当たり、理事者は、継続組織の前提に基づき財務諸表等を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に基づいて継続組織に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監事の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における理事の職務執行を監視することにある。

#### 財務諸表等の監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表等に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表等に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表等の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意思表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・財務諸表等の監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関する内部統制を検討する。
- ・理事者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに理事者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・理事者が継続組織を前提として財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続組織の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続組織の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表等の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表等の注記事項が適切でない場合は、財務諸表等に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、法人は継続組織として存続

できなくなる可能性がある。

・財務諸表等の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表等の表示、構成及び内容、並びに財務諸表等が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうか評価する。

監査人は、監事に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上も重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

#### 利害関係

法人と当監査法人の間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

# 令和7年度 監査報告書

一般財団法人吹田市介護老人保健施設事業団  
理事長 春 藤 尚 久 殿

私たち監事は、当法人の令和7年4月1日から令和8年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行に関して、本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

## 1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事等からその職務の執行について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、当法人の主たる事務所において業務及び財産の状況並びに公益目的支出計画の実施の状況を調査いたしました。さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行いました。

以上の方法によって、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書、計算関係書類（貸借対照表、正味財産増減計算書及びこれらの附属明細書）並びに公益目的支出計画実施報告書について検討いたしました。

## 2 監査の結果

### (1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、当法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

### (2) 計算関係書類の監査結果

計算関係書類は、法人の財産及び正味財産増減の状況をすべて重要な点において適正に表示しているものと認めます。

- (3) 公益目的支出計画実施報告書は、法令及び定款に従い、法人の公益目的支出計画の実施状況を正しく示していると認めます。

令和8年4月30日

監事 三 条 健 二 

監事 大 山 達 也 

報告第7号

公益財団法人吹田市健康づくり推進事業団の経営状況について

公益財団法人吹田市健康づくり推進事業団の経営状況について、地方自治法第243条の3第2項の規定により報告します。

令和8年5月28日

吹田市長 後藤 圭二

# 令和8年度(2026年度) 吹田市健康づくり推進事業団 事業計画

## 【事業実施の方針】

事業団は、健康の大切さを広く市民に発信していくとともに、市民の主体的で継続的な健康づくりの取組を支援していきます。令和8年度においても引き続き、吹田市、医療保健関係団体、福祉関係団体、体育関係団体等との連携のもと、市民のライフステージに応じた健康づくり事業を実施します。

大型のイベントとして、医療保健関係団体をはじめとした各種団体の専門的知識による測定・相談・指導・情報の発信等を集結した「みんなの健康展」と、地域スポーツ関係団体を始めとして、大学や高校、企業の協力による、運動と健康啓発を組み合わせ「チャレンジDAY」を開催することで、市民が楽しみながら健康に触れ・知り・体験する機会を提供します。

また、「健康まちづくり支援事業」では、商店街の活性化やまちの賑わいを目的としてイベントを開催する事業者や団体、また公園等の指定管理者との繋がりを強固なものにしていくとともに、新たな民間企業との連携体制を構築し、身近な場所でさまざまな健康情報に触れる機会を提供します。さらに、公園等で誰もが気軽に参加できる講習会を開催するとともに、地域で活動する団体等からの健康づくりに関する相談や依頼に応じることで、地域住民の自主的な健康づくりを支援しながら地域との関係をさらに深めていきます。

吹田市が「健康・医療のまちづくり」として取り組んでいる健都との関わりについては、吹田市及び健都共創推進機構等と連携しながら、大型イベントの場を活用して実証事業を実施するとともに、健都で創出された新たな知見・サービスを各地域で享受できるよう人・場・情報をつなぐ取組を進めていきます。

### 1. みんなの健康展

医療・保健を通して、市民の健康づくりの意識向上を図り、市民に親しまれる市民参加型の啓発イベントとして親子連れなど、若い世代をはじめ、より多くの世代が参加する取組となるよう、医療三師会をはじめ、保健関係団体等との協力により「みんなの健康展実行委員会」を組織し、開催する。

開催予定日：9月5日（土）13：00から17：00まで

9月6日（日） 9：30から16：00まで

会 場：メイシアター（吹田市文化会館）

事業内容：市民の健康づくりへの啓発を目的に、統一テーマを設定し、医療団体等の参加団体による趣向を凝らした展示や催し等

## 2. 吹田市民健康づくりフェスティバル

2026 チャレンジ DAY ～みんなで体を動かそう～

家族で楽しく体を動かしながら、様々な健康に関する情報に触れることで、健康への意識が高まり、日常生活の中で健康づくりに取り組もうという気持ちを育むことを目的として、地域で健康づくりを推進する体育4団体を中心に、企業、学校、団体等の協力のもと開催する。

開催予定日：11月8日（日）

会 場：片山公園及び片山体育館

事業内容：主に親と子をターゲットとして、各種スポーツ体験に加え、食育、体力テスト、ミニ講座など、楽しみながら健康を意識できる内容を各団体や大学等に企画・運営してもらおう。

## 3. 健康づくり教室事業

生活習慣病を予防するためには、体を動かすことを習慣化することが重要である。専門的知識を有する指導者のもと、自分の年齢や体力に合った正しい運動強度や頻度等を把握し、継続して健康づくりに取り組んでもらうことを目的として、次の教室等を実施する。

### (1) ヘルストレーニング教室（自主事業）

ストレッチや筋力トレーニングを主体に、ジョギングなどの有酸素運動を組み合わせたプログラムを実施する。

対象者 中学生以下を除く

定 員 35名

回 数 週2回 月曜日及び木曜日

時 間 18:00から19:30まで

18:45から20:15までの2部制

会 場 片山市民プールトレーニング室

### (2) レディースヘルストレーニング教室（自主事業）

女性の年齢による身体の変化を意識し、筋力トレーニングやストレッチを主体に、軽いジョギングなどの有酸素運動を組み合わせたプログラムを実施する。

対象者 中学生以下を除く（女性のみ）

定 員 50名

回 数 週2回 水曜日及び金曜日

時 間 10:00から11:30まで

会 場 片山市民プールトレーニング室

(3) シェイプアップ体操教室（自主事業）

軽快なリズムに乗って楽しく体を動かす有酸素運動と、リラクゼーションを目的としたストレッチを組み合わせたプログラムを実施する。

対象者 中学生以下を除く  
定員 40名  
回数 週1回 水曜日  
時間 13:30から15:00まで  
会場 片山市民プールトレーニング室

(4) ヘルシーウォーキング教室（自主事業）

健康づくりに取り組みやすいウォーキングの基本を学ぶとともに、歩くために必要な筋力トレーニングやストレッチを組み合わせたプログラムを実施する。

対象者 中学生以下を除く  
定員 50名  
回数 週1回 火曜日（7・8・9月は休講）  
時間 9:30～11:00  
会場 総合運動場

(5) ウォーキング会員事業（自主事業）

生活習慣病予防などに効果があるウォーキングを日常生活の中で習慣化し、それをいつまでも継続していくために、足腰に負担の少ない正しい歩き方を実践するとともに、「筋力」、「バランス機能」及び「柔軟性」を高めることの必要性を理解してもらい、独自の目標達成に向けて1年間自分で積極的に身体づくりに取り組んでもらう。

年度当初に講演会と測定会を実施し、年度終わりに「達成証」を交付する。

年会費 500円

(6) 健康づくり実践教室（自主事業）

フタバボウルとの共催事業「ボウリングで健康づくり（ボウリング同好会）」

対象者 概ね55歳以上  
会場 関大前フタバボウル  
回数 週1回 火曜日（祝日を除く。）  
時間 10:00から12:00まで

#### 4. 健康まちづくり支援事業

駅前商店街や公園等で、事業者が開催するイベントにおいて、団体や企業、大学等と連携して健康に関する情報を発信するとともに、地域住民主体の活動を支援し、地域住民等の健康づくりの実践活動の促進に努める。

- 事業内容
- ①商店街やまちの賑わい創出を目的とする催しの場で健康情報を発信する。
  - ②地域における市民活動の場等において、健都関連企業をはじめ、事業団が有するネットワークを活用し、各種測定や相談、ワークショップ等、健康に触れ、知り、体験する機会を提供することにより、地域住民等が主体的に健康づくりの取組を継続できるように支援する。
  - ③市内各地域で健康づくりにかかる事業を展開し、また、地域団体等からの依頼等に応じて実践指導等を行うことにより、地域住民等の健康意識の高揚と健康づくり活動の充実にむけて支援する。
  - ④ヘルスケア関連企業と連携してテーマを定めた対話型の講座を開催し、生活に密着したヘルスケアの取組を啓発することで、幅広く健康管理について考える機会を提供する。
  - ⑤健都関連企業等と連携し、測定による体の変化を確認しながら自分に適した健康づくりを自らが考え実行できるよう支援していく。

実施期間 通年

#### 5. 健康情報の収集と提供

市民の健康づくりへの動機づけを促すとともに、個人に適した健康づくりの方法等について、適切な情報を提供するため、情報誌やパンフレット等を発行する。

##### (1) 情報誌「健康すいた」の市内全戸配布

回数 年1回発行

作成部数 8ページ 約195,000部

##### (2) 健康パンフレット等の配布

ア 「日本列島縦断に挑戦」

イ 「健康ウォーキングガイド」

ウ 「吹田さんちのお買い物便利帳」

##### (3) その他

ア HPやInstagramによる事業案内や健康づくりに関する情報の発信

イ 事業ごとのパンフレット、ポスター、チラシ等の配布

#### 6. 健康づくり調査研究

##### (1) 健康づくり事業の進め方について調査研究

##### (2) その他

## 7. 研修

健康づくりを楽しく安全にすすめるためには、一人ひとりの健康状態や生活環境に応じた健康づくりを指導できる人材が必要であるため、教室等の指導者を健康運動指導士、健康運動実践指導者の登録更新認定講習会へ参加させ、一層の指導の充実と育成、研鑽を図る。

また、適切な団体の運営に向けて、公益法人協会等が開催する研修等に職員を参加させるとともに、内閣府公益法人が発行するメールマガジン等で法改正等の最新情報の収集に努める。

## 8. 賛助会員制度の普及及び会員の増員

団体及び個人の会員に対し、事業団への理解の増進を図るとともに、幅広く賛助会員加入の呼びかけを行う。

## 9. 関係団体との連携強化

- (1) 市内各大学等との連携
- (2) 住民主体の健康づくりの取組に向けた地域団体等との連携
- (3) 企業との連携
- (4) (一社)健都共創推進機構との連携
- (5) その他

令和8年度（2026年度）予算  
収支予算書（損益ベース）  
令和8年04月01日 から 令和9年03月31日 まで

単位(円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	合計
	健康づくり事業		
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	40,000	2,495,000	2,535,000
基本財産受取利息	40,000	2,495,000	2,535,000
特定資産運用益	0	0	0
特定資産受取利息	0	0	0
受取会費	117,000	117,000	234,000
団体賛助会員受取会費	110,000	110,000	220,000
個人賛助会員受取会費	7,000	7,000	14,000
事業収益	2,652,000	526,000	3,178,000
自主事業収益	2,652,000	526,000	3,178,000
ヘルストレーニング教室受講料	528,000	0	528,000
レディースヘルス教室受講料	1,152,000	0	1,152,000
シェイプアップ体操教室受講料	324,000	309,000	633,000
ヘルシーウォーキング教室受講料	458,000	217,000	675,000
ウォーキング会員登録料	50,000	0	50,000
健康づくり実践教室参加料	140,000	0	140,000
受取吹田市補助金等	32,263,000	0	32,263,000
吹田市健康づくり活動推進事業補助金	32,263,000	0	32,263,000
雑収益	0	0	0
受取広告料	0	0	0
経常収益計	35,072,000	3,138,000	38,210,000

科 目	公益目的事業会計	法人会計	合計
	健康づくり事業		
(2) 経常費用			
事業費	38,247,000	0	38,247,000
役員報酬	0	0	0
給料手当	19,882,000	0	19,882,000
臨時雇賃金	76,000	0	76,000
福利厚生費	3,325,000	0	3,325,000
賞与引当金繰入額	1,013,000	0	1,013,000
旅費交通費	54,000	0	54,000
通信運搬費	371,000	0	371,000
消耗什器備品費	400,000	0	400,000
消耗品費	538,000	0	538,000
印刷製本費	1,969,000	0	1,969,000
燃料費	68,000	0	68,000
賃借料	2,026,000	0	2,026,000
保険料	192,000	0	192,000
諸謝金	3,035,000	0	3,035,000
支払手数料	136,000	0	136,000
租税公課	27,000	0	27,000
支払負担金	2,413,000	0	2,413,000
委託費	2,722,000	0	2,722,000
管理費	0	2,990,000	2,990,000
役員報酬	0	891,000	891,000
給料手当	0	614,000	614,000
福利厚生費	0	102,000	102,000
賞与引当金繰入額	0	31,000	31,000
会議費	0	0	0
旅費交通費	0	25,000	25,000
通信運搬費	0	94,000	94,000
消耗品費	0	38,000	38,000
印刷製本費	0	11,000	11,000
燃料費	0	15,000	15,000
光熱水料費	0	150,000	150,000
賃借料	0	220,000	220,000
保険料	0	50,000	50,000
諸謝金	0	453,000	453,000
支払手数料	0	40,000	40,000
租税公課	0	26,000	26,000
支払負担金	0	150,000	150,000
委託費	0	50,000	50,000
支払広告料	0	0	0
雑費	0	30,000	30,000
経常費用計	38,247,000	2,990,000	41,237,000
当期経常増減額	△3,175,000	148,000	△3,027,000

科 目	公益目的事業会計	法人会計	合計
	健康づくり事業		
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△3,175,000	148,000	△3,027,000
一般正味財産期首残高	16,155,000	3,872,000	20,027,000
一般正味財産期末残高	12,980,000	4,020,000	17,000,000
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	200,000,000	200,000,000
指定正味財産期末残高	0	200,000,000	200,000,000
III 正味財産期末残高	12,980,000	204,020,000	217,000,000

**令和7年度(2025年度)**  
**吹田市健康づくり推進事業団 事業報告**

1. みんなの健康展

【目標】

参加した市民が健康について考えることのできる機会となるよう、実行委員会を構成する各団体の企画により、幅広い年齢の市民に対し、健康への関心が高まるようなプログラムを提供する。

【概要】

- 開催日 令和7年9月6日(土)、7日(日)
- 会場 吹田市文化会館(メイシアター)中ホール、小ホール、展示室 ほか
- メインテーマ 「楽しもう!こころとからだの健康づくり」
  - 〈1日目〉9月6日(土)
    - ・開会式(中ホール)
    - ・中学校吹奏楽部演奏(中ホール)
    - ・ブース展示(22団体)(1階ロビー、集会室、展示室、第2練習室、中ホールホワイエ)
  - 〈2日目〉9月7日(日)
    - ・ブース展示(22団体)(1階ロビー、集会室、展示室、第2練習室、中ホールホワイエ)
    - ・絵本と音楽のコンサート(小ホール)
    - ・イベントステージ(小ホール)
    - ・キッズダンス(中ホール)
    - ・消防音楽隊演奏(中ホール)
    - ・講演会(中ホール) 参加人数 262人  
テーマ 「共生社会における認知症ケアの新時代」  
講師 大阪大学大学院医学系研究科  
精神医学教室 教授 池田 学 氏
    - ・「吹田市高齢者よい歯のコンクール」「むし歯予防ポスター・作文表彰式」  
(レセプションホール)
    - ・救命講習会(レセプションホール)
    - ・お楽しみコーナー(ピククルボール体験・ミニ縁日・キッチンカー)(いずみの園公園)
- 実行委員会
  - ・医師会 ・歯科医師会 ・薬剤師会 ・鍼灸師会 ・栄養士会 ・臨床検査技師会
  - ・看護協会 ・社会福祉協議会 ・母子会 ・母親大会連絡会 ・歯科衛生士会
  - ・歯科技工士会 ・ホスピス市民塾 ・助産師会 ・理学療法士会 ・千里金蘭大学
  - ・消防本部 ・高齢福祉室 ・健康まちづくり室 ・健都共創推進機構 ・吹田市保健所
  - ・成人保健課
- 参加人数 2,117人(昨年度 1,427人)

【成果と課題】

- 多くの世代の参加を促すことを目標の一つとしており、新たに中学校吹奏楽部の演奏、絵本と音楽のコンサートを取り入れ、昨年度に引き続きキッズダンスを実施したことにより、若い世代の参加が得られた。今後は、コンサート等の参加者が、より多くのブースを訪れるための仕組みの構築が必要である。
- メイシアターの館内だけではなく、いずみの園公園でピククルボール体験会やミニ縁日を新たに実施したことで、多くの子供の参加があり、事業全体の参加者数は昨年度から増加した。引き続き、周知方法などを工夫しながら、多くの世代の参加を促す必要がある。

2. 吹田市民健康づくりフェスティバル

【目標】

家族で楽しく体を動かしながら、健康に関する様々な情報に触れる機会を提供することで、健康への意識を高め、日常生活の中で健康づくりに取り組もうという気持ちを育むことを目的として、地域で健康づくりを推進する体育4団体を中心に、企業、学校、団体等の協力のもと開催する。

【概要】

2025チャレンジDAY

- 開催日 令和7年11月16日（日）
- 会場 千里北公園
- 参加人数 総数 546人（来場者 401人、スタッフ145人）  
（昨年度：総数 1,201人（来場者 948人、スタッフ253人））
- 種目・参加人数

種目	参加人数	種目	参加人数
親子ジョギング	60人	輪投げ	387人
シャトルゴルフ	322人	楽しくダンス	—
ダブルダッチ	—	サッと食事診断	192人
キックターゲット	351人	ミニ健康講座	128人
親子で体力測定	246人	健康チェック	86人
親子で運動あそび	32人	親子で丸太切り	213人
ヘキサスロン	32人	わくわくクイズ	191人
ストラックアウト	430人	わくわくサーキット	336人
モルック	476人		
合 計		(延べ参加人数)	3,482人

(昨年度：7,377人)

### 【成果と課題】

- 当初の開催予定日が雨天により延期となったことや、他イベントと開催日が重なったこともあり、参加者数が前年度から大幅に減少した。
- 健康についてあまり意識をしない世代のうち、特に子育て世代にターゲットを絞り企画を行ったが、参加者のうち、大人と子供の割合や、初回参加とリピーターの割合については、大きな変動はなかった。引き続き、新たな参加者確保に向けた企画内容や広報の見直しを進めるとともに、雨天時の対応も踏まえた開催方法について検討を進める必要がある。

## 3. 健康づくり教室事業

### 【目標】

健康増進、体力づくりの各種教室や健康づくり啓発のための講座等を実施し、自分自身の健康のために日常生活を改善し、実践する市民の増加を図る。

### 【概要】

#### (1) ヘルストレーニング教室（自主事業）

- 開催日 令和7年4月から令和8年3月まで  
週2回 月曜日及び木曜日  
18:00から19:30まで及び18:45から20:15までの2部制
- 会場 片山市民プール トレーニング室
- 対象者 中学生以下を除く
- 平均参加人数 16人/1回 延1,408人/90回開催  
(昨年度:15人/1回 延1,348人/91回開催)

#### (2) レディースヘルストレーニング教室（自主事業）

- 開催日 令和7年4月から令和8年3月まで  
週2回 水曜日及び金曜日  
10:00から11:30まで
- 会場 片山市民プール トレーニング室
- 対象者 中学生以下を除く女性
- 平均参加人数 33人/1回 延3,271人/98回開催  
(昨年度:28人/1回 延2,787人/98回開催)

#### (3) シェイプアップ体操教室（自主事業）

- 開催日 令和7年4月から令和8年3月まで  
週1回 水曜日  
13:30から15:00まで
- 会場 片山市民プール トレーニング室
- 対象者 中学生以下を除く
- 平均参加人数 23人/1回 延1,146人/49回開催  
(昨年度:20人/1回 延1,005人/50回開催)

#### (4) ヘルシーウォーキング教室（自主事業）

- 開催日 令和7年4月から令和8年3月まで（7・8・9月は休講）  
週1回 火曜日  
9:30から11:00まで
- 会場 総合運動場
- 対象者 中学生以下を除く
- 平均参加人数 36人/1回 延1,309人/36回開催  
(昨年度:39人/1回 延1,591人/41回開催)

(5) ウォーキング会員事業（自主事業）

- 実施期間 令和7年4月から令和8年3月まで
- 対象者 吹田市民（中学生以下を除く）  
\*自身で設定した目標の達成者に「達成証」と「記念品」を進呈  
\*歩行測定会を1回、講座を2回実施
- 登録者数 92人（昨年度：100人）

(6) 健康づくり実践教室（自主事業）

フタバボウルとの共催事業「ボウリングで健康づくり」  
ボウリング同好会

- 開催日 毎週火曜日（祝日を除く） 10：00から12：00まで
- 会場 関大前フタバボウル
- 平均参加人数 10人/1回 延500人/50回  
（昨年度：9人/1回 延462人/50回開催）

#### 4. 健康まちづくり支援事業

##### 【目標】

駅前商店街や公園等で開催されるイベントにおいて、企業や大学等と連携して健康に関する情報を発信するとともに、地域の実情に即した住民による自主的な健康づくりを推進する。

(1) 健康づくりカフェ

アルフレッサヘルスケア（株）と協力し、毎回異なるテーマを設定し、楽しみながら健康と向き合うきっかけをつくとともに、運動等を取り入れながら健康意識を高める交流型のイベントを実施。

○ 開催日

- ①7月16日（水）・②10月23日（木）・③1月28日（水）

○ 開催場所、内容及び参加人数

- ①7月16日（水）  
千里山コミュニティセンター  
・椅子に座ってできる簡単な筋トレやストレッチ（30人）  
レッチ体操の実践指導  
・健康茶の試飲体験  
・野菜摂取量測定  
協力：山本漢方製薬（株）
- ②10月23日（木）  
メイシアター  
・呼吸と体の使い方の解説を交えた実践運動（25人）  
・免疫を知る講座、発酵食品の試飲・試食体験  
・野菜摂取量測定  
協力：（株）ヤクルト  
万田発酵（株）
- ③1月28日（水）  
エア・ウォーター健都  
・呼吸の重要性と肺機能をよくするための呼吸法の解説を交えた実践運動（33人）  
・冷えを知り、温め、整え、試食体験  
協力：養命酒製造（株）  
エア・ウォーター（株）

(2) 健康づくり講座（ピラティスから学ぶ呼吸とからだの使い方）

ピラティスのメソッドを使って、大きな呼吸の仕方や正しいからだの使い方について解説を交えて実践指導を2回コースで実施。

○ 開催日及び場所

- ① 11月17日（月）・12月1日（月） 千里市民センター
- ② 2月12日（木）・19日（木） 千里山コミュニティセンター

○ 参加人数

11月17日（月）	20人	12月1日（月）	17人
2月12日（木）	26人	2月19日（木）	24人

(3) 健康づくり講座（からだを動かそう）

運動不足や栄養の偏りといった不健康な生活習慣が問題となっており、椅子に座ってできる筋力トレーニングやストレッチ等の簡単な健康体操を実践指導するとともに、食事バランスについても意識することで、心身の健康づくりを目指して実施。

○ 開催日、開催場所及び参加人数

5月30日（金）	千里市民センター	(26人)
6月18日（水）	豊一市民センター	(15人)
7月25日（金）	千一コミュニティセンター	(16人)
8月25日（月）	千里山コミュニティセンター	(32人)
11月28日（金）	岸部市民センター	(6人)
12月17日（水）	千里丘市民センター	(11人)
1月19日（月）	山田ふれあい文化センター	(13人)

(4) ウォーキング講習会（公園で歩こう）

手軽で効果的な健康の維持増進に役立つウォーキングに加えて、筋力トレーニング等も取り入れ、いつまでも元気に歩くことができる体づくりを目指し実施。

○ 開催日、開催場所及び参加人数

4月18日（金）	片山公園	(14人)
5月16日（金）	千里南公園	(26人)
6月20日（金）	片山公園	(6人)
9月19日（金）	千里南公園	(16人)
10月17日（金）	片山公園	(6人)
11月21日（金）	千里南公園	(17人)
12月19日（金）	片山公園	(16人)
3月13日（金）	千里南公園	(22人)

(5) ディオス北千里「マルシェ+（プラス）」

2か月に1回開催される「ディオス北千里マルシェ+（プラス）」において、買い物に来た人をターゲットとして、大学や健康関連団体等と協力して健康の啓発を実施。

○ 開催日 5月3日（土）・6月14日（土）・8月23日（土）12月20日（土）

○ 場所 ディオス北千里駅前広場

○ 内容及び参加人数

① 5月3日（土）	ウォーキングナビによる歩き方測定	(51人)
② 6月14日（土）	ウォーキングナビによる歩き方測定	(32人)
③ 8月23日（土）	ウォーキングナビによる歩き方測定	(14人)
④ 12月20日（土）	ウォーキングナビによる歩き方測定	(32人)

(6) ビレッジマート吹田

月1回開催される、じゃない吹田主催の「ビレッジマート吹田」に来場された方を対象として、健康関連団体等と協力して健康の啓発を実施。

○ 開催日 10月5日(日)・12月7日(日)

○ 場所 JR吹田駅前さんくす夢広場

○ 内容及び参加人数

10月5日(日)	吹田地区栄養士会	カルシウムチェックと栄養相談	(54人)
	(株)育星会	糖化度測定	(57人)
	事業団	握力測定	(37人)
12月7日(日)	吹田地区栄養士会	カルシウムチェックと栄養相談	(82人)
	(株)育星会	糖化度測定	(67人)
	ヤサカ商事(株)	骨密度測定	(76人)

(7) Well Being E S A K A

月1回開催されるグリーンホスピタルサプライ江坂公園主催の「Well Being E S A K A」に来場された方を対象として、健康関連団体と協力して5月24日(土)に健康の啓発を予定していたが、雨天のため中止。

○ 場所 江坂公園

○ 協力団体 吹田地区栄養士会、(一社)健都共創推進機構、明治安田(相)、ヤサカ商事(株)

(8) 北千里地域交流研究会での情報収集及び情報発信

近畿大学、ディオス北千里専門店会、千里金蘭大学、茨木商工会議所、各種市民活動団体等のニュータウンのまちづくりに意欲のある団体・個人が参加し、意見・情報の交換を実施

○ 開催日時 2か月に1回 19:00から21:00まで

○ 場所 まちなかりビング北千里

○ 参加人数 15人から20人まで

(9) 大阪府立北千里高等学校(総合的な探究学習)

設定されたテーマについて、生徒が掘り下げて調査しまとめて発表するというカリキュラム。今年度は、「SDGs×まちづくり」がテーマであり、生徒の取組に対して助言等を実施。

○ 開催日 11月27日(木)

○ 場所 大阪府立北千里高等学校

(10) 関大みらい～ねフェスタ(同時開催 吹田みらいキャンパス祭)

2025年4月開設の関西大学吹田みらいキャンパスの地域住民とともに楽しむイベントに参加し、(一社)健都共創推進機構、明治安田生命(相)と健康啓発を実施。

○ 開催日 10月25日(土)

○ 場所 関西大学吹田みらいキャンパス

○ 企画 ウォーキングナビによる歩行測定

○ 参加人数 88名

(11) 北摂未来ライオンズフェス2025

北摂未来ライオンズクラブ主催の「はたらくってうれしい!」を感じてもらうイベントに参加し、来場の子どもやその保護者へ楽しく遊びながら健康啓発を実施。

○ 開催日 10月19日(日)

○ 場所 千里南公園

○ 企画 その場足踏み及び子どもロコモ測定

○ 参加人数 98名

(12)江坂公園指定管理者（グリーンホスピタルサプライ江坂公園）との共催事業

- 開催日 7月18日（金）10：15から11：30まで
- 会場 江坂図書館 多目的室1
- 内容及び参加人数  
7月18日（金） ピラティスから学ぶ、呼吸とからだの使い方 （13人）

(13) 桃山公園指定管理者（グリーンホスピタルサプライ桃山公園）との共催事業

- 開催日 10月20日（月）10：00から11：30まで
- 内容及び参加人数  
10月20日（月） 呼吸とからだの使い方 （5人）

- 開催日 2月18日（水）、3月7日（土）、3月21日（土）  
10：00～11：30
- 企画 歩き方講習会「ウォーキングと体の使い方」
- 参加人数 11人

(14) 健康づくり実践指導

地域活動団体からの依頼等に応じて、ピラティスをはじめとする健康づくりの実践的な指導等を行うことにより、住民が主体的に健康づくりの取組を継続できるように支援する。

① さくらc a f e「健康講座」での指導

- 開催日 4月から12月までの毎月原則第4木曜日  
月1回（計9回）
- 会場 さくらc a f e（旭通商店街）
- 平均参加人数 5人/1回

② 南千里地区公民館体操教室での指導

- 開催日 4月から毎月原則第2金曜日  
月1回（計12回）
- 会場 南千里地区公民館 視聴覚室
- 平均参加人数 32人/1回

③ 「ピンコロ会」での指導（千里丘東・佐井寺地域包括支援センターより依頼）

- 開催日 6月20日（金）
- 会場 佐井寺公民館
- 参加人数 16人

④ ボランティア連絡協議会研修講座

- 開催日 7月9日（水）
- 会場 総合福祉会館 集会室
- 参加人数 45人

⑤ 内本町コミュニティセンターでの指導

- 開催日 7月31日（木）
- 会場 内本町コミュニティセンター
- 参加人数 20人

⑥吹一公民館での指導

- 開催日 9月22日(月)
- 会場 吹一地区公民館
- 参加人数 15人

⑦公益社吹田会館での指導

- 開催日 11月30日(日)
- 会場 公益社吹田会館
- 参加人数 8人

⑧社会福祉協議会介護支援サポーターフォローアップ研修

- 開催日 2月26日(木)・27日(金)
- 会場 保健センター 研修室
- 参加人数 48人

⑨社会福祉協議会・ボランティア連絡協議会・大和大学連携研修講座

- 開催日 3月16日(月)
- 会場 大和大学及び片山公園周辺
- 参加人数 24人

【成果と課題】

- 「健康づくりカフェ」は、ヘルスケア企業との協力により、今年度新たに立ち上げた事業であり、テーマに応じて様々な企業に協力いただくことで、企業の知見等を活用しながら効果的に健康意識の向上を図ることができている。
- 健康づくり講座(ピラティスから学ぶ呼吸とからだの使い方)は、若いうちから正しい体の使い方を知ってもらうことを目的としており、他の講座と比較して若年層の参加が多く、募集開始直後より定員に達する応募がある。
- 健康のためには体を動かすだけでなく毎日の食事も重要であることから、健康づくり講座(からだを動かそう)をはじめとし、吹田地区栄養士会や企業等の協力を得ながら運動と食育の両面からの支援に取り組んでいる。
- 今後は、各地域における主体的な健康づくりの活動の定着を図るため、団体への事業の引き継ぎや、住民主体のサークルづくりの支援等を進めていく必要がある。

5. 健康情報の収集と提供

【目標】

市民一人ひとりが健康を意識した取組を続けるために、健康に関する情報を発信する。

【概要】

- (1) 情報紙「健康すいた」の市内全戸配布
  - 発行回数 年1回(8月1日)
  - 配布部数 8ページ 192,799部
- (2) 健康パンフレット等の配布(事業参加者等)
  - 「日本列島縦断に挑戦」
  - 「健康ウォーキングガイド」
  - 「吹田さんちのお買い物便利帳」
- (3) その他
  - Instagramでの情報発信
  - 事業ごとのパンフレット、ポスター、チラシ等の配布
  - ホームページに各事業の案内・報告等を随時掲載
  - 吹田市公式LINE等を活用した情報発信

## 【成果と課題】

- ホームページからの発信に加え、Instagram を活用するなど、積極的に事業団の取組や健康づくりのための情報発信を実施した。

### 6. 健康づくり調査研究

健康づくり事業の進め方についての調査研究

- アルフレッサヘルスケア(株)主催のライフサポートフェアに参加し、民間企業や教育・研究機関等のニーズを調査し、健康づくりカフェの参考とした。

### 7. 研修

- インスタグラムフル活用セミナー 1名
- 基礎からわかる簿記入門 1名
- PSWORKS 新公益法人会計基準対応版説明会 3名
- 健康講習会「健康診断の結果から始める今日からの生活習慣改善術！」 1名
- 健康運動指導士講習会 1名

### 8. 賛助会員制度の普及及び会員

- 団体賛助会員 20団体
- 個人賛助会員 5名

### 9. 関係団体との連携強化

#### (1) 市内各大学等との連携

- 千里金蘭大学 みんなの健康展、健康まちづくり支援事業への参加協力
- 大和大学 チャレンジDAYでの大学企画健康講座協力及びボランティア協力
- 関西大学 チャレンジDAYでのダブルダッチの種目運営協力
- 大阪府立北千里高校 チャレンジDAYでの生徒企画の種目運営及びボランティア協力

#### (2) スポーツ推進委員会、社会体育リーダー協議会、体育協会等との連携

#### (3) 地域住民の健康づくりの取組に向けた地域団体や地域事業者等との連携

#### (4) (一社) 健都共創推進機構との連携

#### (5) その他

# 貸借対照表

令和08年03月31日 現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
普通預金	6,201,864	9,284,244	△3,082,380
未収金	5,000	0	5,000
前払金	280,920	283,950	△3,030
流動資産合計	6,487,784	9,568,194	△3,080,410
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産普通預金	1,369,269	1,453,531	△84,262
基本財産投資有価証券	215,630,731	215,546,469	84,262
基本財産合計	217,000,000	217,000,000	0
(2) 特定資産			
減価償却引当資産	3,160,193	3,160,193	0
固定資産購入引当資産	780,550	780,550	0
特定資産合計	3,940,743	3,940,743	0
(3) その他固定資産			
車輛運搬具	1	1	0
什器備品	87,148	87,148	0
電話加入権	74,984	74,984	0
リサイクル預託金	10,020	10,020	0
その他固定資産合計	172,153	172,153	0
固定資産合計	221,112,896	221,112,896	0
資産合計	227,600,680	230,681,090	△3,080,410
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	3,075,013	3,212,104	△137,091
前受金	834,300	742,700	91,600
預り金	476,357	489,497	△13,140
賞与引当金	1,058,000	814,000	244,000
流動負債合計	5,443,670	5,258,301	185,369
負債合計	5,443,670	5,258,301	185,369
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産	200,000,000	200,000,000	0
寄付金	200,000,000	200,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	(200,000,000)	(200,000,000)	(0)
2. 一般正味財産	22,157,010	25,422,789	△3,265,779
(うち基本財産への充当額)	(17,000,000)	(17,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(3,940,743)	(3,940,743)	(0)
正味財産合計	222,157,010	225,422,789	△3,265,779
負債及び正味財産合計	227,600,680	230,681,090	△3,080,410

# 正味財産増減計算書

令和07年04月01日 から 令和08年03月31日 まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	1,034,572	1,034,572	0
特定資産運用益	8,199	2,603	5,596
受取会費	199,000	230,000	△31,000
事業収益	2,771,333	2,740,800	30,533
受取補助金等	31,681,009	31,401,584	279,425
雑収益	132,069	88,257	43,812
経常収益計	35,826,182	35,497,816	328,366
(2) 経常費用			
各種事業費	36,549,184	35,773,868	775,316
管理費	2,245,777	2,229,224	16,553
経常費用計	38,794,961	38,003,092	791,869
当期経常増減額	△2,968,779	△2,505,276	△463,503
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△2,968,779	△2,505,276	△463,503
一般正味財産期首残高	25,422,789	27,928,065	△2,505,276
一般正味財産期末残高	22,454,010	25,422,789	△2,968,779
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	200,000,000	200,000,000	0
指定正味財産期末残高	200,000,000	200,000,000	0
III 正味財産期末残高	222,454,010	225,422,789	△2,968,779

# 正味財産増減計算書内訳表

令和07年04月01日 から 令和08年03月31日 まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引等消去	合計
	公益事業			
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	7,310	1,027,262	0	1,034,572
基本財産受取利息	7,310	1,027,262	0	1,034,572
特定資産運用益	0	8,199	0	8,199
特定資産受取利息	0	8,199	0	8,199
受取会費	99,500	99,500	0	199,000
団体賛助会員受取会費	92,500	92,500	0	185,000
個人賛助会員受取会費	7,000	7,000	0	14,000
事業収益	2,603,333	168,000	0	2,771,333
自主事業収益	2,603,333	168,000	0	2,771,333
ヘルストレーニング教室受講料	522,000	0	0	522,000
レディースヘルス教室受講料	1,136,000	0	0	1,136,000
シェイプアップ体操教室受講料	410,333	103,000	0	513,333
ヘルシーウォーキング教室受講料	469,000	65,000	0	534,000
ウォーキング会員登録料	46,000	0	0	46,000
健康づくり実践教室参加料	20,000	0	0	20,000
受取補助金等	31,681,009	0	0	31,681,009
受取吹田市補助金	31,681,009	0	0	31,681,009
雑収益	119,210	12,859	0	132,069
受取利息	0	2,239	0	2,239
雑収益	119,210	10,620	0	129,830
経常収益計	34,510,362	1,315,820	0	35,826,182
(2) 経常費用				
各種事業費	36,549,184	0	0	36,549,184
役員報酬	2,979,612	0	0	2,979,612
給料手当	16,505,401	0	0	16,505,401
臨時雇賃金	25,066	0	0	25,066
福利厚生費	3,525,306	0	0	3,525,306
賞与引当金繰入額	1,027,000	0	0	1,027,000
旅費交通費	20,760	0	0	20,760
通信運搬費	293,833	0	0	293,833
消耗什器備品費	40,870	0	0	40,870
消耗品費	307,307	0	0	307,307
印刷製本費	1,825,182	0	0	1,825,182
燃料費	34,846	0	0	34,846
賃借料	2,147,679	0	0	2,147,679
保険料	172,450	0	0	172,450
諸謝金	2,754,020	0	0	2,754,020
手数料	127,230	0	0	127,230
租税公課	14,500	0	0	14,500
支払負担金	2,215,950	0	0	2,215,950
委託費	2,532,172	0	0	2,532,172

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引等消去	合計
	公益事業			
管理費	0	2,245,777	0	2,245,777
役員報酬	0	570,948	0	570,948
給料手当	0	510,873	0	510,873
福利厚生費	0	111,494	0	111,494
賞与引当金繰入額	0	31,000	0	31,000
旅費交通費	0	5,420	0	5,420
通信運搬費	0	50,984	0	50,984
消耗品費	0	14,657	0	14,657
印刷製本費	0	1,194	0	1,194
光熱水料費	0	118,520	0	118,520
賃借料	0	331,575	0	331,575
保険料	0	48,750	0	48,750
諸謝金	0	275,000	0	275,000
支払手数料	0	27,562	0	27,562
租税公課	0	17,200	0	17,200
支払負担金	0	130,600	0	130,600
経常費用計	36,549,184	2,245,777	0	38,794,961
当期経常増減額	△2,038,822	△929,957	0	△2,968,779
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△2,038,822	△929,957	0	△2,968,779
一般正味財産期首残高	19,663,483	5,759,306	0	25,422,789
一般正味財産期末残高	17,624,661	4,829,349	0	22,454,010
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	200,000,000	0	200,000,000
指定正味財産期末残高	0	200,000,000	0	200,000,000
III 正味財産期末残高	17,624,661	204,829,349	0	222,454,010

## 財務諸表に対する注記

### 1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券・・・償却原価法(定額法)によっている。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

該当ありません。

(3) 固定資産の減価償却の方法

車輛運搬具・・・・・・・・・・新定額法によっている。

什器備品(食育SATシステム)・・・・・・・・新定額法によっている。

什器備品(上記以外)・・・・・・・・旧定額法によっている。

(4) 引当金の計上基準

賞与引当金

職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。

(5) 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税込方式によっている。

### 2. 会計方針の変更

変更ありません。

### 3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
普通預金	1,453,531	0	84,262	1,369,269
投資有価証券	215,546,469	84,262	0	215,630,731
小 計	217,000,000	84,262	84,262	217,000,000
特定資産				
減価償却引当資産	3,160,193	0	0	3,160,193
固定資産購入引当資産	780,550	0	0	780,550
小 計	3,940,743	0	0	3,940,743
合 計	220,940,743	84,262	84,262	220,940,743

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
普通預金	1,369,269	(1,369,269)	(0)	—
投資有価証券	215,630,731	(198,630,731)	(17,000,000)	—
小 計	217,000,000	(200,000,000)	(17,000,000)	—
特定資産				
減価償却引当資産	3,160,193	(0)	(3,160,193)	(0)
固定資産購入引当資産	780,550	(0)	(780,550)	(0)
小 計	3,940,743	(0)	(3,940,743)	(0)
合 計	220,940,743	(200,000,000)	(20,940,743)	(0)

5. 担保に供している資産

該当ありません。

6. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
車輛運搬具	1,687,910	1,687,909	1
什器備品(プロジェクター)	232,050	208,845	23,205
什器備品(自動体外式除細動器)	309,750	278,776	30,974
什器備品(自動体外式除細動器)	329,700	296,732	32,968
什器備品(食育SATシステム)	2,887,596	2,887,595	1
什器備品計	3,759,096	3,671,948	87,148
電話加入権	74,984	0	74,984
リサイクル預託金	10,020	0	10,020
合 計	5,532,010	5,359,857	172,153

7. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高

該当ありません。

8. 保証債務等の偶発債務

該当ありません。

9. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位:円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時 価	評価損益
第181回利付国庫債券	98,630,731	72,830,000	△ 25,800,731
第409回大阪府公募公債	117,000,000	116,737,686	△ 262,314
合 計	215,630,731	189,567,686	△ 26,063,045

10. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
受取補助金等					
受取吹田市補助金	吹田市	0	31,681,009	31,681,009	0
合 計		0	31,681,009	31,681,009	0

11. 基金及び代替基金の増減額及びその残高

該当ありません。

12. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

該当ありません。

13. 関連当事者との取引の内容

該当ありません。

14. 重要な後発事象

該当ありません。

## 貸借対照表及び損益計算書の附属明細書

### (1) 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表の注記に記載

### (2) 引当金の明細書

(単位：円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	814,000	1,058,000	814,000	0	1,058,000

# 財 産 目 録

令和8年3月31日 現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
<b>(流動資産)</b>				
	現金預金	普通預金 三菱UFJ銀行吹田支店	運転資金として	671,246
		普通預金 りそな銀行吹田支店	運転資金として	5,212,889
		普通預金 北おおさか信用金庫吹田支店	運転資金として	317,729
	未収金		令和7年度の収入の未収分	5,000
	前払金		令和7年度の費用の前払分	280,920
<b>流動資産合計</b>				<b>6,487,784</b>
<b>(固定資産)</b>				
基本財産	預金	普通預金 りそな銀行吹田支店	法人の管理運営に使用している	1,369,269
	投資有価証券	国債 第181回利付国債	法人の管理運営に使用している	98,630,731
特定資産	減価償却引当資産	公債 第409回大阪府公募公債	法人の管理運営に使用している	100,000,000
		公債 第409回大阪府公募公債	公益目的の保有財産であり各種事業に使用している	17,000,000
	固定資産購入引当資産	普通預金 北おおさか信用金庫吹田支店	固定資産の購入のため積み立てている	780,550
その他固定資産	車輛運搬具	車輛 1台	公益目的の保有財産であり各種事業に使用している	1
	什器備品	プロジェクター	公益目的の保有財産であり各種事業に使用している	23,205
		自動体外式除細動器 2台	公益目的の保有財産であり各種事業に使用している	63,942
	食育SATシステム		公益目的の保有財産であり各種事業に使用している	1
	電話加入権		公益目的の保有財産であり各種事業に使用している	74,984
	リサイクル預託金	リサイクル預託金	車輛のリサイクル預託金	10,020
<b>固定資産合計</b>				<b>221,112,896</b>
<b>資産合計</b>				<b>227,600,680</b>
<b>(流動負債)</b>				
	未払金		令和7年度の費用等の未払分	3,075,013
	前受金		令和8年度を受講料の前受分	834,300
	預り金		社会保険料等の預り分	476,357
	賞与引当金		令和7年度賞与の引当金	1,058,000
<b>流動負債合計</b>				<b>5,443,670</b>
<b>(固定負債)</b>				—
<b>固定負債合計</b>				—
<b>負債合計</b>				<b>5,443,670</b>
<b>正味財産</b>				<b>222,157,010</b>

## 独立監査人の監査報告書

令和8年4月13日

公益財団法人吹田市健康づくり推進事業団  
理事長 三 谷 一 裕 殿

辻本公認会計士事務所  
大阪府大阪市  
公認会計士 辻本敏行

### <財務諸表等監査>

#### 監査意見

私は、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第23条の規定に基づき、公益財団法人吹田市健康づくり推進事業団の令和7年4月1日から令和8年3月31日までの事業年度の貸借対照表、損益計算書(公益認定等ガイドラインI-5(1)の定めによる「正味財産増減計算書」をいう。)及び財務諸表に対する注記並びに附属明細書について監査し、あわせて、貸借対照表内訳表及び正味財産増減計算書内訳表(以下、これらの監査の対象書類を「財務諸表等」という。)について監査を行った。

私は、上記の財務諸表等が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して、当該財務諸表等に係る期間の財産、損益(正味財産増減)の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

#### 監査意見の根拠

私は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における私の責任は、「財務諸表等の監査における監査人の責任」に記載されている。私は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、法人から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。私は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

#### その他の記載内容

その他の記載内容は、事業報告及びその附属明細書並びに財産目録のうち意見の対象とされていない部分である。理事者の責任は、その他の記載内容を作成し開示することにある。また、監事の責任は、その他の記載内容の報告プロセスの整備及び運用における理事の職務の執行を監視することにある。

私の財務諸表等に対する監査意見の対象にはその他の記載内容は含まれておらず、私はその他の記載内容に対して意見を表明するものではない。

財務諸表等の監査における私の責任は、その他の記載内容を通読し、通読の過程において、その他の記載内容と財務諸表等又は私が監査の過程で得た知識との間に重要な相違があるかどうか検討すること、また、そのような重要な相違以外にその他の記載内容に重要な誤りの兆候があるかどうか注意を払うことにある。

私は、実施した作業に基づき、その他の記載内容に重要な誤りがあると判断した場合には、その事

実を報告することが求められている。

その他の記載内容に関して、私が報告すべき事項はない。

#### 財務諸表等に対する理事者及び監事の責任

理事者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して財務諸表等を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表等を作成し適正に表示するために理事者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表等を作成するに当たり、理事者は、継続組織の前提に基づき財務諸表等を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に基づいて継続組織に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監事の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における理事の職務の執行を監視することにある。

#### 財務諸表等の監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表等に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表等に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表等の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・ 財務諸表等の監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・ 理事者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに理事者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 理事者が継続組織を前提として財務諸表等を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続組織の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続組織の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表等の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表等の注記事項が適切でない場合は、財務諸表等に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、法人は継続組織として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 財務諸表等の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計

の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表等の表示、構成及び内容、並びに財務諸表等が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、監事に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

#### <財産目録に対する意見>

##### 財産目録に対する監査意見

私は、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第 23 条の規定に基づき、公益財団法人吹田市健康づくり推進事業団の令和 8 年 3 月 31 日現在の事業年度の財産目録（「貸借対照表科目」、「金額」及び「使用目的等」の欄に限る。以下同じ。）について監査を行った。

私は、上記の財産目録が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠しており、公益認定関係書類と整合して作成されているものと認める。

##### 財産目録に対する理事者及び監事の責任

理事者の責任は、財産目録を、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠するとともに、公益認定関係書類と整合して作成することにある。

監事の責任は、財産目録作成における理事の職務の執行を監視することにある。

##### 財産目録に対する監査における監査人の責任

監査人の責任は、財産目録が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠しており、公益認定関係書類と整合して作成されているかについて意見を表明することにある。

##### 利害関係

法人と私との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

## 監査報告書

令和8年4月14日

公益財団法人吹田市健康づくり推進事業団  
理事長 三谷 一裕 殿

監事 岡田 貴樹

監事 片桐 昭一

私たち監事は、公益財団法人吹田市健康づくり推進事業団定款第31条の規定に基づき、令和7年4月1日から令和8年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

### 1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

### 2 監査の結果

#### (1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。

#### (2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益（正味財産増減）の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以上



報告第8号

公益財団法人千里リサイクルプラザの経営状況について

公益財団法人千里リサイクルプラザの経営状況について、地方自治法第243条の3第2項の規定により報告します。

令和8年5月28日

吹田市長 後藤圭二

(1)

## 1 公益目的事業（公1）

廃棄物の発生抑制、再使用及び再生利用の促進により天然資源を守り、脱炭素社会を目指し、地球温暖化の防止等を含む循環型社会を構築・推進するなど、地球環境への配慮を視野に入れたよりよき生活環境を形成することは、私たちに課せられた責務といえます。

本法人は、人々が環境に配慮したライフスタイルを実践する中で環境保全が図られ促進されることを目指し、市民目線に立ち広く人々の参画を得て生活に密着した次の各事業を実施します。

### (1) 啓発・普及活動に関する事業

SDGs 17の目標の内“(12)つくる責任つかう責任”に軸足を置き、ごみを出さない「もの」づくりをめざして、廃棄物の発生抑制、再使用及び再生利用が人々の生活や社会の仕組みとして定着する循環型社会の構築に向け、ごみをはじめそれに係る環境・資源問題の啓発・普及活動として、次のような事業を行います。

- ア. 市民工房の運営（受託事業）
- イ. 視察・見学者の応対（受託事業）
- ウ. 環境活動動画コンテスト開催（受託事業）
- エ. 展示等に関する事業（受託・自主事業）
- オ. 市民・企業連携事業の実施（受託・自主事業）
- カ. イベントの開催（自主事業）
- キ. リユース食器に関する事業（自主事業）
- ク. プラザメイトに関する事業（自主事業）

### (2) 調査研究・情報提供に関する事業

SDGs 17の目標の内“(17) パートナリーシップで目標を達成しよう”に軸足を置き、循環型社会の構築とよりよき生活環境の形成を目指して、環境に配慮したライフスタイルに関する調査研究活動及び実践活動を展開・促進するため、また、本法人の活動内容等を広く市民に発信・公開するとともに、受発信による情報の蓄積や積極的活用のため、次のような事業を行います。

- ア. 市民研究所等による調査・研究及び実践活動（受託・自主事業）
- イ. 研究報告書の発行（自主事業）
- ウ. 機関紙「しみんけんきゅうニュース」の発行（自主事業）
- エ. 情報紙「くるくるプラザ」の発行（自主事業）
- オ. 情報の提供（自主事業）

### (3) 講演・講座の開催及び環境学習の支援に関する事業

SDGs 17の目標の内“(4)質の高い教育をみんなに”に軸足を置き、廃棄物の発生抑制、再利用及び再生利用や地球温暖化防止などに関する講演や講座を開催するとともに、団体等や学校からの依頼による環境出前講座を実施し、市民や児童・生徒等に対して環境問題に対する意識の向上を図り、啓発・普及させるため、次のような事業を行います。

- ア. くるくる環境フォーラムの開催（受託事業）
- イ. 入門講座の開催（自主事業）
- ウ. 研修講座の開催（自主事業）
- エ. 環境出前講座の実施（自主事業）
- オ. 環境学習発表会（動画の部・展示の部）の開催（自主事業）
- カ. 大学等インターンシップの支援（自主事業）

## 2 収益事業等（収1）

吹田市との基本協定に基づく受託事業のうち、吹田市資源リサイクルセンターに関する管理運営業務について、次のとおり実施します。

### (1) 施設の管理運営業務（受託事業）

- ア. 貸室の使用の許可・使用料の徴収及び施設HPの管理に関する業務
- イ. 施設のセンスアップの取組
- ウ. 建物部分及び貸与備品等の管理業務

## 3 管理事業（法人会計）

公益財団として今後の指定管理業務の受託継続に向け、環境分野に関する職員の知識向上やスキルアップを図るとともに、自主事業の充実による収入の確保を目指します。あわせて、その方策の研究に努めるとともに、財団運営に係る内部統制の強化に取り組みます。

### (1) 財団の管理運営業務（自主事業）

- ア. 財団と環境施設、大学との連携事業
- イ. 職員研修
- ウ. 財団名変更

# 収支予算書

令和08年04月01日 から 令和09年03月31日 まで

(全 体)

(単位：円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益(経常)	21,127,380	18,724,100	2,403,280
投資有価証券受取利息(経常)	21,120,000	18,720,000	2,400,000
預貯金受取利息(経常)	7,380	4,100	3,280
特定資産運用益	16,155	6,930	9,225
特定資産受取利息	16,155	6,930	9,225
会費収益	110,000	110,000	0
会員会費収益	110,000	110,000	0
事業収益	54,360,620	54,767,580	△406,960
吹田市受託事業収益	52,622,000	52,396,000	226,000
受講料収益	0	359,100	△359,100
工房成果品販売収益	633,600	723,800	△90,200
セカンド品販売収益	360,000	288,000	72,000
フリーマーケット出店手数料収益	235,200	246,000	△10,800
リユース食器貸出手数料収益	0	413,200	△413,200
リユース食器事業収益	240,000	0	240,000
その他事業収益	269,820	341,480	△71,660
雑収益	6,000	34,000	△28,000
雑収益	6,000	34,000	△28,000
経常収益計	75,620,155	73,642,610	1,977,545
(2) 経常費用			
事業費	56,061,068	55,386,914	674,154
給料手当	19,257,000	19,048,000	209,000
賞与	3,683,000	2,456,000	1,227,000
臨時雇賃金	7,552,672	7,573,768	△21,096
福利厚生費	4,331,841	4,047,326	284,515
賞与引当金繰入額	1,405,000	942,000	463,000
会議費	20,000	20,000	0
旅費交通費	1,962,110	2,040,190	△78,080
通信運搬費	408,370	456,725	△48,355
減価償却費	1,168,935	1,242,660	△73,725
消耗品費	2,623,020	2,254,497	368,523
修繕費	130,000	196,000	△66,000
印刷製本費	200,000	600,000	△400,000
光熱水料費	250,000	257,000	△7,000
使用料	192,600	180,840	11,760
賃借料	370,000	400,000	△30,000
支払手数料	8,120	8,120	0

(4)

# 収支予算書

令和08年04月01日 から 令和09年03月31日 まで

(全 体)

(単位：円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減
保険料	82,000	81,000	1,000
諸謝金	5,974,000	6,316,000	△342,000
租税公課	1,855,870	1,864,958	△9,088
支払負担金	252,000	72,000	180,000
広告宣伝費	600,000	440,000	160,000
委託費	3,729,530	4,884,830	△1,155,300
雑費	5,000	5,000	0
管理費	19,602,665	19,204,917	397,748
役員報酬	2,912,400	2,547,600	364,800
給料手当	8,744,121	9,199,142	△455,021
賞与	1,674,561	1,223,463	451,098
臨時雇賃金	54,116	28,256	25,860
福利厚生費	1,956,550	1,945,279	11,271
賞与引当金繰入額	640,000	427,000	213,000
旅費交通費	530,192	624,570	△94,378
通信運搬費	75,000	111,000	△36,000
減価償却費	240,400	240,400	0
消耗品費	176,410	245,410	△69,000
修繕費	20,000	20,000	0
燃料費	54,000	54,000	0
使用料	172,186	172,186	0
賃借料	282,384	282,384	0
支払手数料	136,430	142,612	△6,182
保険料	68,390	68,390	0
諸謝金	615,000	615,000	0
租税公課	585,900	593,600	△7,700
支払負担金	213,700	213,700	0
広告宣伝費	20,000	20,000	0
委託費	380,925	380,925	0
雑費	50,000	50,000	0
経常費用計	75,663,733	74,591,831	1,071,902
当期経常増減額	△43,578	△949,221	905,643
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△43,578	△949,221	905,643
一般正味財産期首残高	15,496,756	16,445,977	△949,221
一般正味財産期末残高	15,453,178	15,496,756	△43,578

(5)

# 収支予算書

令和08年04月01日 から 令和09年03月31日 まで

(全 体)

(単位：円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減
II 指定正味財産増減の部			
基本財産運用益(指定)	21,127,380	18,724,100	2,403,280
投資有価証券受取利息(指定)	21,120,000	18,720,000	2,400,000
預貯金受取利息(指定)	7,380	4,100	3,280
一般正味財産への振替	△21,127,380	△18,724,100	△2,403,280
一般正味財産への振替(有価証券受取利息)	△21,120,000	△18,720,000	△2,400,000
一般正味財産への振替(預貯金受取利息)	△7,380	△4,100	△3,280
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	963,280,000	963,280,000	0
指定正味財産期末残高	963,280,000	963,280,000	0
III 正味財産期末残高	978,733,178	978,776,756	△43,578

## 令和7度(2025年度) 公益財団法人千里リサイクルプラザ事業報告書

脱炭素社会の実現に向けて、地球温暖化防止等を含む環境への負荷を少なくする循環型社会を構築し、人々が環境に配慮したライフスタイルを実践、また環境保全を定着・促進するため、市民の参加の下に次の事業を行いました。

### 1. 公益目的事業として、次の事業を実施しました。(公1)

#### (1) 啓発・普及活動に関する事業

##### ア. 市民工房の運営(受託事業)

市民工房は、市民の日常生活に密着し、修理・再生やそれに係る伝承技術の事例展示を目的として活動しました。ここではジェンダーやジェネレーションを問わず、来館者が楽しみながらリユース(再使用)及びリサイクル(再生利用)できるよう、修理・再生・リフォームの助言・指導を行いました。併せて再生材料を用いた成果品の展示を行いました。

木材の再生利用を行う木工工房、紙すきを通じて森林資源の保護を考える緑工房、自転車の修理と再生利用等を指導する自転車工房、また使用済み衣類のリフォームや活用方法を指導する布工房の諸活動により、市民が自ら実践を通じてCO<sub>2</sub>削減による脱炭素社会、地球温暖化防止等をはじめとする環境問題を考え行動する場を運営提供しました。

工房名	対象品	見学者数	実技受講者数	成果品展示数
布工房	衣類	1,622名	1,547名	54点
緑工房	紙パック	479名	414名	0点
自転車工房	自転車	270名	170名	95点
木工工房	家具類	994名	805名	301点
合 計		3,365名	2,936名	450点
合 計 (前年度)		3,757名	3,295名	542点

##### イ. 視察・見学者の対応(受託事業)

視察や見学では吹田市小学4年生の見学については教育委員会と連携を図り、他市小学校や、地域の自治会等の見学対応も行いました。多言語での施設パンフレットは、英語版・中国語版及び韓国語版をホームページに掲載し、ダウンロードできるように至便性を高めました。

区 分	団 体 数	人 数	前 年 度	
			団 体 数	人 数
小 ～ 大 学 生	50団体	4,844名	56団体	5,574名
市 民 団 体	13団体	213名	10団体	284名
行 政	3団体	9名	4団体	27名
民 間 企 業	3団体	32名	2団体	47名
海 外	7団体	181名	7団体	129名
計	76団体	5,279名	79団体	6,061名

ウ. 環境啓発動画コンテスト事業(受託事業)

地球温暖化防止やごみ問題における3Rの取組等について、SDGsの枠組みを踏まえ、コンテスト情報サイト等を通じて環境啓発動画を広く募集し、コンテストの実施により環境問題や環境保全への市民の積極的な活動参加を促しました。優秀作品は表彰するとともに、様々な機会を捉えて多くの市民の目に触れるようにし、市民目線で環境啓発を考える有効な成果物として活用していきます。

実施日	内 容	対象者	応募作品及び受賞作品数	
			本年度	前年度
応募期間 7月3日(木)～ 10月22日(水)	「環境問題について一人一人が考え、行動しよう!」をテーマに、地球温暖化、プラスチックごみ問題、食品ロス、再生可能エネルギーの普及、生態系の保護など、幅広い環境課題を対象とした動画を募集しました。 若い世代を中心に、多くの人が環境問題への理解を深め、身近な行動につなげることを目的として実施しました。	市民	応募作品数 79作品 【大学生・一般部門】 奨励賞3作品 【中・高生部門】 優秀賞1作品 奨励賞3作品	応募作品数 46作品 【大学生・一般部門】 優秀賞1作品 奨励賞1作品 【中・高生部門】 優秀賞1作品 奨励賞1作品
投票期間 11月14日(金) ～12月12日(金)				
応募作品審査 12月17日(水)	専門家の意見を参考に、応募作品の審査を実施。			
表彰式 2月15日(日)	受賞式と受賞者から作品作りの工夫や苦労話など発表。			

エ. 展示等に関する事業(受託・自主事業)

① 展示コーナーの常設(受託事業)

市民工房で再生した成果品、施設の活動内容に関する動画や環境問題の啓発につながるパネルや日本の優れた環境技術製品の展示にも努めました。また環境問題をSDGsに始まる世界共有の問題として認識し考えてもらうため、諸外国からの来館者に向け可能な限り英語などの多言語表示を行いました。  
また、開催予定のポスターなどをフレームに入れイーゼルを使い、来館者への効果的な展示を実施しました。

② あげます・もらいますコーナーの利用状況(受託事業)

市民から使用しなくなった衣類・食器・皮革製品やその他の未使用品の提供を受け、必要な市民に利用してもらう「あげます・もらいますコーナー」を常設し、HP、SNSやチラシ等での広報を通じて、幅広い市民の利用により資源のリユース(再使用)、リサイクル(再生利用)を促進しました。吹田市環境部からの依頼で、サステナブルファッション・プラットフォーム「oHOHo CYCLE PROJECT」への衣類提供に協力しました。

品 目	持ち込み品	持ち帰り品	
衣 類	10,363点	8,384点	
食 器	8,072点	5,599点	
合 計	18,435点	13,983点	
件 数	795件	2,036件	
前年度	数量	21,000点	16,441点
	件 数	865件	2,157件

③ 出張展示会(受託事業)

10月31日～11月2日の3日間、万博記念公園の東の広場にて開催された「ロハスフェスタ万博2025秋」に参加しました。昨年度に続き3回目の出店であり、プラザの啓発活動の紹介、工房成果品の展示販売、マイ食器啓発活動を行いました。今年度は手作りおもちゃATのワークショップ、布体験を開催し、ロハスの来場者にリユースの大切さを体験してもらいました。2月17日～3月1日に千里ニュータウンプラザ6階の吹田市立公益活動センター「ラコルタ」でぐるぐるプラザの活動について広く市民に知ってもらうため、市民工房の紹介や市民研究所の活動を展示しました。

④ 再生成果品等の販売(自主事業)

市民工房で再生した成果品(くるくるグッズ)や市民から提供された未使用品等(セカンド品)を展示し、廉価で販売しました。らっくdeプリマ第2期につきましては、第1期に引き続きプラザの建物工事の影響で出店者の商品搬入が困難と判断し中止とし、第3期については1月から3月にかけて開催しました。

工房名	対象品	成果品販売数	販売時期	販売品目	内容
布工房	衣類	78点	常時	衣類のリフォーム品 紙すき製品 木工小物	市民工房において再生した成果品を販売。
緑工房	紙パック	35点			
自転車工房	自転車	91点	毎月	自転車	毎月1回の抽選販売。売れ残りは随時販売。
木工工房	家具類	313点	随時	家具	修理後(HPに掲載)随時販売。
合 計		517点			
合 計 (前年度)		490点			

対象品	販売数	前年度	販売時期	販売品目	内容
セカンド品 (未使用の市民提供品等)	1,899点	1,415点	常時	セカンド品	市民から提供を受けた未使用の衣類・食器等を販売。

らっくdeプリマ 出店 期間		来室者数	出店数	出店形式	出店内容
第1期	工事の為中止	—	—	4段ラック 3段ラック 2段ラック ハンガーラック	市民に場所を提供し、使わなくなったもの等、リメイク・リユース品を中心に展示し低額で販売。
第2期	工事の為中止	—	—		
第3期	令和8年1月～3月	1,170名	50店舗		
合 計		1,170名	50店舗		
合 計 (前年度)		5,332名	199店舗		

オ. 市民・企業参画事業(受託・自主事業)

① もったいないバザール(受託事業)

市民、企業、学生団体、その他の外部団体等との協働による環境啓発活動として、リユースの大切さを楽しみながら学べる、おもちゃのかえっこバザール、衣類と食器の持ち帰り、環境に関するワークショップで構成するイベントを開催しました。また、10月24日に第3回実行委員会を行い次年度に向けての協議を行いました。

事業名	実施日	実施内容	参加者数	前年度
				参加者数
令和7年度(第3回) もったいないバザール 第1回実行委員会	6月20日(金)	実行委員会メンバーによる、本年度の実施内容や運営方法についての討議。	19名	21名
第2回実行委員会	9月12日(金)		17名	23名
				22名
もったいないバザール	10月19日(日)	雨天でも実施できるプログラムを計画し予定通り進行できました。ただし、前日に雨が降ったため、屋外の準備物は当日の朝8時に全職員が出勤して準備を行いました。	408名	273名
第3回実行委員会	10月24日(金)	実施内容の報告及びアンケートを紹介。各担当からの反省等を踏まえ、次年度に申し送りを行った。	14名	18名
合 計	4回		458名	357名

② エコラボパートナーズ(自主事業)

施設活性化のために、当財団の事業目的に賛同し環境保全活動に取り組む市民団体、企業、学生等の様々な団体をエコラボパートナーズとして認定しています。当施設の貸室やその他スペースを利用し、展示会、講演会、イベント、教室等、連携を図り協働事業を実施しました。

開催事業名	実施回数	主催者	実施内容	受講者数	前年度	
					実施回数	受講者数
アートクレイシルバー	39回	首藤みわ子	廃棄・回収されたスマホ等から採取し再生利用された銀粘土を利用したクレイシルバー教室を開催。	159名	36回	126名
GECS体験	3回	大阪大学環境サークルGECS	ペットボトルなどの廃材を使い創作する楽しさとリサイクルの重要性を学べるワークショップを開催。	61名	3回	49名
お片付け教室	2回	茂梓弓	お片づけをすることを通して、集まった受講者で楽しく考え、リデュースへの意識改革を促す講座を開催しました。	11名		
アップルパイリース作り体験	1回	渋川京子	身近な植物を利用したリースやオーナメントの制作を通じて自然に親しんでもらう教室を開催。	9名		
大学生チャレンジワークショップ	1回	久保亜加音	捨てられる紙をごみにしないで紙粘土を作り、クリスマスオーナメントを制作するリユースを啓発する教室を開催。	11名		
GECSクエスト	1回	大阪大学環境サークルGECS	9月13日(土)に施設内の部屋を使い、その中で参加者の子供たちが謎解きやゲームを行いSDGsに関する環境問題へ興味・関心をもってもらうため開催しました。	11名	1回	14名
玩改アート	1回	いながきやすこ	不要になったおもちゃなどを使ってアート作品を作り、その工程で環境教育を伝えるワークショップを開催しました。	28名		
合計	48回			290名	40回	189名

(注)アートクレイシルバーは体験コース、6回コース、3回コースの実施をそれぞれ1回と数えます。

カ. 環境実践教室の開催(自主事業)

市民が楽しみながら資源の再使用や再生利用を体験できるように以下の環境実践教室を実施しました。

教室名	1教室当開催日数	実施回数	受講者数	延受講者数	前年度			
					実施回数	受講者数	延受講者数	
布	布体験	1日	1回	7名	7名	1回	12名	12名
木工	木工体験	1日	3回	44名	44名	3回	43名	43名
	夏休みこども木工	1日	2回	34名	34名	2回	60名	60名
クラフト	革小物	1日	24回	22名	22名	24回	41名	41名
	夏休みレザークラフト	1日	2回	0名	0名	2回	8名	8名
おもちゃ	オイル万華鏡	1日	2回	25名	25名	2回	26名	26名
廃段ボール	廃段ボール体験	1日	3回	50名	50名	3回	53名	53名
	夏休み廃段ボール	1日	2回	10名	10名	2回	19名	19名

LED	LED体験	1日	2回	36名	36名	2回	31名	31名	
ガラス	夏休みフュージング	1日	2回	10名	10名				
	フュージング体験	1日	3回	43名	43名	3回	45名	45名	
陶芸	陶芸形成体験	1日	1回	12名	12名				
	陶芸絵付け体験	1日	2回	30名	30名	2回	30名	30名	
	夏休み陶芸絵付け	1日	1回	5名	5名	1回	5名	5名	
自転車	自転車安全教室	1日	2回	5名	5名	2回	10名	10名	
海の生き物	海の生き物観察会	1日	1回	4名	4名				
施設見学後体験	布体験	1日	7回	65名	65名	5回	47名	47名	
	木工体験	1日	12回	116名	116名	9回	85名	85名	
その他	ロハス(布体験)	1日	1回	106名	106名				
	包丁研ぎ	1日	4回	37名	37名	3回	21名	21名	
合 計				77回	661名	661名	66回	536名	536名

キ. イベントの開催(自主事業)

① フェスタ

事業名 (当初予定)	実施日	内 容	参加者数	前年度 参加者数
くるくるファミリーフェスタ	5月18日(日)	地域の子どもから大人まで幅広い世代に資源循環・リユースへの関心を持ってもらうことを目的に、「くるくるファミリーフェスタ」を開催。今回は定番となっている廃材活用ワークショップに加え、初の試みとして「循環ガチャ」や「環境塗り絵」を導入し、体験型・参加型の環境学習イベントとして実施しました。 (注)前年度については、ファイナルフリマでの集客により参加者数が多くなっています。	約200名	約500名
くるくる夏フェスタ	8月17日(日)	親子で参加しやすい夏休み期間中に、地球環境保全や3Rの輪を広げるためにフェスタを実施しました。 木工、ガラス工芸、陶芸絵付け体験等の各種体験や廃段ボール工作・LED作品制作、市民研究所PTからは顕微鏡でプランクトンを見てみよう、手づくりおもちゃ体験、自転車安全整備教室、玩改アートのワークショップを行いました。	約170名	約170名
くるくるクリスマス	12月14日(日)	地球環境保全や3Rの輪を広げるためにフェスタを実施しました。 布、木工、ガラス工芸等の各種体験や廃段ボール工作、市民研究所PTからは顕微鏡でプランクトンを見てみよう、手づくりおもちゃ体験などを行いました。 また、吹田お話し会によるクリスマスにちなんだお話、影絵を提供しました。他にも食ロス削減・マイ食器持参啓発活動として、おにぎらずとみそ汁を販売しました。なお、体験参加者には食ロス削減を目的に商品化されたお菓子を配りました。	約170名	約250名
合 計			約540名	約920名

② その他の催し物

事業名	実施日	内 容	参加作品数	前年度参加作品数
ぐるぐるアイデア コンテスト	応募期間	応募期間:7月1日(火)~8月14日(木) 投票期間:8月15日(金)~9月14日(日)	54作品	38作品
	投票期間	地球環境保全や3Rの輪を広げるために、SDGsも踏まえた様々な3R作品の展示発表会の場として開催しました。身近に3Rを意識するきっかけとなる啓発活動となりました。		
	応募作品審査	展示会場及びインターネットでの市民の投票の合計獲得票数を基に、プラザ執行役員及び事務局が最終審査し優秀作品を選出。 優秀作品の制作過程での工夫等を本人が会場で説明後、表彰式を行いました。理事長賞1名、アイデア賞9名、キッズ部門賞2名という結果になりました。アイデア大賞に関しては該当するような作品がなかったため今回は受賞者はいません。アイデア賞に関しては該当する作品が多く5枠を9枠に拡大しました。		
	表彰式 (9月28日)			

事業名	実施日	内 容	参加者数	前年度参加者数
ソーラーカー 乗車体験	5月18日(日)	ソーラーカーそらくる号の広場での乗車体験を通して、楽しみながらクリーンエネルギーについて考える機会を提供する予定でしたが、雨天のため中止しました。	—	—
	12月14日(日)	ソーラーカーそらくる号の広場での乗車体験を通して、楽しみながらクリーンエネルギーについて考える機会を提供しました。	35名	46名
合 計			35名	46名

実施日	内 容	対象者	食品の預かり数及び持ち帰り数	
			本年度	前年度
食ロス あげます・もらいます 10月~11月	食ロス削減することをテーマに、ぐるぐるプラザ館内に食品ロス削減啓発として展示。 賞味期限間近のものや沢山買いすぎたために食べ切ることが困難な未開封食品などを集め、それをイベントで必要な方に持って帰ってもらう「食ロスあげます・もらいます」実施しました。	市民	食品の預かり数 15点 食品の持ち帰り数 11点	食品の預かり数 61点 食品の持ち帰り数 30点

③ おもちゃ病院

毎月1回おもちゃ病院を開院し、市民の持ち込んだ壊れたおもちゃを、おもちゃドクターが即日又は入院修理し、リユースの啓発活動を行いました。

実 施 日		修 理 件 数	前年度修理件数
第1回	4月20日(日)	18件	16件
第2回	5月18日(日)	10件	20件
第3回	6月15日(日)	28件	13件
第4回	7月20日(日)	14件	12件
第5回	8月17日(日)	13件	11件
第6回	9月21日(日)	24件	17件
第7回	10月19日(日)	29件	26件

第8回	11月16日(日)	6件	25件
第9回	12月14日(日)	26件	34件
第10回	1月18日(日)	17件	22件
第11回	2月15日(日)	17件	15件
第12回	3月15日(日)	22件	20件
合 計		224件	231件

ク. リユース食器貸出に関する事業(自主事業)

令和7年4月～12月まで大阪・関西万博リユース食器協働事業をNPO法人地域環境デザイン研究所ecotoneと(公財)京都市環境保全推進協会と3者で行ったことにより通常の貸出事業は停止しました。

令和8年1月～3月まではNPO法人地域環境デザイン研究所ecotoneとのリユース食器協働事業として運営、貸出事業を行いました。

リユース食器協働事業

		件数	食器類	箸 等	前 年 度		
					件数	食器類	箸 等
貸出	吹田市内	-	-	-	3件	1,560点	80点
	吹田市外	7件	13,299点	47点	11件	5,594点	2,530点
合 計		7件	13,299点	47点	14件	7,154点	2,610点

ケ. 会員(プラザメイト)に関する事業(自主事業)

ごみ問題や地球温暖化などの環境問題をより多くの人々に理解してもらい、つながりを広げてゆくため会員(プラザメイト)を募集しました。会員には財団が発行する情報紙や、各種催しの案内を送付しました。

(2) 調査研究・情報提供に関する事業

ア. 調査・研究及び実践活動(受託・自主事業)

① 主担研究員による調査・研究(受託事業)

市民研究所の主担研究員が各々の専門の立場から廃棄物・環境問題について調査・研究を行いました。また環境教育企画グループ(PG)や施設案内・見える化企画グループ(PG)において、主担研究員と環境教育に精通した事務局メンバー、環境アドバイザーにより調査・研究を進めました。ぐるぐるサロンでは、外部講師や大阪府立千里高校2年生の「総合的な探求の時間」の成果を発表していただき、世代を超えた交流の場となりました。今後は学生主体の進行を担うなど、学校との継続的な連携体制の構築をさらに進めてまいります。

事業名		活動回数	内容
P G	環境教育	10回	プラザが提供する環境教育の質の改善・向上を図るとともに、吹田市の学校との環境教育の繋がりや関係の強化に向けて活動を行いました。
	施設案内・見える化		吹田市のごみ処理施設見学プログラムの再構築について各施設と協議し、吹田市のごみ処理の一連の流れが明確に理解できる案内手法の考案により、小学生の環境学習効果を高める検討を始めました。
	国際化	4回	ぐるぐるプラザパンフレットの英語版・中国語版及び韓国語版を作成し、ホームページに掲載してダウンロードできるようにしました。
計		14回	( 11回 )

(注)国際化企画グループ(PG)の活動回数は各パンフレット作成をそれぞれ1回としました。

( )内は前年度

事業名	実施日	内容	参加者数	会場
くるくるサロン	5月31日(土)	講和テーマ: 「仏教に学ぶ環境・社会・経済の統合」 オーガナイザー (公財)千里リサイクルプラザ 理事長 小幡範雄	22名	つながりラボ (市民工房3)
	8月10日(日)	講和テーマ: 「バナナで読み解くSDGs 世界とつながる私たちの選択」 市民研究所長 三輪信哉	28名	
	11月9日(日)	講和テーマ: 「楽しいゼロカーボン生活のつくりかた」 (有)ひのでやエコライフ研究所 代表取締役 鈴木靖文氏	17名	講義室2
	3月8日(日)	講話テーマ: ・「カラスにゴミを荒らされないようにするには」 ・「犬猫のペットの殺処分数を減らすために私たちにできることはなにか〜譲渡数を増やすためには〜」 ・「レストラン企業の食べ残しの面における食品ロスを削減するために私達にできることはなにか」 ・「ミカンの葉にアレロパシーはあるのか」 大阪府立千里高校2年生	31名	
計	4回		98名	(4回 74名)

( )内は前年度

② 市民研究員による調査・研究及び実践活動(自主事業)

市民研究員がテーマごとにチームを組織し、生活者の視点で調査・研究を行うとともに、啓発・普及のための実践活動を行いました。なお4階に設置した市民研究所(つながりラボ)の整備を鋭意進めており、市民への活動内容の見える化にも取り組んでいます。

プロジェクトチーム(PT) アクションチーム(AT)	活動目標と内容	開催数	
P T	市民とお店をエコでつなぐ	「食品ロス削減」は社会の大きな問題でもあるので引き続き研究し、一昨年 から取り組んでいる「プラスチックごみ削減」(主に食品トレー、食品容器、 ペットボトル)問題を研究  ・出前講座の開発と改良 ・各自の研究テーマの進め方について協議 ・ごみゼロPTとの情報交流について協議 ・12月6日(土)研究実践報告会準備及び報告 ・エフピコ見学及び報告 ・令和7年度の活動報告書・令和8年度年間計画書作成	43回
	吹田ごみゼロシステム研究	ごみゼロ(すてるをなくす)へのシステム研究  ・個別テーマを追跡調査研究 ・ブログ発信の活性化 ・吹田市との情報交換の充実 ・プラスチック問題についての情報交換を市民とお店PTと計画	13回
	身近な環境を調べよう	吹田市に点在する身近な環境を調べ、現状を把握するとともに、その保 全の大切さを啓発。糸田川と同様に「池の観察チェックシート」を用いて環 境調査を実施  ・令和6年度の結果及び令和7年度を含めた3年間の結果を集約 ・Instagramでの発信 ・令和8年度以降の身近な環境調査の対象について検討 (例)鎮守の森、竹林等 ・ため池冊子及び動画の作成 ・令和8年度から10年度まで(3年間)の調査計画 ・令和7年度年間活動報告書・令和8年度年間活動計画書提出	39回

P T	SDGs啓発	SDGs啓発を推進	32回
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境出前講座(学校への支援以外の団体)の拡充</li> <li>・他団体との情報交換や連携</li> <li>・PT新規メンバーの増員を検討</li> <li>・アンケート結果を分析し、今後の方向性を検討</li> <li>・環境出前講座で使用する教材やゲームの検討</li> <li>・来年度の活動計画および予算に関する検討</li> </ul>	
A T	紙すき体験と環境	紙パックをリサイクル啓発することによって、資源循環型社会を構築することを目指し、ひいては世界の森林資源の保全に向けた研究活動を推進	40回
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・人員確保とチームメンバーのスキルアップに注力</li> <li>・アンケートにより紙パックのリサイクル状況を調査</li> <li>・チームが参加しやすい会議の開催時間に変更</li> <li>・出前講座の説明内容(パワーポイント)の見直し</li> </ul>	
	手作りおもちゃと環境	廃品を再利用した手作りおもちゃの指導を通して、ごみの減量化と環境問題の啓発・意識の向上  <ul style="list-style-type: none"> <li>・メンバーの増員に向け努力</li> <li>・就学前児童への対応を検討</li> <li>・新しいおもちゃの作成検討</li> <li>・World Cleanup Day(ごみ拾い)やロハスフェスタに参加</li> <li>・8/17のイベントで水車ボート作りを行った</li> <li>・動画及びパワーポイントを作成完了</li> <li>・おもちゃのマニュアル本の検討</li> </ul>	49回
	マイ食器啓発	リユース食器からマイ食器へ  <ul style="list-style-type: none"> <li>・大阪・関西万博にリユース食器啓発について調査実施</li> <li>・千里万博公園にてロハスフェスタに参加</li> <li>・くるくるクリスマスではおにぎらずを販売とマイ食器持参運動を実施</li> </ul>	7回
合 計			223回
合 計 (前年度)			225回

事業名	活 動 目 標 と 内 容	参加人数
くるくるつながり広場	市民と環境スクール修了生7名を対象に、12月20日(土)につながり広場を開催しました。参加者は各チームからの活動紹介を熱心に聞き、次回のつながり広場でも丁寧に市民研究員への参加を促していきます。	22名
合 計	1回	22名 (2回39名)

( )内は前年度

会 議 名	主催団体名	実 施 日	内 容	会 場
第1回吹田市ごみ減量再資源化推進会議	吹田市	8月21日(木)	フードドライブの取組報告、ごみ減量に向けた取り組みを交流	メイシアター
すいた環境教育フェスタ	吹田市	2月7日(土)	くるくるプラザの紹介と市民研究所の環境啓発活動紹介、市民研究員によるポスターセッション	メイシアター
第2回吹田市ごみ減量再資源化推進会議	吹田市	3月16日(月)	フードドライブやてまえどりキャンペーン、SAFについて報告	本庁高層棟3階リエゾンルーム
合 計		3回		(3回)

( )内は前年度

イ. 研究報告書の発行に関する事業(自主事業)

令和6年度の市民研究所各プロジェクトの研究成果等を研究報告書としてまとめ、7月に発行しました。

ウ. 機関紙「しみんけんきゅうニュース」の発行(自主事業)

市民研究員の調査・研究、実践活動を中心とした機関紙「しみんけんきゅうニュース」の発行及びホームページへの掲載を行いました。

号数	No.	発行部数	配布先
2025年5月号	327号	400部	市民研究員をはじめ、来館者や地区公民館、その他関係団体に配布しました。
2025年8月号	328号		
2025年11月号	329号		
2026年2月号	330号		

エ. 情報紙「くるくるプラザ」の発行(自主事業)

一般市民で構成したスタッフが情報収集し編集した、環境問題に関する身近で役立つ情報を中心とした情報紙「くるくるプラザ」を次のとおり発行し、ホームページにも掲載しました。

号数	発行月	発行部数	配布先
101号	7月	1,200部	市民研究員をはじめ、来館者や地区公民館、その他関係団体に配布しました。
102号	11月		
103号	3月		

オ. ホームページの公開及び情報スタジオコーナーの常設(自主事業)

財団ホームページの整備を行いました。また情報スタジオコーナーについては、室内のレイアウトを決定し機器を整備しています。また、市民研究員の活動拠点としても使用しています。

(3) 講演・講座の開催及び環境学習の支援に関する事業

ア. 講演会の開催(受託事業)

事業名	実施日	内容	参加者数	会場
くるくる環境フォーラム	6月 29日(日)	<p>【テーマ】「生活が変わる、未来が変わる！サーキュラーエコノミーのススメ」</p> <p>第1部「基調講演」 講演者：(公財)千里リサイクルプラザ 理事長 小幡範雄</p> <p>第2部「事例発表」 発表者：エイチツーオーリテイリング(株)、 小川珈琲(株)、大和リース(株)、 吹田市環境部環境政策室</p> <p>第3部「パネルディスカッション」 コーディネーター：主担研究員 花嶋温子 パネリスト：基調講演講師、事例発表者</p> <p>第1部の基調講演を踏まえて、第2部では衣・食・住の観点から3企業と行政の事例発表。第3部では、パネルディスカッションを行い、各団体の苦労話などを聞いたり、参加者からの質問を話題にするなど、テーマに沿った充実した内容を市民に提供しました。</p>	69名	マルチホール
計		1回	69名	(1回 52名)

( )内は前年度

イ. 入門講座(自主事業)

① くるくるキッズ環境スクール

事業名	実施日	内 容	対象者	参加者数	会 場
くるくるキッズ 環境スクール	7月19日(土)	開講式及び 出前講座(おもちゃ、紙すき)	受講者	23名	講義室2
	8月6日(水)	海の生き物観察会 (株)midica	受講者	14名	マルチホール
	9月21日(日)	自然観察会 (身近な環境PT)	受講者	12名	南千里・牛ヶ首池 南千里地区公民館
	10月19日(日)	もったいないバザールでの かえっこバザールスタッフ体験	受講者	20名	プラザ4階広場
	11月15日(土)	環境関連施設へ親子で見学し、環 境問題について考えるきっかけとす る。	受講者	20名	ひょうご環境体験館 (はりまエコハウス)
	12月20日(土)	SDGs啓発PTによるゲーム他 及び閉校式	受講者	14名	講義室2
計		6 回	のべ 受講者数	103名	(6回 111名)

(注)参加者数には保護者数も含まれます。

( )内は前年度

② くるくる環境スクール

事業名	実施日	内 容	対象者	参加者数	会 場
くるくる環境 スクール	6月14日(土)	開講式及び 破砕選別工場、市民工房の見学	受講者	11名	講義室2
	6月29日(日)	環境問題講演会聴講	受講者	11名	マルチホール
	7月12日(土)	市民研究所出前講座 (SDGs啓発PT)	受講者	11名	講義室2
	9月11日(木)	バス見学ツアー	受講者	14名	関西リサイクルシステムズ/ 近畿電電輸送(株)
	10月19日(日)	もったいないバザール	受講者	3名	くるくるプラザ
	10月22日(木)	埋立処分場見学	受講者	7名	大阪沖埋立処分場(フェ ニックスセンター)
	12月6日(土)	令和7年度市民研究所 研究実践発表会	受講者	8名	講義室2
	12月20日(土)	閉校式とつながり広場 講話、市民研究員との交流	受講者	7名	講義室2
合 計		8 回	のべ 受講者数	72名	(8回 124名)

( )内は前年度

ウ. 環境出前講座の実施(自主事業)

身近な環境問題について考えてもらう事を目的に、小中学校の授業・クラブ活動、環境学習等を対象とし、市民研究員が出  
向く実践講座について要請に基づき実施しました。

実施日	チーム名	事業名	対象者	参加者数	会 場
4月23日(水)	手作りおもちゃと環境	【施設見学後の体験】	吹田第一 小学校児童	12名	講義室2
4月23日(水)	紙すき体験と環境	【施設見学後の体験】	吹田第一 小学校児童	12名	緑工房
4月30日(水)	SDGs啓発	【クラブ支援】	佐竹台 小学校児童	18名	学校教室
5月1日(木)	手作りおもちゃと環境	【施設見学後の体験】	北山田 小学校児童	19名	講義室2

5月1日(木)	市民とお店をエコでつなぐ	【施設見学後の体験】	北山田 小学校児童	16名	講義室1
5月1日(木)	紙すき体験と環境	【施設見学後の体験】	北山田 小学校児童	20名	緑工房
5月7日(水)	SDGs啓発	【クラブ支援】	千里第二 小学校児童	32名	学校教室
5月14日(水)	手作りおもちゃと環境	【クラブ支援】	山手 小学校児童	21名	学校教室
5月15日(木)	市民とお店をエコでつなぐ	【施設見学後の体験】	吹田第二 小学校児童	20名	講義室1
5月15日(木)	手作りおもちゃと環境	【施設見学後の体験】	吹田第二 小学校児童	19名	講義室2
5月15日(木)	紙すき体験と環境	【施設見学後の体験】	吹田第二 小学校児童	12名	緑工房
5月18日(日)	手作りおもちゃと環境	【くるくるワークショップ】	くるくる ファミリー フェスタ来館者	15名	マルチホール
5月18日(日)	身近な環境を調べよう	【くるくるワークショップ】	くるくる ファミリー フェスタ来館者	30名	B棟4階ホール
5月20日(火)	手作りおもちゃと環境	【施設見学後の体験】	西山田 小学校児童	20名	講義室2
5月20日(火)	市民とお店をエコでつなぐ	【施設見学後の体験】	西山田 小学校児童	13名	講義室1
5月20日(火)	紙すき体験と環境	【施設見学後の体験】	西山田 小学校児童	17名	緑工房
5月22日(木)	市民とお店をエコでつなぐ	【施設見学後の体験】	東佐井寺 小学校児童	13名	講義室1
5月22日(木)	手作りおもちゃと環境	【施設見学後の体験】	東佐井寺 小学校児童	19名	講義室2
5月22日(木)	紙すき体験と環境	【施設見学後の体験】	東佐井寺 小学校児童	20名	つながりラボ
6月3日(火)	手作りおもちゃと環境	【施設見学後の体験】	吹田第六 小学校児童	18名	講義室2
6月3日(火)	紙すき体験と環境	【施設見学後の体験】	吹田第六 小学校児童	19名	緑工房
6月4日(水)	市民とお店をエコでつなぐ	【クラブ支援】	千里第二 小学校児童	30名	学校教室
6月5日(木)	手作りおもちゃと環境	【施設見学後の体験】	千里たけみ 小学校児童	14名	講義室2
6月5日(木)	紙すき体験と環境	【施設見学後の体験】	千里たけみ 小学校児童	16名	緑工房
6月5日(木)	市民とお店をエコでつなぐ	【施設見学後の体験】	千里たけみ 小学校児童	20名	講義室1
6月11日(水)	SDGs啓発	【施設見学後の体験】	山手 小学校児童	21名	学校教室
6月11日(水)	手作りおもちゃと環境	【クラブ支援】	佐竹台 小学校児童	19名	学校教室
6月12日(木)	紙すき体験と環境	【施設見学後の体験】	高野台 小学校児童	17名	つながりラボ
6月12日(木)	市民とお店をエコでつなぐ	【施設見学後の体験】	高野台 小学校児童	6名	講義室1
6月12日(木)	手作りおもちゃと環境	【施設見学後の体験】	高野台 小学校児童	15名	講義室2

6月13日(金)	市民とお店をエコでつなぐ	【施設見学後の体験】	吹田東 小学校児童	15名	講義室1
6月13日(金)	手作りおもちゃと環境	【施設見学後の体験】	吹田東 小学校児童	20名	講義室2
6月13日(金)	紙すき体験と環境	【施設見学後の体験】	吹田東 小学校児童	15名	緑工房
6月25日(水)	手作りおもちゃと環境	【施設見学後の体験】	岸部第一 小学校児童	8名	講義室2
6月25日(水)	市民とお店をエコでつなぐ	【施設見学後の体験】	岸辺第一 小学校児童	4名	講義室1
7月9日(水)	SDGs啓発	【出前講座・クラブ支援】	豊津第二小学校児童	16名	学校教室
7月9日(水)	市民とお店をエコでつなぐ	【出前講座・クラブ支援】	山手小学校児童	20名	学校教室
7月9日(水)	紙すき体験と環境	【出前講座・クラブ支援】	千里第二小学校児童	28名	学校教室
7月12日(土)	SDGs啓発	【出前講座・くるくる環境スクール】	環境スクール生	11名	講義室2
7月19日(土)	手作りおもちゃと環境	【出前講座・くるくるキッズ環境スクール】	キッズスクール生	11名	講義室2
7月19日(土)	紙すき体験と環境	【出前講座・くるくるキッズ環境スクール】	キッズスクール生	11名	講義室2
7月27日(日)	紙すき体験と環境	【出前講座・公民館】	岸二地区公民館一般市民	20名	公民館
7月29日(火)	SDGs啓発	【出前講座・教育課題研修】	教員	12名	講義室2
8月1日(金)	紙すき体験と環境	【出前講座・公民館】	山手地区公民館一般市民	10名	公民館
8月6日(水)	手作りおもちゃと環境	【出前講座・公民館】	千一地区公民館一般市民	14名	公民館
8月7日(木)	紙すき体験と環境	【出前講座・公民館】	豊中庄内コラボセンター一般市民	15名	公民館
8月17日(日)	手作りおもちゃと環境	【出前講座・くるくるワークショップ】	くるくる夏フェスタ来場者	15名	つながりラボ
8月17日(日)	身近な環境を調べよう	【出前講座・くるくるワークショップ】	くるくる夏フェスタ来場者	27名	マルチホール
8月23日(土)	紙すき体験と環境	【出前講座・公民館】	北千里地区公民館一般市民	10名	公民館
9月3日(水)	SDGs啓発	【出前講座・クラブ支援】	千里第二小学校児童	29名	学校教室
9月10日(水)	手作りおもちゃと環境	【出前講座・クラブ支援】	豊津第二小学校児童	15名	学校教室
9月10日(水)	市民とお店をエコでつなぐ	【出前講座・クラブ支援】	佐竹台小学校児童	19名	学校教室
9月19日(金)	手作りおもちゃと環境	【出前講座・施設見学後の体験】	青山台小学校児童	16名	講義室2
9月19日(金)	市民とお店をエコでつなぐ	【出前講座・施設見学後の体験】	青山台小学校児童	16名	講義室1
9月19日(金)	紙すき体験と環境	【出前講座・施設見学後の体験】	青山台小学校児童	10名	つながりラボ
9月21日(日)	身近な環境を調べよう	【出前講座・くるくるキッズ環境スクール】	キッズスクール生	6名	牛ヶ首池他
9月24日(水)	手作りおもちゃと環境	【出前講座・クラブ支援】	山手小学校児童	21名	学校教室

10月1日(水)	市民とお店をエコでつなぐ	【出前講座・クラブ支援】	豊津第二小学校児童	17名	学校教室
10月1日(水)	紙すき体験と環境	【出前講座・クラブ支援】	山田第二小学校児童	30名	学校教室
10月1日(水)	手作りおもちゃと環境	【出前講座・クラブ支援】	佐竹台小学校児童	20名	学校教室
10月15日(水)	SDGs啓発	【出前講座・クラブ支援】	山手小学校児童	24名	学校教室
10月22日(水)	SDGs啓発	【出前講座・クラブ支援】	佐竹台小学校児童	20名	学校教室
10月22日(水)	市民とお店をエコでつなぐ	【出前講座・クラブ支援】	豊津第二小学校児童	16名	学校教室
11月1日(土)	手作りおもちゃと環境	【出前講座・ぐるぐるワークショップ】	ロハスフェスタ来場者	112名	万博記念公園
11月7日(金)	手作りおもちゃと環境	【出前講座・施設見学後の体験】	山田第三小学校児童	19名	講義室2
11月7日(金)	市民とお店をエコでつなぐ	【出前講座・施設見学後の体験】	山田第三小学校児童	10名	講義室1
11月7日(金)	紙すき体験と環境	【出前講座・施設見学後の体験】	山田第三小学校児童	14名	緑工房
11月12日(水)	身近な環境を調べよう	【出前講座・クラブ支援】	山手小学校児童	19名	学校教室
11月26日(水)	市民とお店をエコでつなぐ	【出前講座・クラブ支援】	佐竹台小学校児童	18名	学校教室
11月26日(水)	手作りおもちゃと環境	【出前講座・クラブ支援】	豊津第二小学校児童	13名	学校教室
12月14日(日)	手作りおもちゃと環境	【出前講座・ぐるぐるワークショップ】	ぐるぐるクリスマス来場者	22名	マルチホール
12月14日(日)	身近な環境を調べよう	【出前講座・ぐるぐるワークショップ】	ぐるぐるクリスマス来場者	31名	マルチホール
12月17日(水)	手作りおもちゃと環境	【出前講座・クラブ支援】	山手小学校児童	19名	学校教室
12月17日(水)	市民とお店をエコでつなぐ	【出前講座・クラブ支援】	豊津第二小学校児童	11名	学校教室
12月17日(水)	紙すき体験と環境	【出前講座・クラブ支援】	佐竹台小学校児童	20名	学校教室
12月20日(土)	SDGs啓発	【出前講座・ぐるぐるキッズ環境スクール】	ぐるぐるキッズ環境スクール生	6名	講義室2
1月23日(金)	手作りおもちゃと環境	【出前講座・クラブ支援】	豊津第二小学校児童	16名	学校教室
2月4日(水)	市民とお店をエコでつなぐ	【出前講座・クラブ支援】	千里第二小学校児童	29名	学校教室
2月4日(水)	手作りおもちゃと環境	【出前講座・クラブ支援】	佐竹台小学校児童	17名	学校教室
2月7日(土)	市民とお店をエコでつなぐ	【出前講座】吹田市主催等イベント参画	メシアター来館者	30名	メシアター
2月7日(土)	身近な環境を調べよう	【出前講座】吹田市主催等イベント参画	メシアター来館者	10名	メシアター
2月20日(金)	SDGs啓発	【出前講座・クラブ支援】	豊津第二小学校児童	14名	学校教室
2月25日(水)	手作りおもちゃと環境	【出前講座・クラブ支援】	千里第二小学校児童	29名	学校教室
2月25日(水)	市民とお店をエコでつなぐ	【出前講座・クラブ支援】	山手小学校児童	21名	学校教室
合計		計	84回	1,564名	(100回 1,815名)

( )内は前年度

エ. 環境学習発表会動画及び展示の開催(自主事業)

教室からの発信「広がれ！環境の輪」と題して、小中学校等で取り組まれている環境学習の成果を動画発表と展示発表を次のとおり実施しました。尚、メシアターでの展示は環境教育フェスタと同時開催で行いました。

① 環境学習発表会(動画)

開催日(期間)	開催場所(上映)	参加校数(作品数)	前年度
2月7日(土)	メシアター	小学校5校(16作品)	小学校3校(16作品)
2月7日(土)～3月31日(火)	くるくるプラザホームページ(WEB上)		

② 環境学習発表会(展示)

開催日(期間)	開催場所(展示)	参加校数(作品数)	前年度
2月18日(水)～2月25日(水)	千里ニュータウンプラザ	小学校9校 (150作品)	小学校6校 (150作品)

オ. 大学関係等の支援(自主事業)

インターンシップ学生の受入れ状況は次のとおりでした。

区分	期 間	学校名	人数	内 容
イ ン タ ー ン プ リ ン	8月19日(火)	関西大学大学院	1名	「自転車工房」において、資源リサイクルセンターの実務補助研修を行いました。 廃棄自転車の分解・部品選別・再利用工程の補助作業を中心に、資源循環の仕組みや作業安全管理について学んでもらいました。
合 計		1校	1名	( 1校 1名 )

( )内は前年度

2. 収益事業等として、次の事業を実施しました。(収1)

吹田市との基本協定に基づく受託事業のうち、吹田市資源リサイクルセンターに関する管理運営業務を、次のとおり実施しました。

(1) 施設の管理運営

ア. 貸室の使用の許可、使用料の徴収及び施設ホームページの管理に関する業務(受託事業)

貸室の使用の許可、使用料の徴収及び施設ホームページの管理に関する業務を行いました。使用件数、使用者数及び使用料の徴収額は下記のとおりでした。

開館日数	使用件数	使用者数	使用料徴収額	前年度			
				開館日数	使用件数	使用者数	使用料徴収額
292日	557件	12,935名	419,850円	291日	529件	13,377名	241,950円

イ. 建物部分及び貸与備品等の管理業務(受託事業)

指定された建物部分及び貸与備品等の管理業務を行いました。また、toto-nouプロジェクトとして施設の空間を整備し、初めて来館する市民にとっても分かりやすい案内表示を提供できるよう、計画の立案を進めました。

### 3. 管理事業(法人会計)

#### (1) 財団の管理運營業務(自主事業)

次期(令和9年度～)の当施設の指定管理者選定について、当財団が十分な実力を兼ね備える存在として認知され信任に足ることを目的とし、管理運営能力の向上に努めるための取組みを実施しました。

#### ア. 財団と環境施設との連携事業

設立30年を過ぎ、施設の目的や機能等を見直し、新たな時代にふさわしい環境学習・啓発の拠点として再構築を図るため、近隣の環境施設である、「京エコロジーセンター」との連携による事業展開を進め、両施設が相互に協力・連携しながら取り組むための覚書を締結しました。

10月19日(日)開催の「もったいないバザール」には、(公財)京都市環境保全活動推進協会の井上企画広報部長が来館されました。また、10月25日(土)に同協会が主催した「日韓環境教育ミーティング」には小幡理事長が参加し、両者の連携を一層深めました。

3月9日(月)には、京エコロジーセンター開催の「第4回視察見学会(公開研究会)」に参加し、環境学習施設について情報交流を行いました。

#### イ. 大阪・関西万博リユース食器事業

令和7年4月13日(日)～10月13日(月祝)に開催された大阪・関西万博も無事終了し、NPO法人地域環境デザイン研究所 ecotone、(公財)京都市環境保全活動推進協会とのリユース食器協同事業については、開催当初は利用が進みませんでした。後半ではリユース食器の認知も広まり、万博を通じて世界に再利用に促す活動を広めることができました。

#### ウ. 表彰について

大阪府が実施した令和6年度「おおさか環境賞」に応募した結果、当団体のこれまでの取組が高く評価され、大賞を受賞しました。

さらに、この受賞を受けて大阪府から推薦を受け、環境省が実施する令和7年度「地域環境保全功労者表彰」において表彰候補者としてノミネートされました。その後、環境省による選考の結果、令和7年6月26日付で同表彰を受賞しました。

#### エ. 大阪・関西万博大阪ウィークへの参加について

令和6年度に大阪府の「おおさか環境賞」大賞をいただいたことにより、7月26日(土)に大阪・関西万博でのおおさかウィークで財団の環境活動及び取り組みを大阪ヘルスケアパビリオンのリボーンステージでプレゼンテーションを行いました。

#### オ. 第3次中期計画検討会議

令和9年度を初年度とする5年間の第三次中期計画の策定に着手しました。

本計画の策定にあたっては、次期指定管理に向けた対応を見据え、既存事業の洗い直しを行い、スクラップアンドビルドの考え方にに基づき検討を進めています。

なお、本計画については令和8年度中の完成を目指しており、引き続き検討を進めてまいります。

#### カ. 財団名称変更

これまでも時期を同じくして吹田市資源リサイクルセンター名称の変更や施設の有効活用のための貸室の指定、取扱変更等に係る条例の改正を実施いただくことが一貫性を保ち、施設を訪れる来館者にとって理解しやすく望ましいものと考え、吹田市に要望させていただいてきました。当財団としても次期指定管理者選定に向けた事業の分析や見直しの中で次世代のあるべき姿に相応しい名称について、変更のタイミングも含めた検討を今後とも進めてまいります。

### 附属明細書

令和7年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補則する重要な事項」がないので作成しません。

# 令和7年度 決算書

公益財団法人 千里リサイクルプラザ

# 貸借対照表

会計区分 全体

令和08年03月31日 現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
<b>I 資産の部</b>			
<b>1. 流動資産</b>			
現金預金			
現金手許有高	260,793	204,243	56,550
普通預金	24,180,684	23,340,440	840,244
通常貯金	1,656,212	1,647,334	8,878
定額貯金	5,500,000	5,500,000	0
現金預金合計	31,597,689	30,692,017	905,672
貯蔵品	28,143	33,153	△5,010
未収金	361,995	400	361,595
前払金	63,450	54,250	9,200
前払費用	689,523	114,400	575,123
立替金	13,052	0	13,052
流動資産合計	32,753,852	30,894,220	1,859,632
<b>2. 固定資産</b>			
(1)基本財産			
定期預金	3,280,000	3,280,000	0
投資有価証券	856,627,200	957,264,000	△100,636,800
基本財産合計	859,907,200	960,544,000	△100,636,800
(2)特定資産			
減価償却引当資産	2,278,665	2,292,841	△14,176
印刷機取得資金	5,500,000	5,500,000	0
特定資産合計	7,778,665	7,792,841	△14,176
(3)その他固定資産			
什器備品	2,424,273	3,907,333	△1,483,060
長期前払費用	0	114,400	△114,400
その他固定資産合計	2,424,273	4,021,733	△1,597,460
固定資産合計	870,110,138	972,358,574	△102,248,436
資産合計	902,863,990	1,003,252,794	△100,388,804
<b>II 負債の部</b>			
<b>1. 流動負債</b>			
未払金	4,624,762	3,357,638	1,267,124
未払消費税等	1,196,900	1,170,400	26,500
預り金	2,065,054	2,697,809	△632,755
前受金	45,800	0	45,800
賞与引当金	1,228,000	1,321,000	△93,000
流動負債合計	9,160,516	8,546,847	613,669
負債合計	9,160,516	8,546,847	613,669

(24)

# 貸借対照表

会計区分 全体

令和08年03月31日 現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
Ⅲ 正味財産の部			
1. 指定正味財産	859,907,200	960,544,000	△100,636,800
出捐金	859,907,200	960,544,000	△100,636,800
(うち基本財産への充当額)	(859,907,200)	(960,544,000)	(△100,636,800)
2. 一般正味財産	33,796,274	34,161,947	△365,673
(うち特定資産への充当額)	(7,778,665)	(7,792,841)	(△14,176)
正味財産合計	893,703,474	994,705,947	△101,002,473
負債及び正味財産合計	902,863,990	1,003,252,794	△100,388,804

# 正味財産増減計算書

会計区分 全体

令和07年04月01日 から 令和08年03月31日 まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益(経常)	18,724,100	18,720,065	4,035
投資有価証券受取利息(経常)	18,720,000	18,720,000	0
預貯金受取利息(経常)	4,100	65	4,035
特定資産運用益	15,354	431	14,923
会費収益	63,000	64,000	△1,000
事業収益	52,299,191	52,060,536	238,655
吹田市受託事業収益	50,922,491	50,003,764	918,727
受講料収益	187,400	233,500	△46,100
工房成果品販売収益	604,750	644,350	△39,600
セカンド品販売収益	362,300	258,170	104,130
フリーマーケット出店手数料収益	79,000	356,200	△277,200
リユース食器貸出手数料収益	0	152,002	△152,002
その他事業収益	143,250	412,550	△269,300
受取寄付金	40,000	20,000	20,000
雑収益	375,414	626,348	△250,934
経常収益計	71,517,059	71,491,380	25,679
(2) 経常費用			
事業費	50,450,586	49,843,810	606,776
給料手当	17,420,367	17,740,541	△320,174
賞与	2,389,362	2,412,124	△22,762
臨時雇賃金	7,947,288	8,101,036	△153,748
福利厚生費	3,840,108	3,975,427	△135,319
賞与引当金繰入額	844,495	908,452	△63,957
会議費	9,787	4,340	5,447
旅費交通費	1,720,284	1,701,132	19,152
通信運搬費	234,885	265,240	△30,355
減価償却費	1,243,100	1,243,100	0
消耗什器備品費	1,819,970	559,659	1,260,311
消耗品費	1,538,401	2,505,882	△967,481
修繕費	33,000	116,182	△83,182
印刷製本費	384,560	428,560	△44,000
光熱水料費	223,710	233,518	△9,808
使用料	172,030	169,410	2,620
賃借料	272,250	245,850	26,400
支払手数料	1,522	40,184	△38,662
保険料	45,990	46,890	△900
諸謝金	4,471,000	4,896,000	△425,000

# 正味財産増減計算書

会計区分 全体

令和07年04月01日 から 令和08年03月31日 まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
租税公課	1,846,507	1,839,312	7,195
支払負担金	12,000	48,800	△36,800
広告宣伝費	260,000	270,000	△10,000
委託費	3,719,970	2,092,021	1,627,949
雑費	0	150	△150
管理費	20,793,680	18,954,226	1,839,454
役員報酬	4,064,400	4,222,800	△158,400
給料手当	7,910,990	8,056,361	△145,371
賞与	1,085,065	1,095,398	△10,333
臨時雇賃金	636,072	602,266	33,806
福利厚生費	1,762,746	1,847,986	△85,240
賞与引当金繰入額	383,505	412,548	△29,043
旅費交通費	507,956	506,038	1,918
通信運搬費	106,731	103,774	2,957
減価償却費	239,960	239,960	0
消耗什器備品費	1,323,660	0	1,323,660
消耗品費	114,867	87,483	27,384
修繕費	9,900	0	9,900
燃料費	31,749	43,535	△11,786
使用料	137,676	143,586	△5,910
賃借料	279,255	279,871	△616
支払手数料	993,630	138,627	855,003
保険料	68,020	66,880	1,140
諸謝金	100,000	100,000	0
租税公課	610,373	607,288	3,085
支払負担金	161,200	153,700	7,500
委託費	265,925	246,125	19,800
経常費用計	71,244,266	68,798,036	2,446,230
当期経常増減額	272,793	2,693,344	△2,420,551
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	0	27,502	△27,502
什器備品除却損	0	27,502	△27,502
基本財産繰入額	638,466	0	638,466
経常外費用計	638,466	27,502	610,964
当期経常外増減額	△638,466	△27,502	△610,964
当期一般正味財産増減額	△365,673	2,665,842	△3,031,515
一般正味財産期首残高	34,161,947	31,496,105	2,665,842
一般正味財産期末残高	33,796,274	34,161,947	△365,673

## 正味財産増減計算書

会計区分 全体

令和07年04月01日 から 令和08年03月31日 まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
II 指定正味財産増減の部			
基本財産運用益(指定)	19,029,634	18,720,065	309,569
投資有価証券受取利息(指定)	19,025,534	18,720,000	305,534
預貯金受取利息(指定)	4,100	65	4,035
基本財産評価損	△95,681,600	△97,008,000	1,326,400
投資有価証券評価損	△95,681,600	△97,008,000	1,326,400
基本財産売却損	△5,899,200	0	△5,899,200
投資有価証券売却損	△5,899,200	0	△5,899,200
受取出捐金	638,466	0	638,466
受取出捐金	638,466	0	638,466
一般正味財産への振替	△18,724,100	△18,720,065	△4,035
一般正味財産への振替(投資有価証券受取利息)	△18,720,000	△18,720,000	0
一般正味財産への振替(預貯金受取利息)	△4,100	△65	△4,035
当期指定正味財産増減額	△100,636,800	△97,008,000	△3,628,800
指定正味財産期首残高	960,544,000	1,057,552,000	△97,008,000
指定正味財産期末残高	859,907,200	960,544,000	△100,636,800
III 正味財産期末残高	893,703,474	994,705,947	△101,002,473

## 正味財産増減計算書内訳表

会計区分 全体

令和07年04月01日 から 令和08年03月31日 まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業 会 計	収益事業等 会 計	法人会計	内部取引 消去	合 計
	(公1)	(収1)			
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
基本財産運用益(経常)	11,215,736	0	7,508,364	0	18,724,100
投資有価証券受取利息(経常)	11,213,280	0	7,506,720	0	18,720,000
預貯金受取利息(経常)	2,456	0	1,644	0	4,100
特定資産運用益	9,198	0	6,156	0	15,354
会費収益	63,000	0	0	0	63,000
事業収益	36,263,832	3,944,948	12,090,411	0	52,299,191
吹田市受託事業収益	34,887,132	3,944,948	12,090,411	0	50,922,491
受講料収益	187,400	0	0	0	187,400
工房成果品販売収益	604,750	0	0	0	604,750
セカンド品販売収益	362,300	0	0	0	362,300
フリーマーケット出店手数料収益	79,000	0	0	0	79,000
その他事業収益	143,250	0	0	0	143,250
受取寄付金	40,000	0	0	0	40,000
雑収益	370,765	0	4,649	0	375,414
経常収益計	47,962,531	3,944,948	19,609,580	0	71,517,059
(2) 経常費用					
事業費	46,505,638	3,944,948	0	0	50,450,586
給料手当	16,386,842	1,033,525	0	0	17,420,367
賞与	2,247,606	141,756	0	0	2,389,362
臨時雇賃金	7,947,288	0	0	0	7,947,288
福利厚生費	3,618,312	221,796	0	0	3,840,108
賞与引当金繰入額	794,393	50,102	0	0	844,495
会議費	9,787	0	0	0	9,787
旅費交通費	1,663,527	56,757	0	0	1,720,284
通信運搬費	234,565	320	0	0	234,885
減価償却費	1,243,100	0	0	0	1,243,100
消耗什器備品費	1,588,040	231,930	0	0	1,819,970
消耗品費	1,197,287	341,114	0	0	1,538,401
修繕費	33,000	0	0	0	33,000
印刷製本費	384,560	0	0	0	384,560
光熱水料費	223,710	0	0	0	223,710
使用料	96,790	75,240	0	0	172,030
賃借料	272,250	0	0	0	272,250
支払手数料	1,522	0	0	0	1,522
保険料	22,270	23,720	0	0	45,990
諸謝金	4,461,000	10,000	0	0	4,471,000
租税公課	1,666,819	179,688	0	0	1,846,507
支払負担金	12,000	0	0	0	12,000
広告宣伝費	260,000	0	0	0	260,000
委託費	2,140,970	1,579,000	0	0	3,719,970

## 正味財産増減計算書内訳表

会計区分 全体

令和07年04月01日 から 令和08年03月31日 まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業 会 計	収益事業等 会 計	法人会計	内部取引 消去	合 計
	(公1)	(収1)			
管理費	0	0	20,793,680	0	20,793,680
役員報酬	0	0	4,064,400	0	4,064,400
給料手当	0	0	7,910,990	0	7,910,990
賞与	0	0	1,085,065	0	1,085,065
臨時雇賃金	0	0	636,072	0	636,072
福利厚生費	0	0	1,762,746	0	1,762,746
賞与引当金繰入額	0	0	383,505	0	383,505
旅費交通費	0	0	507,956	0	507,956
通信運搬費	0	0	106,731	0	106,731
減価償却費	0	0	239,960	0	239,960
消耗什器備品費	0	0	1,323,660	0	1,323,660
消耗品費	0	0	114,867	0	114,867
修繕費	0	0	9,900	0	9,900
燃料費	0	0	31,749	0	31,749
使用料	0	0	137,676	0	137,676
賃借料	0	0	279,255	0	279,255
支払手数料	0	0	993,630	0	993,630
保険料	0	0	68,020	0	68,020
諸謝金	0	0	100,000	0	100,000
租税公課	0	0	610,373	0	610,373
支払負担金	0	0	161,200	0	161,200
委託費	0	0	265,925	0	265,925
経常費用計	46,505,638	3,944,948	20,793,680	0	71,244,266
当期経常増減額	1,456,893	0	△1,184,100	0	272,793
2. 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
経常外収益計	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用					
基本財産繰入額	382,442	0	256,024	0	638,466
経常外費用計	382,442	0	256,024	0	638,466
当期経常外増減額	△382,442	0	△256,024	0	△638,466
他会計振替額	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	1,074,451	0	△1,440,124	0	△365,673
一般正味財産期首残高	2,756,512	0	31,405,435	0	34,161,947
一般正味財産期末残高	3,830,963	0	29,965,311	0	33,796,274

## 正味財産増減計算書内訳表

会計区分 全体

令和07年04月01日 から 令和08年03月31日 まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業 会 計	収益事業等 会 計	法人会計	内部取引 消去	合 計
	(公1)	(収1)			
II 指定正味財産増減の部					
基本財産運用益(指定)	11,398,751	0	7,630,883	0	19,029,634
投資有価証券受取利息(指定)	11,396,295	0	7,629,239	0	19,025,534
預貯金受取利息(指定)	2,456	0	1,644	0	4,100
基本財産評価損	△57,313,279	0	△38,368,321	0	△95,681,600
投資有価証券評価損	△57,313,279	0	△38,368,321	0	△95,681,600
基本財産売却損	△3,533,621	0	△2,365,579	0	△5,899,200
投資有価証券売却損	△3,533,621	0	△2,365,579	0	△5,899,200
受取出捐金	382,442	0	256,024	0	638,466
一般正味財産への振替	△11,215,736	0	△7,508,364	0	△18,724,100
一般正味財産への振替(投資有価証券受取利息)	△11,213,280	0	△7,506,720	0	△18,720,000
一般正味財産への振替(預貯金受取利息)	△2,456	0	△1,644	0	△4,100
当期指定正味財産増減額	△60,281,443	0	△40,355,357	0	△100,636,800
指定正味財産期首残高	572,071,136	0	388,472,864	0	960,544,000
指定正味財産期末残高	511,789,693	0	348,117,507	0	859,907,200
III 正味財産期末残高	515,620,656	0	378,082,818	0	893,703,474

## 財務諸表に対する注記

### 1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券以外の有価証券のうち市場価格のあるものについては、期末日の市場価格等に基づく時価法を採用している。

(2) 固定資産の減価償却の方法

固定資産の減価償却は、有形・無形ともに定額法を採用している。

(3) 引当金の計上基準

賞与引当金は、職員に対する賞与の支給に備えるため、当期に帰属する期間の支給見込み額を計上している。

(4) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

### 2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。 (単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	3,280,000	0	0	3,280,000
投資有価証券	957,264,000	0	100,636,800	856,627,200
小 計	960,544,000	0	100,636,800	859,907,200
特定資産				
減価償却引当資産	2,292,841	598,400	612,576	2,278,665
印刷機取得資金	5,500,000	0	0	5,500,000
小 計	7,792,841	598,400	612,576	7,778,665
合 計	968,336,841	598,400	101,249,376	867,685,865

### 3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。 (単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
定期預金	3,280,000	(3,280,000)	(0)	—
投資有価証券	856,627,200	(856,627,200)	(0)	—
小 計	859,907,200	(859,907,200)	(0)	—
特定資産				
減価償却引当資産	2,278,665	(0)	(2,278,665)	—
印刷機取得資金	5,500,000	(0)	(5,500,000)	—
小 計	7,778,665	(0)	(7,778,665)	—
合 計	867,685,865	(859,907,200)	(7,778,665)	—

### 4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。 (単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	11,102,922	8,678,649	2,424,273
合 計	11,102,922	8,678,649	2,424,273

## 附属明細書

### 1. 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細については財務諸表に対する注記に記載している。

### 2. 引当金の明細

(単位：円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	1,321,000	1,228,000	1,321,000	0	1,228,000

# 財 産 目 録

令和08年03月31日 現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
<b>(流動資産)</b>				
(流動資産)	現金預金			
	現金手元有高	手元保管	運転資金	260,793
		小口払い・釣銭用		101,913
		収入等一時保管		158,880
	普通預金	りそな銀行吹田支店	運転資金	24,139,276
		北おおさか信用金庫吹田支店	同 上	41,408
	通常貯金	ゆうちょ銀行 (通常口座)	同 上	1,295,854
		ゆうちょ銀行 (振替口座)	同 上	360,358
	定額貯金	ゆうちょ銀行	同 上	5,500,000
			<b>&lt;現金預金計&gt;</b>	<b>31,597,689</b>
	貯蔵品	手元保管	郵便切手等	28,143
	未収金	地域環境デザイン研究所ecotone	リユース食器洗浄光熱水費	361,995
	前払金	㈱アルファ	施設賠償責任保険	33,280
		吹田商工会議所	特定退職金共済掛金	18,000
		東京海上日動火災保険㈱	ボランティア保険	12,170
		<b>&lt;前払金計&gt;</b>	<b>63,450</b>	
前払費用	三菱UFJモルガン・スタンレー証券㈱	第195回国債購入に伴う経過利息	575,123	
	理想科学工業㈱	公益目的事業用 印刷機 (多機能カラー刷り) 保守費用 (令和8年度分)	114,400	
		<b>&lt;前払費用計&gt;</b>	<b>689,523</b>	
立替金	吹田税務署	源泉所得税還付金	13,052	
<b>流動資産合計</b>				<b>32,753,852</b>
<b>(固定資産)</b>				
基本財産	定期預金	北おおさか信用金庫吹田支店	(共用財産)	3,280,000
			うち公益目的保有財産59.9%	1,964,720
			うち管理運営費の財源としている財産40.1%	1,315,280
	投資有価証券	三菱UFJモルガン・スタンレー証券㈱	(共用財産)	158,467,200
		(20年国債)	うち公益目的保有財産59.9%	94,921,853
			うち管理運営費の財源としている財産40.1%	63,545,347
		SMB C日興証券㈱	(共用財産)	698,160,000
		大阪公益法人営業部(30年国債)	うち公益目的保有財産59.9%	418,197,840
			うち管理運営費の財源としている財産40.1%	279,962,160
			<b>&lt;基本財産計&gt;</b>	<b>859,907,200</b>
特定資産	減価償却引当資産	<定期預金> 北おおさか信用金庫吹田支店	公益目的事業及び管理運営の用に供する固定資産の購入財源として使用する資産	2,278,665
	印刷機取得資金	同 上	公益目的事業の用に供する固定資産の購入財源として使用する資産	5,500,000

## 財 産 目 録

令和08年03月31日 現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
		<b>&lt;特定資産計&gt;</b>		<b>7,778,665</b>
その他固定資産	什器備品	プロジェクター 1 台	公益目的保有財産である	1
		食器洗浄機 1 台	同 上	1
		印刷機(多機能カラー刷り) 1 台	同 上	810,936
		サーバー(共通) 1 台	(共用財産)	1
			うち公益目的事業用59.9%	1
			うち管理運営40.1%	0
		サーバー (共通) 1台	(共用財産)	1,456,584
			うち公益目的事業用59.9%	872,494
			うち管理運営40.1%	584,090
		ファイアウォール(共通) 1 台	(共用財産)	156,750
	うち公益目的事業用59.9%	93,893		
	うち管理運営40.1%	62,857		
		<b>&lt;什器備品計&gt;</b>		<b>2,424,273</b>
<b>固定資産合計</b>				<b>870,110,138</b>
<b>資産合計</b>				<b>902,863,990</b>
(流動負債)	未払金	役員	役員報酬	308,000
		職員	役付手当	88,698
		臨時雇用員	臨時雇賃金他	833,770
		吹田年金事務所	社会保険料	349,326
		大阪労働局	労働保険料	78,987
		西日本電信電話(株)	電話代	2,846
		日本郵便(株)	郵送料	14,220
		リコージャパン(株)	コピー機賃借料	139
		主担研究員他	謝金	394,500
		(公社)吹田市シルバー人材センター他	業務委託費	105,120
		(株)Iotコンサルティング	モバイルWi-Fi料金	2,068
		アマゾンジャパン合同会社	消耗品他	476,768
		富士フィルムビジネスソリューションジャパン(株)	ZOOMライセンス料	25,630
		(株)りそな銀行	りそなビジネスダイレクト手数料	7,700
		GET BACK 岸本 博	レザークラフト教室他委託費	30,000
		理想科学工業(株)	印刷機用インク	288,640
		有限会社ナセバーナル	動画制作費	704,000
		J : COM(株)	動画制作費	819,500
		(株)大塚商会	事務所用他消耗品	94,850
		<b>&lt;未払金計&gt;</b>		<b>4,624,762</b>
	未払消費税等	国税庁		1,196,900

# 財 産 目 録

令和08年03月31日 現在

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額	
預り金	主担研究員他	源泉所得税	27,766	
	職員	住民税	99,100	
	職員他	雇用保険料	24,991	
	職員	健康保険料	126,578	
	職員	厚生年金保険料	204,960	
	らっくdeフリマ出店者	らっくdeフリマ売上金	108,150	
	吹田市	指定管理委託料返還金	1,473,509	
	<b>&lt;預り金計&gt;</b>			<b>2,065,054</b>
	前受金	らっくdeフリマ出店者	らっくdeフリマ出店手数料	45,800
	賞与引当金	職員	公益目的事業及び管理運営事業の業務に従事する職員の賞与の引当金	1,228,000
<b>流動負債合計</b>			<b>9,160,516</b>	
<b>負債合計</b>			<b>9,160,516</b>	
<b>正味財産</b>			<b>893,703,474</b>	

# 独立監査人の監査報告書

令和8年4月21日

公益財団法人千里リサイクルプラザ  
理事長 小幡 範 雄 殿

晴連監査法人  
代表社員  
業務執行社員  
公認会計士

入江隆夫

## 監査意見

当監査法人は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第124条第2項第1号の規定に基づき、公益財団法人千里リサイクルプラザの令和7年4月1日から令和8年3月31日までの令和7年度の貸借対照表、損益計算書（公益法人会計基準に基づく「正味財産増減計算書」をいう。）及び財務諸表に対する注記並びに附属明細書（以下「財務諸表等」という。）について監査を行った。

当監査法人は、上記の財務諸表等が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して、当該財務諸表等に係る期間の財産及び損益（正味財産増減）の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

## 監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「財務諸表等の監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、法人から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

## その他の記載内容

その他の記載内容は、事業報告及びその附属明細書である。理事者の責任は、その他の記載内容を作成し開示することにある。また、監事の責任は、その他の記載内容の報告プロセスの整備及び運用における理事の職務の執行を監視することにある。

当監査法人の財務諸表等に対する監査意見の対象にはその他の記載内容は含まれておらず、当監査法人はその他の記載内容に対して意見を表明するものではない。

財務諸表等の監査における当監査法人の責任は、その他の記載内容を通読し、通読の過程において、その他の記載内容と財務諸表等又は当監査法人が監査の過程で得た知識との間に重要な相違があるかどうか検討す

ること、また、そのような重要な相違以外にその他の記載内容に重要な誤りの兆候があるかどうか注意を払うことにある。

当監査法人は、実施した作業に基づき、その他の記載内容に重要な誤りがあると判断した場合には、その事実を報告することが求められている。

その他の記載内容に関して、当監査法人が報告すべき事項はない。

#### 財務諸表等に対する理事長及び監事の責任

理事者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して財務諸表等を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表等を作成し適正に表示するために理事者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表等を作成するに当たり、理事者は、継続組織の前提に基づき財務諸表等を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に基づいて継続組織に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監事の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における理事の職務執行を監視することにある。

#### 財務諸表等の監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表等に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表等に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表等の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意思表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・財務諸表等の監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関する内部統制を検討する。
- ・理事者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに理事者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・理事者が継続組織を前提として財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続組織の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続組織の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表等の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表等の注記事項が適切でない場合は、財務諸表等に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、法人は継続組織として存続

できなくなる可能性がある。

・財務諸表等の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表等の表示、構成及び内容、並びに財務諸表等が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうか評価する。

監査人は、監事に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上も重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

#### 利害関係

法人と当監査法人の間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

# 監査報告書

公益財団法人 千里リサイクルプラザ  
理事長 小幡 範雄 様

令和 8 年 4 月 24 日

監 事 堀江 篤  
監 事 仲上 健

私たち監事は、当財団の令和 7 年 4 月 1 日から令和 8 年 3 月 31 日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

## 1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

## 2 監査結果

### (1) 事業報告等について

- ① 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

### (2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録について

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益（正味財産増減）の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

### (3) 意見及び付記事項

- ① 今後も限られた経営資源を有効活用しつつ、内部統制機能を一層の練りとサービス向上の向上につなげて下さい。
- ② 多様な事業活動展開を系統化できるように期待したい。  
大阪・肉両戸博でのプロモーションは評価できる。  
基本財産の投資有価証券の方向性については、長期的視点で注視して欲しい。

以上

専 決 処 分 報 告

下記事件は、地方自治法第179条第1項の規定により専決処分したので、同条第3項の規定により次のとおり報告し、承認を求めます。

令和8年5月28日

吹田市長 後 藤 圭 二

記

- |           |                          |
|-----------|--------------------------|
| 1 専決処分年月日 | 令和8年3月31日                |
| 2 事 件 名   | 吹田市市税条例の一部を改正する条例の制定について |

## 専決第 2 号

吹田市市税条例の一部を改正する条例の制定について

吹田市市税条例の一部を改正する条例を次のとおり制定します。

令和 8 年 3 月 3 1 日専決

吹田市長 後 藤 圭 二

## 吹田市条例第 1 8 号

吹田市市税条例の一部を改正する条例

吹田市市税条例（昭和 2 5 年吹田市条例第 1 2 1 号）の一部を次のように改正する。

第 3 6 条第 1 項中「、3 輪以上の軽自動車に対し、当該軽自動車の取得者に環境性能割により」を削り、「当該軽自動車等の」を「その」に改め、「種別割により、それぞれ」を削り、同条第 2 項を削る。

第 3 6 条の 2 第 1 項中「、軽自動車税の賦課徴収については」及び「3 輪以上の軽自動車の取得者又は」を削り、同条第 2 項及び第 3 項を削る。

第 3 6 条の 2 の 2 から第 3 6 条の 1 0 までを削る。

第 3 6 条の 1 1 の見出し中「種別割」を「軽自動車税」に改め、同条中「種別割」を「軽自動車税」に改め、同条第 1 号中「道路運送車両法」の次に「（昭和 2 6 年法律第 1 8 5 号）」を加え、同条を第 3 6 条の 3 とする。

第 3 7 条（見出しを含む。）中「種別割」を「軽自動車税」に改める。

第 3 7 条の 2 の前の見出し中「種別割」を「軽自動車税」に改め、同条中「最初の」の次に「道路運送車両法第 6 0 条第 1 項後段の規定による」を加え、「種別割」を「軽自動車税」に改める。

第 3 7 条の 3 第 1 項中「種別割」を「軽自動車税」に、「令和 4 年 4 月 1 日から令和 8 年 3 月 3 1 日」を「令和 7 年 4 月 1 日から令和 1 0 年 3 月 3 1 日」に改め、同条第 2 項中「種別割の」を「軽自動車税の」に、「令和 4 年 4 月 1 日」を「令和 7 年 4 月 1 日」に、「当該初回車両番号指定を受けた日の属する年度の翌年度分の種別割」を「令和 8 年度分の軽自動車税」に改め、同条第 3 項を削る。

第 3 8 条（見出しを含む。）及び第 3 9 条（見出しを含む。）中「種別割」を「軽

自動車税」に改める。

第40条の見出し中「種別割」を「軽自動車税」に改め、同条第1項中「種別割」を「軽自動車税」に、「第36条の11」を「第36条の3」に改め、同条第2項中「種別割」を「軽自動車税」に改め、同条第4項中「第36条の2第1項」を「第36条の2」に改め、同条第5項中「種別割」を「軽自動車税」に、「第36条の2第1項」を「第36条の2」に改める。

第41条第1項中「環境性能割（第36条の10の規定により賦課徴収を行う環境性能割を含む。次項において同じ。）又は種別割」を「軽自動車税」に改め、同条第2項中「環境性能割の減免を受けようとする者は第36条の8第1項に規定する申告納付期限までに、種別割」を「前項の規定により軽自動車税」に、「者は当該年度中に、」を「者は、当該年度中に」に改める。

第48条（見出しを含む。）中「種別割」を「軽自動車税」に改める。

#### 附 則

（施行期日）

1 この条例は、令和8年4月1日から施行する。

（経過措置）

2 この条例による改正後の吹田市市税条例の規定中軽自動車税に関する部分は、令和8年度以後の年度分の軽自動車税について適用する。

3 令和8年4月1日以前の3輪以上の軽自動車の取得に対して課する軽自動車税の環境性能割については、なお従前の例による。

4 令和7年度以前の年度分の軽自動車税の種別割については、なお従前の例による。

（専決処分理由）

令和8年3月31日付けで地方税法等の一部を改正する法律（令和8年法律第2号）が制定されたことに伴い、吹田市市税条例の一部を改正する必要が生じましたが、議会を招集する時間的余裕がないので、地方自治法第179条第1項の規定により専決処分するものです。



議案第44号

退隠料及び遺族扶助料の年額の改定に関する条例の一部を改正する条例等の一部を改正する条例の制定について

退隠料及び遺族扶助料の年額の改定に関する条例の一部を改正する条例等の一部を改正する条例を次のとおり制定します。

令和8年5月28日提出

吹田市長 後藤圭二

吹田市条例第 号

退隠料及び遺族扶助料の年額の改定に関する条例の一部を改正する条例等の一部を改正する条例（案）

（退隠料及び遺族扶助料の年額の改定に関する条例の一部を改正する条例の一部改正）

第1条 退隠料及び遺族扶助料の年額の改定に関する条例の一部を改正する条例（昭和42年吹田市条例第5号）の一部を次のように改正する。

附則第3条中「令和7年4月分」を「令和8年4月分」に改め、同条の表退隠料の項中「1,185,900円」を「1,208,600円」に改め、同表遺族扶助料の項中「829,200円」を「845,100円」に改める。

附則第4条（見出しを含む。）中「令和7年3月31日」を「令和8年3月31日」に改める。

（吹田市吏員恩給条例等の一部を改正する条例の一部改正）

第2条 吹田市吏員恩給条例等の一部を改正する条例（昭和51年吹田市条例第37号）の一部を次のように改正する。

附則第5条第1項第1号中「279,100円」を「284,400円」に改め、同項第2号中「159,400円」を「162,400円」に改め、同項第3号中「159,000円」を「162,000円」に改める。

附 則

（1）

(施行期日等)

- 1 この条例は、公布の日から施行する。
- 2 第1条の規定による改正後の退隠料及び遺族扶助料の年額の改定に関する条例の一部を改正する条例（以下「新昭和42年改正条例」という。）附則第3条の規定及び第2条の規定による改正後の吹田市吏員恩給条例等の一部を改正する条例（以下「新昭和51年改正条例」という。）附則第5条第1項の規定は、令和8年4月1日から適用する。

(内払)

- 3 新昭和42年改正条例及び新昭和51年改正条例の規定を適用する場合においては、第1条の規定による改正前の退隠料及び遺族扶助料の年額の改定に関する条例の一部を改正する条例及び第2条の規定による改正前の吹田市吏員恩給条例等の一部を改正する条例の規定に基づいて支給された退隠料又は遺族扶助料は、新昭和42年改正条例及び新昭和51年改正条例の規定による退隠料又は遺族扶助料の内払とみなす。

(提案理由)

恩給法による恩給改定率の改定等に関する政令の改正内容に準じ、退隠料及び遺族扶助料の最低保障額等を増額するため必要があるので、本案を提出するものです。

( 2 )

議案第45号

吹田市立スポーツグラウンド条例の一部を改正する条例の制定について

吹田市立スポーツグラウンド条例の一部を改正する条例を次のとおり制定します。

令和8年5月28日提出

吹田市長 後藤 圭 二

吹田市条例第 号

吹田市立スポーツグラウンド条例の一部を改正する条例（案）

吹田市立スポーツグラウンド条例（平成19年吹田市条例第14号）の一部を次のように改正する。

第2条第3号中「吹田市高野台5丁目1番6号」を「吹田市高野台5丁目1番地6」に改める。

第3条第1号中「野球場、多目的グラウンド」を「メイングラウンド、サブグラウンド」に改める。

別表野球場の項の次に次のように加える。

メイングラウンド	1時間につき	2,200円
----------	--------	--------

別表多目的グラウンドの項及び同表の備考第1項中「多目的グラウンド」を「サブグラウンド」に改め、同表の備考中第3項を第4項とし、第2項の次に次の1項を加える。

- 3 メイングラウンドについて、半面のみを使用するときは、本表及び前項の規定により算定した使用料及び割増使用料の2分の1の使用料及び割増使用料を徴収する。

附 則

（施行期日）

- 1 この条例は、令和8年9月1日から施行する。ただし、第2条第3号及び別表の改正規定は、公布の日から施行する。

（経過措置）

（1）

- 2 この条例による改正後の吹田市立スポーツグラウンド条例別表の規定は、令和8年9月1日以後の使用に係る使用料について適用し、同日前の使用に係る使用料については、なお従前の例による。

(提案理由)

中の島スポーツグラウンドの施設を変更し、使用料を設定するため必要があるので、本案を提出するものです。

( 2 )

議案第46号

予算で定める重要な資産の取得及び処分、議会の同意を要する賠償責任の免除並びに議会の議決を要する負担付きの寄附の受領等について定める条例及び吹田市監査委員に関する条例の一部を改正する条例の制定について

予算で定める重要な資産の取得及び処分、議会の同意を要する賠償責任の免除並びに議会の議決を要する負担付きの寄附の受領等について定める条例及び吹田市監査委員に関する条例の一部を改正する条例を次のとおり制定します。

令和8年5月28日提出

吹田市長 後藤圭二

吹田市条例第 号

予算で定める重要な資産の取得及び処分、議会の同意を要する賠償責任の免除並びに議会の議決を要する負担付きの寄附の受領等について定める条例及び吹田市監査委員に関する条例の一部を改正する条例（案）

（予算で定める重要な資産の取得及び処分、議会の同意を要する賠償責任の免除並びに議会の議決を要する負担付きの寄附の受領等について定める条例の一部改正）  
第1条 予算で定める重要な資産の取得及び処分、議会の同意を要する賠償責任の免除並びに議会の議決を要する負担付きの寄附の受領等について定める条例（昭和41年吹田市条例第32号）の一部を次のように改正する。

第2条中「第243条の2の8第8項」を「第243条の2の9第8項」に改める。

（吹田市監査委員に関する条例の一部改正）

第2条 吹田市監査委員に関する条例（平成3年吹田市条例第12号）の一部を次のように改正する。

第8条第1項中「第243条の2の8第3項」を「第243条の2の9第3項」に改める。

附 則

この条例は、令和8年9月24日から施行する。

(提案理由)

地方自治法の一部改正に伴う規定整備を行うため必要があるので、本案を提出するものです。

議案第47号

吹田市介護老人保健施設条例を廃止する条例の制定について

吹田市介護老人保健施設条例を廃止する条例を次のとおり制定します。

令和8年5月28日提出

吹田市長 後藤 圭 二

吹田市条例第 号

吹田市介護老人保健施設条例を廃止する条例（案）

吹田市介護老人保健施設条例（平成4年吹田市条例第5号）は、廃止する。

附 則

この条例は、令和9年10月1日から施行する。

（提案理由）

介護老人保健施設を廃止するため必要があるので、本案を提出するものです。



議案第48号

吹田市立男女共同参画センター大規模改修工事（建築工事）請負契約の締結について

本市は、吹田市立男女共同参画センター大規模改修工事（建築工事）の請負契約を次のとおり締結します。

令和8年5月28日提出

吹田市長 後藤圭二

記

- 1 工 事 名 吹田市立男女共同参画センター大規模改修工事（建築工事）
- 2 工 事 概 要 構造・階数 鉄筋コンクリート造 地下1階・地上3階  
延床面積 2,847㎡  
工事内容 防水改修工事、屋根改修工事、建具改修工事、内装改修工事、外構工事
- 3 工 事 場 所 吹田市出口町2番1号
- 4 工 期 着工 令和8年5月市議会議決後  
完成 令和9年6月30日
- 5 請 負 金 額 340,637,000円
- 6 請 負 者 吹田市金田町5番10号  
株式会社関根工務店  
代表取締役 橋本芳信



議案第49号

吹田市立豊津第一小学校外壁等劣化対策1期ほか工事(建築工事)請負契約の締結について

本市は、吹田市立豊津第一小学校外壁等劣化対策1期ほか工事(建築工事)の請負契約を次のとおり締結します。

令和8年5月28日提出

吹田市長 後藤圭二

記

1 工 事 名 吹田市立豊津第一小学校外壁等劣化対策1期ほか工事(建築工事)

2 工 事 概 要 【外壁等劣化対策1期工事】

11棟

構造・階数 鉄筋コンクリート造 地上4階

延床面積 3,486㎡

工事内容 外壁改修工事及び防水改修工事

17棟

構造・階数 鉄筋コンクリート造 地上1階

延床面積 20㎡

工事内容 外壁改修工事

19棟

構造・階数 鉄筋コンクリート造 地上1階

延床面積 145㎡

工事内容 外壁改修工事及び防水改修工事

## 2 1 棟

構造・階数	鉄筋コンクリート造 地上4階
延床面積	1,410㎡
工事内容	外壁改修工事及び防水改修工事

## 1 棟（幼稚園部分）

構造・階数	鉄筋コンクリート造 地上4階
延床面積	597㎡
工事内容	外壁改修工事及び防水改修工事

## 2 棟（幼稚園部分）

構造・階数	コンクリートブロック造 地上1階
延床面積	10㎡
工事内容	外壁改修工事

## 3 棟（幼稚園部分）

構造・階数	鉄筋コンクリート造 地上1階
延床面積	151㎡
工事内容	外壁改修工事及び防水改修工事

## 【トイレリニューアル工事】

### 1 系統

構造・階数	鉄筋コンクリート造 地上4階
改修面積	32㎡×4箇所
工事内容	トイレ改修工事

### 2 系統

構造・階数	鉄筋コンクリート造 地上4階
改修面積	32㎡×3箇所
工事内容	トイレ改修工事

### プールのトイレ等

構造・階数	コンクリートブロック造 地上1階
改修面積	46㎡
工事内容	トイレ改修工事ほか

【白板改修工事】

11・13・21棟

構造・階数 鉄筋コンクリート造 地上4階

工事内容 白板改修工事

3 工事場所 吹田市江坂町1丁目15番42号

4 工期 着工 令和8年5月市議会議決後  
完成 令和8年12月25日

5 請負金額 315,535,000円

6 請負者 吹田市原町1丁目4番13号  
株式会社エーユー  
代表取締役 小川 翔輝



議案第50号

吹田市立山田第三小学校外壁等劣化対策1期工事（建築工事）請負契約の締結について

本市は、吹田市立山田第三小学校外壁等劣化対策1期工事（建築工事）の請負契約を次のとおり締結します。

令和8年5月28日提出

吹田市長 後藤 圭二

記

- 1 工 事 名 吹田市立山田第三小学校外壁等劣化対策1期工事（建築工事）
  
- 2 工 事 概 要

1棟	
構造・階数	鉄筋コンクリート造 地上4階
延床面積	3,416㎡
工事内容	外壁改修工事、防水改修工事及び建具改修工事
2棟	
構造・階数	鉄筋コンクリート造 地上4階
延床面積	513㎡
工事内容	外壁改修工事及び防水改修工事
8棟	
構造・階数	鉄筋コンクリート造 地上1階
延床面積	64㎡
工事内容	外壁改修工事及び防水改修工事

9棟

構造・階数 鉄筋コンクリート造 地上1階  
延床面積 3㎡  
工事内容 外壁改修工事及び防水改修工事

10棟

構造・階数 コンクリートブロック造 地上1階  
延床面積 13㎡  
工事内容 外壁改修工事

13棟

構造・階数 コンクリートブロック造 地上1階  
延床面積 8㎡  
工事内容 外壁改修工事

17棟

構造・階数 コンクリートブロック造 地上1階  
延床面積 31㎡  
工事内容 外壁改修工事

19棟

構造・階数 コンクリートブロック造 地上1階  
延床面積 9㎡  
工事内容 外壁改修工事

3 工事場所 吹田市山田西1丁目4番1号

4 工期 着工 令和8年5月市議会議決後  
完成 令和8年11月27日

5 請負金額 218,185,000円

6 請負者 吹田市原町1丁目4番13号  
エフワイ土木株式会社  
代表取締役 寺下満

議案第51号

吹田市立古江台中学校教室改修ほか工事（建築工事）及び吹田市立古江台中学校昇降機設置工事（建築工事）請負契約の締結について

本市は、吹田市立古江台中学校教室改修ほか工事（建築工事）及び吹田市立古江台中学校昇降機設置工事（建築工事）の請負契約を次のとおり締結します。

令和8年5月28日提出

吹田市長 後藤圭二

記

1 工 事 名 吹田市立古江台中学校教室改修ほか工事（建築工事）及び吹田市立古江台中学校昇降機設置工事（建築工事）

2 工 事 概 要 (1) 吹田市立古江台中学校教室改修ほか工事（建築工事）

【教室改修工事】

7棟

構造・階数 鉄筋コンクリート造 地上4階

延床面積 66㎡

工事内容 教室改修工事

2・14棟

構造・階数 鉄筋コンクリート造 地上2階

延床面積 103㎡

工事内容 教室改修工事

【給食配膳室改修工事】

7棟

構造・階数 鉄筋コンクリート造 地上4階

延床面積 66㎡

工事内容 給食配膳室改修工事

【更衣室改修工事】

1 4 棟

構造・階数 鉄筋コンクリート造 地上2階  
延床面積 34㎡  
工事内容 更衣室改修工事

【休養室改修工事】

3 棟

構造・階数 鉄筋コンクリート造 地上2階  
改修面積 64㎡  
工事内容 休養室改修工事

【段差改修工事】

工事内容 スロープ設置工事

【渡り廊下改修工事】

構造・階数 鉄筋コンクリート造 地上1階  
工事内容 渡り廊下改修工事

(2) 吹田市立古江台中学校昇降機設置工事（建築工事）

昇降機棟

構造・階数 鉄骨造 地上4階  
延床面積 65㎡  
工事内容 昇降機設置工事

倉庫・砂庫棟

構造・階数 コンクリートブロック造 地上1階  
延床面積 32㎡  
工事内容 倉庫の新設工事

シャワー室屋根

構造・階数 鉄骨造 地上1階  
延床面積 11㎡  
工事内容 シャワー室屋根の新設工事

駐輪場

構造・階数 アルミ造 地上1階  
延床面積 18㎡  
工事内容 駐輪場の新設工事

- 3 工事場所 吹田市古江台1丁目1番1号
- 4 工期 (1) 吹田市立古江台中学校教室改修ほか工事 (建築工事)  
着工 令和8年5月市議会議決後  
完成 令和8年12月11日  
(2) 吹田市立古江台中学校昇降機設置工事 (建築工事)  
着工 令和8年5月市議会議決後  
完成 令和9年3月15日
- 5 請負金額 218,790,000円
- 6 請負者 吹田市岸部中1丁目24番1号  
株式会社ビック  
代表取締役 久須美貴史



吹田市立自然の家大規模改修工事（建築工事）請負契約の締結について

本市は、吹田市立自然の家大規模改修工事（建築工事）の請負契約を次のとおり締結します。

令和8年5月28日提出

吹田市長 後藤圭二

記

- 1 工 事 名 吹田市立自然の家大規模改修工事（建築工事）
  
- 2 工 事 概 要 本館棟
  - 構造・階数 鉄筋コンクリート造 地上2階及び地下1階
  - 延床面積 2,775㎡
  - 工事内容 防水改修工事、外壁改修工事、建具改修工事、内装改修工事及び塗装改修工事
  
- 野外食堂A・B
  - 構造・階数 鉄骨造 地上1階
  - 延床面積 A：107㎡ B：140㎡
  - 工事内容 塗装改修工事
  
- 屋外便所A
  - 構造・階数 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 地上1階
  - 延床面積 31㎡
  - 工事内容 防水改修工事

プロパン庫

構造・階数 鉄筋コンクリート造 地上1階  
延床面積 9㎡  
工事内容 防水改修工事

ゴミ庫

構造・階数 鉄筋コンクリート造 地上1階  
延床面積 5㎡  
工事内容 防水改修工事

雑排水設備棟

構造・階数 鉄筋コンクリート造 地上1階  
延床面積 12㎡  
工事内容 防水改修工事

- 3 工事場所 滋賀県高島市今津町南生見
- 4 工期 着工 令和8年5月市議会議決後  
完成 令和9年8月31日
- 5 請負金額 204,721,000円
- 6 請負者 吹田市岸部中1丁目24番1号  
株式会社大創  
代表取締役 仲西大

議案第53号

吹田市中消防庁舎解体撤去工事請負契約の一部変更について

本市は、吹田市中消防庁舎解体撤去工事請負契約（令和7年7月2日議決第51号）の一部を次のとおり変更します。

令和8年5月28日提出

吹田市長 後藤 圭二

変更部分

項目	変更前	変更後
5 請負金額	246,540,800円	249,818,800円

変更理由

国より要請通知を受けた賃金等の急激な変動に伴う工事請負契約書第26条第6項（インフレスライド条項）の適用により、請負金額を変更するもの。



議案第54号

吹田市立千里第三小学校昇降機棟増築及び旧千里山西デイサービスセンター  
大規模改修ほか工事（建築工事）請負契約の一部変更について

本市は、吹田市立千里第三小学校昇降機棟増築及び旧千里山西デイサービスセンター  
大規模改修ほか工事（建築工事）請負契約（令和7年12月22日議決第92号）の一部  
を次のとおり変更します。

令和8年5月28日提出

吹田市長 後藤 圭二

変更部分

項目	変更前	変更後
5 請負金額	358,248,000円	362,857,000円

変更理由

国より要請通知を受けた賃金等の急激な変動に伴う工事請負契約書第26条第6項  
（インフレスライド条項）の適用により、請負金額を変更するもの。



議案第55号

吹田市吹一地区公民館及び吹田市吹一地区高齢者いこいの間建設工事（建築工事）  
請負契約の一部変更について

本市は、吹田市吹一地区公民館及び吹田市吹一地区高齢者いこいの間建設工事（建築  
工事）請負契約（令和7年7月2日議決第59号）の一部を次のとおり変更します。

令和8年5月28日提出

吹田市長 後藤圭二

変更部分

項目	変更前	変更後
5 請負金額	250,153,200円	256,038,200円

変更理由

国より要請通知を受けた賃金等の急激な変動に伴う工事請負契約書第26条第6項  
（インフレスライド条項）の適用により、請負金額を変更するもの。



## 議案第56号

### 吹田市吹田東地区公民館大規模改修及び昇降機設置工事（建築工事）請負契約の一部変更について

本市は、吹田市吹田東地区公民館大規模改修及び昇降機設置工事（建築工事）請負契約（令和7年10月1日議決第78号）の一部を次のとおり変更します。

令和8年5月28日提出

吹田市長 後藤圭二

#### 変更部分

項目	変更前	変更後
4 工期	着工 令和7年9月 市議会議決後 完成 令和8年9月30日	着工 令和7年9月 市議会議決後 完成 令和8年6月15日

#### 変更理由

令和7年9月定例会において、提出し承認の議決をいただいた「議案第78号 吹田市吹田東地区公民館大規模改修及び昇降機設置工事（建築工事）請負契約の締結について」の議案内容に誤りがあったことが今般判明したため、その誤りである工期の完成を変更するもの。



## 議案第57号

### 重文旧西尾家住宅主屋ほか6棟建造物保存修理工事（I期工事）請負契約の一部変更について

本市は、重文旧西尾家住宅主屋ほか6棟建造物保存修理工事（I期工事）請負契約（令和4年6月29日議決第61号、令和6年3月22日議決第24号、令和7年12月22日議決第97号）の一部を次のとおり変更します。

令和8年5月28日提出

吹田市長 後藤圭二

#### 変更部分

項目	変更前	変更後
4 工期	着工 令和4年5月 市議会議決後 完成 令和9年3月15日	着工 令和4年5月 市議会議決後 完成 令和10年6月30日
5 請負金額	934,439,000円	1,204,559,600円

#### 変更理由

解体工事や詳細な調査を進める中で、建物の一部が別の建物等と躯体の構造をなす柱を共有していることや、当住宅の改造の履歴等により文化財保護の観点から改変部分を復原する必要があることのほか、一部の建物の経年劣化が想定以上に進んでいることなどが判明したため、本工事での一体的な修理等による対応が必要なことから、工事内容を一部変更し、工期及び請負金額をそれぞれ変更するもの。



議案第58号

吹田市立青山台小学校厨房用備品購入契約の締結について

本市は、吹田市立青山台小学校厨房用備品の購入契約を次のとおり締結します。

令和8年5月28日提出

吹田市長 後藤圭二

記

- |        |                 |    |
|--------|-----------------|----|
| 1 購入概要 | (1) 食器消毒保管機     | 3台 |
|        | (2) フードスライサー    | 1台 |
|        | (3) ガス回転釜       | 6台 |
|        | (4) 立体炊飯器       | 4台 |
|        | (5) 冷凍庫         | 1台 |
|        | (6) 冷蔵庫         | 2台 |
|        | (7) その他         |    |
| 2 納期   | 着手 令和8年5月市議会議決後 |    |
|        | 完了 令和8年11月30日   |    |
| 3 契約金額 | 40,700,000円     |    |
| 4 納入者  | 吹田市青葉丘南6番9-301号 |    |
|        | ACE厨設株式会社       |    |
|        | 代表取締役 川畑寛明      |    |



議案第59号

小学校用GIGA端末iPad購入契約の締結について

本市は、小学校用GIGA端末iPadの購入契約を次のとおり締結します。

令和8年5月28日提出

吹田市長 後藤圭二

記

- 1 購入概要 小学校用GIGA端末iPad 8,000台
- 2 納期 着手 令和8年5月市議会議決後  
完了 令和8年8月31日
- 3 契約金額 438,240,000円
- 4 納入者 大阪府中央区和泉町2丁目2番2号  
株式会社内田洋行 大阪支店  
大阪支店長 岡野清吾



議案第60号

吹田市介護老人保健施設の指定管理者の指定期間の変更について

本市は、吹田市介護老人保健施設の指定管理者（令和5年12月22日議決第116号）の指定期間を次のとおり変更します。

令和8年5月28日提出

吹田市長 後藤圭二

変更部分

項目	変更前	変更後
3 指定の期間	令和6年4月1日から 令和11年3月31日まで	令和6年4月1日から 令和9年9月30日まで

変更理由

吹田市介護老人保健施設の廃止及び事業譲渡に伴い、指定の期間を変更するもの。



議案第61号

大阪府後期高齢者医療広域連合規約の一部変更に関する協議について

地方自治法第291条の3第1項の規定により、次のとおり規約を定め、大阪府後期高齢者医療広域連合規約の一部を変更することについて、関係市町村と協議します。

令和8年5月28日提出

吹田市長 後藤圭二

大阪府後期高齢者医療広域連合規約の一部を変更する規約（案）

大阪府後期高齢者医療広域連合規約（平成19年1月17日大阪府指令市第3205号）の一部を次のように変更する。

第17条第1項第4号中「社会保険診療報酬支払基金」を「医療情報基盤・診療報酬審査支払機構」に改める。

附 則

この規約は、令和8年10月1日から施行する。

（提案理由）

社会保険診療報酬支払基金法の一部改正に伴う規約の一部変更に関し関係市町村と協議を行うため、本案を提出するものです。



## 議案第62号

### 大阪広域水道企業団が共同処理する事務の変更に関する協議について

地方自治法第286条第1項の規定により、次のとおり規約を定め、大阪広域水道企業団が共同処理する事務に泉大津市、箕面市及び門真市に係る水道事業の経営に関する事務を追加することについて、関係市町村と協議します。

令和8年5月28日提出

吹田市長 後藤 圭二

### 大阪広域水道企業団規約の一部を変更する規約（案）

大阪広域水道企業団規約（平成22年11月2日大阪府知事許可）の一部を次のように変更する。

別表第2中「岸和田市」の次に「、泉大津市」を、「富田林市」の次に「、箕面市」を、「柏原市」の次に「、門真市」を加える。

### 附 則

この規約は、令和9年4月1日から施行する。

### （提案理由）

大阪広域水道企業団が共同処理する事務を変更することに関し関係市町村と協議を行うため、本案を提出するものです。



議案第 6 3 号

令和 8 年度吹田市一般会計補正予算（第 1 号）

令和 8 年度吹田市の一般会計の補正予算（第 1 号）は、次に定めるところによる。

（歳入歳出予算の補正）

第 1 条 歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ 2 0 5 , 3 6 7 千円を増額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ 1 8 2 , 2 0 1 , 9 3 4 千円とする。

2 歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は「第 1 表 歳入歳出予算補正」による。

令和 8 年 5 月 2 8 日提出

吹田市長 後 藤 圭 二

( 1 )



第1表 歳入歳出予算補正

歳 入

(単位：千円)

款	項	補正前の額	補正額	計
13 国庫支出金		40,792,837	3,036	40,795,873
	2 国庫補助金	7,373,751	3,036	7,376,787
17 繰入金		9,815,315	202,331	10,017,646
	1 基金繰入金	8,845,598	202,331	9,047,929
歳入合計		181,996,567	205,367	182,201,934

歳 出

(単位：千円)

款	項	補正前の額	補正額	計
2 総務費		18,093,415	19	18,093,434
	1 総務管理費	14,460,153	19	14,460,172
3 民生費		92,941,477	202,848	93,144,325
	1 社会福祉費	33,465,787	202,848	33,668,635
9 消防費		5,274,724	2,500	5,277,224
	1 消防費	5,274,724	2,500	5,277,224
歳出合計		181,996,567	205,367	182,201,934

歳入歳出補正予算事項別明細書

歳入

(款) 13 国庫支出金

(項) 2 国庫補助金

目	補正前の額	補正額	計
2 民生費国庫補助金	2,530,485	1,786	2,532,271
5 消防費国庫補助金	60,601	1,250	61,851
計	7,373,751	3,036	7,376,787

(款) 17 繰入金

(項) 1 基金繰入金

1 財政調整基金繰入金	5,895,212	201,437	6,096,649
9 心身障害者福祉施設整備基金繰入金	11,634	894	12,528
計	8,845,598	202,331	9,047,929

歳入合計	181,996,567	205,367	182,201,934
------	-------------	---------	-------------

(単位：千円)

節		説明
区分	金額	
12 社会福祉施設等施設整備費補助金	1,786	基本額 2,680×2/3
3 防災力強化総合交付金	1,250	基本額 2,500×1/2

1 財政調整基金繰入金	201,437	
1 心身障害者福祉施設整備基金繰入金	894	

--	--	--

(款) 13 国庫支出金 (項) 2 国庫補助金  
~ (款) 17 繰入金 (項) 1 基金繰入金

( 5 )

歳出

(款) 2 総務費

(項) 1 総務管理費

目	補正前の額	補正額	計	補正額の財源		
				特定財源		
				国府支出金	地方債	その他
8 退職料及び遺族扶助料	989	19	1,008			
計	14,460,153	19	14,460,172			

(款) 3 民生費

(項) 1 社会福祉費

目	補正前の額	補正額	計	補正額の財源		
				特定財源		
				国府支出金	地方債	その他
3 老人福祉費	1,465,088	200,168	1,665,256			
13 障害福祉自立支援事業費	16,568,548	2,680	16,571,228	1,786		894
計	33,465,787	202,848	33,668,635	1,786		894

(款) 9 消防費

(項) 1 消防費

目	補正前の額	補正額	計	補正額の財源		
				特定財源		
				国府支出金	地方債	その他
4 災害対策費	200,040	2,500	202,540	1,250		

(単位：千円)

内 訳	節		説 明
	区 分	金 額	
一 般 財 源			
19	6 恩給及び退職年金	19	遺族扶助料
19			

(単位：千円)

内 訳	節		説 明
	区 分	金 額	
一 般 財 源			
200,168	1 報 酬	168	介護保険施設等選定委員会委員報酬
	18 負担金、補助及び交付金	200,000	一般財団法人吹田市介護老人保健施設事業団運営費負担金
	18 負担金、補助及び交付金	2,680	障害者福祉施設整備補助金
200,168			

(単位：千円)

内 訳	節		説 明
	区 分	金 額	
一 般 財 源			
1,250	7 報 償 費	80	医師謝礼金、看護師謝礼金
	10 需 用 費	313	消耗品費
	11 役 務 費	928	手数料
	12 委 託 料	1,179	報告書作成業務委託料
			787

(款) 2 総務費 (項) 1 総務管理費  
 ~ (款) 9 消防費 (項) 1 消防費

( 7 )

目	補正前の額	補正額	計	補正額の財源		
				特定財源		
				国府支出金	地方債	その他
計	5,274,724	2,500	5,277,224	1,250		

歳出合計	181,996,567	205,367	182,201,934	3,036		894
------	-------------	---------	-------------	-------	--	-----

(単位 : 千円)

内 訳	節		説 明
	区 分	金 額	
一 般 財 源			災害対応車両管理等業務委託料 392
1,250			
201,437			

(款) 9 消防費 (項) 1 消防費

給 与 費

特 別 職

区 分	職 員 数 (人)	給 与		
		報 酬 (千円)	給 料 (千円)	期末手当 (年間支給率) (千円)
補 正 後	長 等	5		(市長4.40月、市長以外4.50月) 27,016
	議 員	34	266,880	(4.40月) 117,428
	その他の 特 別 職	2,780	286,064	
	計	2,819	552,944	52,032 144,444
補 正 前	長 等	5		(市長4.40月、市長以外4.50月) 27,016
	議 員	34	266,880	(4.40月) 117,428
	その他の 特 別 職	2,780	285,896	
	計	2,819	552,776	52,032 144,444
比 較	長 等			
	議 員			
	その他の 特 別 職		168	
	計		168	

明 細 書

費			共 済 費 (千円)	合 計 (千円)	備 考
地域手当 (千円)	その他の手当 (千円)	計 (千円)			
8,326	8,159	95,533	13,707	109,240	
		384,308	63,203	447,511	
		286,064		286,064	
8,326	8,159	765,905	76,910	842,815	
8,326	8,159	95,533	13,707	109,240	
		384,308	63,203	447,511	
		285,896		285,896	
8,326	8,159	765,737	76,910	842,647	
		168		168	
		168		168	



